

Title	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵〔南北朝〕写老子道德經：本文並びに訓読文・附本文校異記(二)
Sub Title	Nanbokucho manuscript copy Lao Tzu-Tao Te Ching in the Shido Bunko Institute: transcription and the Japanese rendering append text collation (2)
Author	山城, 喜憲(Yamashiro, Yoshiharu)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	2006
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.41 (2006.) ,p.1- 84
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-20060000-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学
附属研究所

斯道文庫蔵〔南北朝〕写 老子道德經

本文並びに訓読文 附本文校異記 (二)

山城 喜 憲

凡 例

一、本翻印並びに訓読文の底本は斯道文庫に所蔵する次の古鈔本である。

老子道德經二卷 漢河上公章句
〔南北朝〕写康應二年(三九〇) 施入識語本
大二冊(函架番号)〇九一ト八八一

後補黄檗色艶出し古表紙(二三・四×一八・三糎)、左
上に「道德經乾(坤)」と墨書。料紙、斐楮交漉紙。裏打ち
補修が施さる。

無辺無形、字面高さ約一八・九糎、每半葉六行行十一字、

注小字双行行十一字。柱に「▲ 老子一(二)之(丁付)

(丁付下に墨縦線)」と、版本版心の様式で題記さる。首の

「老子經序」には朱句点、朱引、墨訓点、人名符を、經注
本文には墨筆の句点、返点、送仮名、振仮名、連統符、音
訓合符、声点を付し、行間に反切或いは直音注、僅かなが
ら王弼注、明皇注の抄録、「イ」との校異の書人が見られ
る。墨訓点には希に墨色の異なる後の加筆が認められるが
同一人の手によるものと想われる。

書誌事項についての詳細は、本稿(一)『斯道文庫論集』第
40輯「凡例」を参照されたい。

本稿(二)では、卷上後半の第十七章から三十七章までを収め

た。四巻本で言えば、巻二に相当するところである。

一、上段に「本文」、下段に「訓読文」を配し、各章末に「校異」及び「訓読文補注」を附載した。

一、「本文」と「訓読文」は、各経文句、注文句頭に於いて、上下対照させた。従って、底本書写面の体裁は失われている。

一、「本文」では、各章題頭に原本の巻次、張次數、表裏、行次數を標した。

一、底本の本文は経文を適宜区切ってその下に割注を配してあるが、本翻印では、注文は、経文次行に一格を低し、同大文字で単行に改めた。(訓読文もそれに対応させた)

一、底本の異体字は可能な限りそのままに、JIS第一・第二水準、ユニコード外の文字は作字して、翻字した。

一、底本の見消ちを付された字句は、そのままに翻字し、「校異」にその旨注記した。

一、加墨訂正された文字については、その訂正されたところに従って翻字した。その底本の様態について「校異」に言及した場合がある。

一、誤写に因る譌字はそのままに翻字し、「校異」でその様態を注記し、「訓読文」の当該字下「」内に正字を示す。

一、「訓読文」では、「本文」中に作字した異体字は原則として現行通用字体に改めている。

一、片仮名の訓の異体字は通用の字体に改めた。

一、句読点は、字の左右側の「。」を「。」、中央の「。」を「・」を以て表記した。但、文脈を勘案して、「。」を「・」、或は「。」を「。」に更めた場合がある。

一、漢音合・訓合・音訓・訓訓の符合は原本のままに従う。

一、不読の置き字は「」で囲む。

一、疊字は下に（ ）で囲み原字を示す。

一、再読の字は例えば『當ニ――當シ』の様に表記した。

一、虫損等で文字が欠損しているところは□で示し、墨痕等から推定できる場合はその文字を□の中に記す。

一、推定で補った送り仮名等は全て（ ）内に記す。

一、仮名訓の「云」等補助符合は小字にして表記した。

一、二訓以上の附訓が有る場合は、原則として右傍の一訓を主訓とし、左傍訓は原状のままに左傍に翻記する。但、音合、訓合両用されている場合など、そのままに翻記することの出来ない時は、一方を別訓として主訓の下「」内に示した。

一、「為」の訓のうち、「ス」「ナス」を識別することは、特に

附訓がない場合困難である。右下傍に「ス」と明記されていればすべて送り仮名と看做して「ナス」と訓み「為ス」と翻記した。附訓が無ければ適宜「為」「為(ス)」と表記して一応「ス」「ナス」と訓み分けている。しかし、弁別しかねるところが殆どで失考も多いと思われる。後攻を期したい。

一、「自」の訓についても、「ミツカラ」を、「自(ラ)」、「オノツカラ」を「自(ツカラ)」と表記して区別したが、失考を瞞れる。

一、行間の音義注は原形の通り、訓読文の当該字に傍記した。その他の書入れ注記も該当位置行間に翻記している。

一、四声点の圈発は、当該字のしたにへで囲み、例えば「母(平)」「唯(上)」「稱(去)」「朴(入)」の様に翻記した。一、「校異」では、各条頭に数字を冠し、「本文」字句右傍の数字と対応させた。

一、対校に用いた諸本及びその略称は次の通りである。

活Ⅰ〔慶長〕刊古活字版

活Ⅱ〔慶長〕刊古活字版 異植字版

陽Ⅰ 陽明文庫蔵〔室町末近世初〕写本二冊

書陵 宮内庁書陵部蔵〔室町〕写至徳三年(一三八六)識語

本二冊

龍門 阪本龍門文庫蔵〔室町中期〕写本存首一巻一冊

無窮 無窮会図書館蔵(井上頼因旧蔵)〔近世初〕伝写天文

五年(一五三六)書写清家本一冊

足利 足利学校遺蹟図書館蔵〔室町〕写本二冊

筑波 筑波大学附属図書館蔵天文二十一年(一五五二)写本

一冊

弘文 戸川濱男旧蔵〔室町末〕写元和五年(一六一九)付与

識語本合一冊

斯Ⅱ 斯道文庫蔵(伊藤有不為齋・戸川濱男旧蔵)天文十五

年(一五四六)写本二冊

梅沢 梅沢記念館蔵(戸川濱男旧蔵)應安六年(一三七三)

写本二冊

慶Ⅰ 慶應義塾図書館蔵(戸川濱男旧蔵)天正六年(一五七

八)足利学校南春写本一冊

大東 大東文化大学図書館蔵天正六年(一五七八)足利学校

真瑞写本一冊宝素堂旧蔵経籍訪古志著録本

慶Ⅱ 慶應義塾図書館蔵大永五年(一五二五)写本存卷上道

経一冊

武内 瀧川君山・武内義雄旧蔵〔室町〕写本一冊

東大 東京大学総合図書館蔵〔南葵文庫旧蔵〕〔室町末〕写本一冊

本一冊

東洋 東洋文庫蔵〔室町末〕写本一冊

東急 大東急記念文庫蔵〔室町〕写本二冊

杏Ⅰ 杏雨書屋蔵〔内藤湖南旧蔵〕〔鎌倉末南北朝初〕写存

卷上道経零卷一軸

左藤道生氏蔵 断簡〔第二十三章尾二十四章首計三行〕

京都・観音寺蔵 断簡〔第二十六章尾三行〕

左藤道生氏蔵 断簡〔第三十一章中間三行〕

六地 六地藏寺蔵〔室町末〕写单経本一冊

陽Ⅱ 陽明文庫蔵〔近世初〕写单経本一冊

宋版 北京図書館蔵〔常熟瞿氏鐵琴銅劍樓旧蔵〕〔南宋〕建

安虞氏家塾刊本

世徳 〔明嘉靖十二年（一五三二）〕世徳堂顧春刊本

道蔵 明正統刊道蔵本（道徳眞經註四卷）道蔵洞神部玉訣類

知字号

敦Ⅰ 大英図書館蔵〔唐〕写零卷〔存第三章、二十章、首尾

欠〕敦煌出土スタイン蒐集本（S四七七）

治要 羣書治要卷卅四所収本 宮内庁書陵部蔵〔鎌倉〕写金

沢文庫本

天理 天理図書館蔵『老子道徳經河上公解〔抄〕』寛永四年

（二六一八）写本存道経三十七章掲出経注文

尚、以上の諸本のうち、点本についてはその訓点を適宜参

照し、書入本については、特にその校異の書入れに注目し、

「校異」記中に取り入れた。特に「東洋」の藍筆書入れ、東

洋文庫蔵「活Ⅰ」一本の書入れに言及することが多い。「東

洋（青）」「東活」の標記はそれを意味するものである。

一、各本の書誌事項等詳細については拙著『河上公章句』老子

道徳経』の研究』（東京 汲古書院 平成十八・二）緒論の

七「対校諸本略解題」を参照されたい。

一、「校異」記中、同類本の略称を一一で括って表記した。

一、「校異」で諸本と言うのは底本を除く対校した全ての本を指す。

一、「校異」及び「訓読文補注」において引載例示する文句の

振仮名は、該字直下へゝ内に小字で記す。

河上公章句第二¹
淳風第十七⁴

上29才5

太上上下知有之⁵

太上謂太古無名号之君也⁶。下知有之者⁷。下知上有君⁸。而不臣事質朴也⁹。

其次親譽之¹⁹

其德可見恩惠可稱故親愛而譽之²⁰

其次畏之

設刑法以治之²²

其次侮之

禁多令煩不可皈誠故欺侮之²⁴

信不足焉²⁹

君信不足於下則有巧詐民也³¹

有不信焉³⁵

君信不足於下下則應之以不信而欺其君也³⁷

河上公章句第二

淳風第十七

太上ハ・下有(ル)コトヲ知(ル)〔之〕

太¹上ト云ハ・太古ノ名号無キ〔之〕君ヲ謂(フ)〔也〕・下有(ル)コトヲ知(ル)ト因(ハ)〔之者〕・下上ノ君有(ル)コトノミヲ知(リ)テ・〔而〕臣トシ事ヘ不¹・質¹朴ナルソ〔也〕

其次ハ・親ソ譽ス〔之〕

其ノ德見(ル)可(ク)・恩¹惠稱(去)〔ス〕可(シ)・故ニ親¹愛ソ〔而〕譽ム〔之〕

其次ハ・畏ツ〔之〕

刑法ヲ設ケテ・以(テ)治(ム)ルソ〔之〕

其次(ハ)・侮ル〔之〕

禁¹多ク令¹煩¹シクソ・誠ニ皈¹ス可(カラ)不¹・故ニ欺¹キ侮¹ル〔之〕

信足(ラ)不(ル)トキハ〔焉〕

君ノ信・〔於〕下ニ足(ラ)不(ル)トキハ・〔則〕巧詐ノ民有

(リ)〔也〕

不¹信有(リ)〔焉〕

君ノ信・〔於〕下ニ足(ラ)不(ル)トキハ・下〔則〕應¹ス〔之〕

猶⁴⁰兮⁴¹其貴言

說⁴²太⁴³上⁴⁴之君舉事猶⁴⁵く貴重於言恐離道失自然⁴⁶

功成事遂⁴⁷

謂天下太平也⁴⁸

百姓皆謂我自然⁴⁹

百姓不知君上之德淳厚反以為自當然也^{50 51 52 53 54 55}

校異

- 1 「河上公章句第二」(一)、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・道急・天理」此の小題無し。但、「梅沢」は章題右の行間に「老子道經 河上公章句第二」の書入れがある
- 2 「道藏」第一「二」字無し
- 3 「無窮」書陵・龍門・足利・字有り
- 4 「無窮」書陵・龍門・品」字有り
- 5 題無し、「筑波・武内・東大・東洋」[風]字下「章」字有り、「弘文・慶Ⅰ・大東」は「太上章第十七」に、「慶Ⅱ」は「太上章第十七」に作る
- 6 「龍門・梅沢・六地・陽Ⅱ」[大]字に作る
- 7 「梅沢」[大]字に作る
- 8 「東急」[大]字に作る
- 9 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・龍門・書陵・東洋」

〔之〕・不信ヲ以テ・〔而〕其ノ君ヲ欺ク〔也〕
猶トソ〔兮〕・其ノ言ヲ貴フトキハ

太¹上ノ〔之〕君ヲ説〔フ〕・事ヲ舉〔ル〕ニ猶々トソ・〔於〕言ヲ貴ヒ重ス。道ヲ離レテ自然ヲ失ハシコトヲ恐ル

功成〔シ〕事遂〔ケ〕テ

天下太平ヲ謂〔フ〕〔也〕

百姓・皆謂ヘラク我ヲ自然ナリト謂〔ヘリ〕

百姓・君上ノ〔之〕徳ノ淳厚ナルコトヲ知〔ラ〕不²反〔リ〕

テ以³為ヘラク自〔ツカラ〕當ニ然〔ル〕當⁴シト以⁵為〔ヘリ

〔也〕

- 8 梅沢・天理「上」に作る
- 9 「活Ⅱ」[占]字に誤る
- 9 「陽Ⅰ・筑波・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・斯Ⅱ・龍門・東洋・宋版・治要」[无]字に作る
- 10 「活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・斯Ⅱ・弘文・足利・梅沢・東急・治要・宋版・世徳」[号]字無し、但、「慶Ⅱ」は「名之」字間に小圈を施し右旁に「号」字を加筆する
- 11 「無名号之」、「敦Ⅰ」[无為之]に作る
- 12 「陽Ⅰ」[若]字に誤る
- 13 「敦Ⅰ」[治要]「也」字無し
- 14 「知有之」、「慶Ⅰ・大東」此の三字無し
- 15 「有」字上、「無窮」[上]字有り
- 16 「事」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・天理」

17 「之」字有り、但、「梅沢」は「事實」の字間に加筆
 〔斯Ⅱ・東Ⅰ〕に誤る、「朴」字下、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書
 陵・龍門・慶Ⅰ・慶Ⅱ・大東・慶Ⅱ〕筑波・弘文・足利・斯Ⅱ、梅
 沢・東洋・東急・敦Ⅰ・道藏・治要・天理 には「淳」字〔武内
 には「熹」字がある
 〔書陵・敦Ⅰ・道藏〕「也」字有り
 18 「書陵・敦Ⅰ・道藏」〔也〕字無し、「梅沢」〔也〕二字に作る、
 「東急」字下、又「也」字有り衍
 19 「親」字下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・
 慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・六地・
 陽Ⅱ・敦Ⅰ・東急・宋版・世徳・治要・天理 は「之」字、〔道藏
 は「而」字有り
 〔斯Ⅱ〕「徳」に作る
 21 20 「梅沢」〔也〕字に作る、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・
 東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・天理〕「之也」二字
 に作る
 22 〔足利・梅沢〕「形」に作る
 23 22 「道藏」は「也」字に、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・
 慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・天理〕
 は「之也」二字に作る
 24 「道藏」〔命〕字に作る
 25 24 「宋版」〔須〕字に作る
 26 25 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・書陵・足利・梅沢・東急・敦Ⅰ・宋
 版・世徳・道藏・治要」〔歸〕字に作る
 27 〔足利〕「識」字に誤る、但、見消ちを付す
 28 27 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大
 東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・治要」〔之也〕
 には、「東洋」は「之者也」に作る、尚、「東活」の「也」字傍に「才
 无」の校異書入れ有り
 29 「道藏」〔有〕に作る、尚、「東洋（青）・東活」の「信」字左旁に
 「故才」の校異書入れ有り
 30 「斯Ⅱ」〔焉〕字無し
 31 30 「君信不足於下」〔宋版・世徳・治要〕此の六字無し
 32 31 「下」字下、〔活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・東大・慶Ⅰ・大東・東洋・天理〕

33 「也」字、「梅沢」は「之也」二字有り
 34 「則有巧詐民」〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・慶Ⅰ・大東・足利・
 東洋・梅沢・宋版・世徳・治要・天理〕此の五字無し、尚、「東洋
 は地脚に此の五字を加筆補入する、〔道藏〕「下則欺詐於上」に作る
 〔東大・敦Ⅰ〕「也」字無し
 35 34 「有不信焉」〔宋版〕此の四字無し、恐らくは譌脱
 36 35 「東急・敦Ⅰ・世徳」〔焉〕字無し
 37 36 「君信不足於下」〔活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・天理〕此の六字無し
 38 37 「下則」〔東洋〕「則下」に作る
 39 38 「敦Ⅰ・道藏」〔也〕字無し
 40 39 「東洋」〔猶〕字左旁に「或作悠」の校異書入れ有り
 41 40 「龍門・書陵・六地」〔其〕字無し
 42 41 「龍門」〔大〕字に作る
 43 42 「道藏」〔古〕字に作る
 44 43 「東大」〔之〕字無し
 45 44 「猶々」〔宋版・世徳〕「猶」一字に、「敦Ⅰ」〔猶々然〕に作る
 46 45 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大
 東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道藏」天
 理〕「也」字有り
 47 「功成事遂」〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東
 大・慶Ⅱ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・六
 地・陽Ⅱ・敦Ⅰ・東急・天理〕「成功遂事」に作る
 48 「龍門・書陵・慶Ⅱ・敦Ⅰ・道藏」〔也〕字無し
 49 48 「東活」〔謂〕字左旁に「曰才」の校異書入れ有り
 50 49 「敦Ⅰ」〔上〕字無し
 51 50 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大
 東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東洋・東急・敦Ⅰ・天
 理〕「淳」字無し、但、「梅沢」は「徳厚」字間に小圈を付し右旁に
 〔淳〕字を加筆
 52 「敦Ⅰ」〔乃〕字に作る
 53 52 「自」字上、〔宋版・世徳〕に「只」字、〔道藏〕に「已」字有り
 54 53 「道藏」〔如〕に作る
 55 54 「東大・敦Ⅰ・道藏」〔也〕字無し

大道廢焉有仁義

大道之時家有孝子戸有忠信仁義不見也大道廢不用惡逆生乃有仁義可傳道也

智惠出焉有大偽

智惠之君賤德而貴言賤質而貴文下則應之以為大偽奸詐也

六親不和有孝慈

六紀廢紀親戚不和乃有孝慈相収養也

國家昏乱焉有忠臣

政令不行上下相怨邪僻爭權乃有忠臣匡救其君也此言天下太平不知仁人盡無欲不知廉各自潔已不知貞大道之世君仁義沒孝慈滅猶日中盛明衆星失光者也

大道廢レテ(焉)・仁義有(リ)

大道ノ(之)時ハ・家ニ孝子有(リ)。戸ニ忠信有(リ)。仁義見(去)ハレ不(也)。大道廢レテ用(乖)ラレ不(也)・惡逆生(ス)・乃(子)仁義ノ傳(道)可(キ)コト有(リ)(也)

智惠出(テ)テ(焉)・大偽有(リ)

智惠ノ(之)君ハ徳ヲ賤(シ)クシテ(而)言ヲ貴フ・質ヲ賤(シ)クシテ(而)文ヲ貴(フ)。下(則)應(去)シテ(之)・以テ大偽奸詐ヲ為(ス)(也)

六親和セ不(リ)・孝慈有(リ)

六記廢レ紀絶(ト)ヘ・親戚不(和)ニシテ・乃(子)孝慈有(リ)テ・相収メ(養)フ(也)

國家昏乱ノ(焉)・忠臣有(リ)

政令行ハレ不(リ)・上下相怨ム。邪僻ニシテ權ヲ爭(ヒ)テ・乃(子)忠臣有(リ)テ・其ノ君ヲ匡シ救フ(也)。此ハ言ハ天下太平ナルトキハ・仁ヲ知(ラ)不(リ)人盡ク無欲ナルトキハ・廉ヲ知(ラ)不(リ)各自(ラ)己ヲ潔ク・貞ヲ知(ラ)不(リ)大

道ノ(之)世ニハ・君ノ仁義沒レテ・孝慈ノ滅ユルコト猶(ホ)日中ノ盛明ナルトキニ・衆星ノ光ヲ失フカ(猶)シ(者)

校異

- 1 「無窮・書陵・龍門・足利・斯Ⅱ・東急・敦Ⅰ・六地・陽Ⅱ」章題無し、「筑波・武内・東大・東洋」字下「章」字有り、「慶Ⅰ・大東」大道章第二、「弘文・慶Ⅱ」大道廢章第十八に作る
- 2 「敦Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」焉「字無し」
- 3 「家」字下、無窮「曇字」有り
- 4 「道蔵」に作る
- 5 「天理」臣「字」に作る
- 6 「道蔵」不「字無し」
- 7 梅沢・武内・東大・筑波・東洋・敦Ⅰ・東急・道蔵「也」字無し、但、梅沢は「見大」字間に加筆
- 8 東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・天理「不用」二字無し
- 9 「用」字下、道蔵「而」而有り
- 10 「無窮」在「に作る」
- 11 「弘文」得「字」に作る
- 12 「宋版・世徳・道蔵」也「字無し、敦Ⅰ」耳「字」に作る
- 13 梅沢は「智」字右旁に「知イ」の校異書入れ有り
- 14 「敦Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」焉「字無し」
- 15 「道蔵」而「字無し」
- 16 「道蔵」而「字無し」
- 17 「道蔵」為「字無し」
- 18 「敦Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」也「字無し」
- 19 「弘文・東洋」一知「字」に作る
- 20 「有」字上、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘文・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・六地・天理「焉」字有り
- 21 「書陵・梅沢・世徳・道蔵」親「字」に作る、尚「足利」は「紀」字右旁に「親」字を加筆する、宋版は「絶」字に誤る
- 22 「東急・敦Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」廢「字無し」
- 23 諸本「絶」字に作る、此の本恐らくは誤写

也

- 24 「東大・宋版・世徳・道蔵」は「牧」字に、「筑波」は「救」に、「慶Ⅱ」は「収救」二字に作る、尚、「武内」は「取」字右旁に「牧イ」の校異書入れ有り
- 25 「敦Ⅰ・道蔵」也「字無し、書陵」は「之」に作る
- 26 「梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・敦Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」焉「字無し、但、梅沢は「乱有」字間に加筆、六地」は挿入符を施し地脚に「焉」字加筆し補入
- 27 敦Ⅰ「正」字に作る
- 28 「世徳・道蔵」辟「字」に作る
- 29 筑波・慶Ⅰ・大東「信」字に作る
- 30 「宋版・世徳」正「字」に作る
- 31 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・敦Ⅰ・東急・天理「也」字無し
- 32 弘文「此」字無し
- 33 「東急」大「字」に作る
- 34 「世徳」義「に作る」
- 35 陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ
- 36 「陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ」大「字」上、「道蔵」故「字」有り
- 37 「宋版・世徳・道蔵」自「字無し」
- 38 「大」字上、「道蔵」世「字無し」
- 39 「宋版・世徳」世「字無し」
- 40 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・敦Ⅰ・東急・道蔵・天理「君」字無し
- 41 「仁義没孝慈滅」道蔵「孝慈滅仁義没」に作る
- 42 「道蔵」月「に作る」
- 43 「宋版・世徳」時「字」に作る
- 44 「衆」字上、「東洋」而「字」有り
- 45 「敦Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」者也「二字無し、東大・東洋・東急」者「字無し、慶Ⅱ・梅沢」者也矣「に作る」

絶聖

絶聖制作反初守元五帝畫像蒼頡作書不如三皇結繩無文也

還淳第十九
聖ヲ絶チ

聖ノ制作ヲ絶(チ)テ・初二反リ元ヲ守ルハ・五帝ノ畫像モ・蒼頡カ作書モ・三皇ノ繩ヲ結(ヒ)テ文無カシニハ如

(カ)不(也)

棄智

棄智惠反無為也

智ヲ棄(ツ)レハ

智ヲ惠ヲ棄テ・無_レ為_レ反ラン(也)

民利百倍

農事修公無私也

民ノ利百_レ倍シナン

農_レ事修(マ)リテ・公ニ_ツ私無シ(也)

絶仁棄義

絶仁之見恩惠棄義之尚華言也

仁ヲ絶(チ)義ヲ棄(ツ)レハ

仁ノ(之)恩_レ惠(ヲ)見_レ去スルヲ絶(チ)・義ノ(之)華_レ言ヲ尚

フコトヲ棄(ツ)(也)

民復孝慈

德化淳也

民孝_レ慈ニ復_ルンナン

德_レ化淳シ(也)

絶巧棄利

絶巧者詐偽乱真也棄利者塞貪路閉權門也

巧ヲ絶(チ)利ヲ棄(ツ)レハ

巧ヲ絶(ツ)ト云ハ(者)・詐偽ハ真ヲ乱(ス)(也)。

利ヲ棄(ツ)ルト云ハ(者)・貪_レ路ヲ塞キ・權_レ門ヲ閉ツルソ(也)

盜賊無有

上化公正無邪私

盜_レ賊有(ル)コト無(ケ)ン

上ノ化_レ公正ナルトキハ・邪_レ私無(ケ)ン

此三者

謂上三事所棄絶也⁴¹⁴²

以為文不足

以為文不足者文不足以教民也⁴³⁴⁴⁴⁵

故令有所屬

當如下句⁴⁶

見素抱朴⁴⁷⁴⁸

見素者當見素守真不尚文飾也抱朴者當抱其質朴⁴⁹⁵⁰⁵¹⁵²⁵³⁵⁴⁵⁵⁵⁶⁵⁷⁵⁸
以示下故下法則⁵⁹⁶⁰⁶¹⁶²⁶³

小私寡欲⁶⁴⁶⁵

當知足也⁶⁶⁶⁷

校異

- 1 「書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・敦Ⅰ・六地・陽Ⅱ」章題無し、「筑波・武内・東大・東洋」字下「章」字有り、「慶Ⅰ・大東」は「絶聖章第十九」に、「弘文・慶Ⅱ」は「絶聖棄智章第十九」に作る
- 2 「筑波・慶Ⅱ」復字に作る
- 3 「活Ⅰ」は「無」字に、「陽Ⅰ」は「无」字に作る、尚、「梅沢」は重書きされ「元」「无」の判別が困難、ただ「モト」の振り仮名を付す

此ノ三ノ者ハ

上ノ三事ノ棄(テ)絶ツ所ヲ謂(フ)也

以為ヘラク文足(ラ)不ト以為ヘリ

以為(ヘ)ラク文足(ラ)不ト以為ヘリト云ハ(者)・文以テ

民ヲ教フルニ足(ラ)不(也)

故ニ屬スル所有(ラ)令(ヘム)

當ニ下ノ句(ノ)如(ク)ナル當シ

素(ヲ)見(去)シ朴(入)ヲ抱リ

素ヲ見スト云ハ(者)・當ニ素ヲ見(去)シ眞ヲ守(リ)テ・

文飾を尚(ハ)不(ル)ソ(也)・朴ヲ抱(リ)云ハ(者)・當ニ

其ノ質朴(入)ヲ抱(リ)テ・以テ下ニ示ス。故ニ下法リ則ル

私小(ナ)ク欲寡ナシ

當ニ足ルコトヲ知(ル)當シ(也)

- 4 「五」字下、「東急」「常」字有り、但見消ちを付す
- 5 「筑波」「章」に誤る
- 6 「宋版」「世徳」「垂」字に作る
- 7 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東急・道藏・天理」「象」に作る
- 8 「武内・東大・東洋・梅沢・敦Ⅰ・東急・道藏」「倉」字に作る
- 9 「無窮・活Ⅱ・慶Ⅰ・大東・弘文・足利・斯Ⅱ・天理」「造」字に作る
- 10 「陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・足利・東洋・敦Ⅰ」「无」に作る

11 「文」字下、「道藏」「而治」二字有り
 12 「東急・敦Ⅰ・宋版・世徳」「也」字無し、「梅沢」は「者也」二字に作る
 13 「棄智」、「東急」は「弃知」に作る
 14 「反」字下、「敦Ⅰ」「不」字有り
 15 「陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅱ・大東・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・敦Ⅰ・宋版・世徳・道藏」「也」字無し、「東洋」は「也」字に作る
 16 「東急・敦Ⅰ・宋版・世徳・道藏」「也」字無し、「東洋」は「也」字に作る
 17 「六地」「昏」に誤る、但、見消ちを付し右旁に「民」字を加筆
 18 「書陵」「陪」字に作る
 19 「陽Ⅰ・龍門・筑波・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・敦Ⅰ」「无」字に作る
 20 「筑波」「和」に誤る
 21 「敦Ⅰ・宋版・世徳・道藏」「也」字無し、「東洋」「者也」に作り、「梅沢」は「也」之「之」字に作り「之」字を墨斜線で抹消
 22 「慶Ⅰ・大東」「之」字無し、「敦Ⅰ」「之」字下又「之」字有り、衍
 23 「道藏」「恩惠」二字無し
 24 「惠」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・天理」「也」字有り、また「梅沢」は「惠弄」の字間に「也」字を加筆
 25 「道藏」「言」字無し、「宋版・世徳」は「信」字に作る
 26 「敦Ⅰ・宋版・世徳・道藏」「也」字無し、「梅沢」は「也」之「之」字に作る
 27 「道藏」「純」字に作る
 28 「敦Ⅰ」「也」字無し
 29 「書陵」「功」字に作る、但、見消ちを付し、左旁に「巧」字を加筆して墨合点を施す
 30 「絶巧者詐偽乱真也」、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅱ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・敦Ⅰ・東急・道藏・治要・天理」は、経文「絶巧」句下に在り、但、「活Ⅰ・陽Ⅰ・龍門・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・敦Ⅰ・東急」には「者」字無く、「活Ⅱ・無窮・書陵・武内・東大・慶Ⅱ・大東・筑波・東洋・梅沢・天理」は「言」に作っている、但、「無窮」は「言」字に見消ちを付し右旁に「言」字を、下の字間余白り、「慶Ⅱ」は「詐」字を塗抹し右旁に「言」字を、下の字間余白

に「詐」字を再度加筆する、また、「敦Ⅰ・道藏」には「也」字無く「治要」は「絶巧詐也」の四字に作っている
 31 「棄利者」、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・敦Ⅰ・東急・道藏・治要・天理」は此の三字無し
 32 「活Ⅰ・活Ⅱ」「貧」字に作る
 33 「閉龍門」、「治要」此の三字無し
 34 「東急・敦Ⅰ・道藏」「也」字無し、「梅沢」は「之也」二字に作り、「之」字を墨斜線で抹消する
 35 「龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・六地・敦Ⅰ・治要」「无」字に作る
 36 「公正」、「宋版・世徳」「公政」に作る
 37 「正」字下、「武内・東大・慶Ⅰ・大東・筑波・慶Ⅱ・宋版・世徳・道藏」は「下」一字、「東洋」「而下」二字有り
 38 「陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・東洋・敦Ⅰ」「无」字に作る
 39 「邪私」、「道藏」は「私邪」に、「無窮」は「耶心」に作る、「足利・敦Ⅰ」「邪」を「耶」に作る、「足利」は此の字を消し肩上に「邪」字を加筆、「筑波」は「私」を「和」に誤る
 40 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・龍門・弘文・筑波・足利・梅沢・東急・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・斯Ⅱ・東洋・治要・天理」「也」字有り
 41 「棄絶」、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・敦Ⅰ・天理」は「絶棄」に、「東急」は「絶奇」に、「道藏」は「私弄」に作る
 42 「敦Ⅰ・道藏」「也」字無し
 43 「治要」「以為文不足者」六字無し
 44 「道藏」「化」に作る
 45 「敦Ⅰ・宋版・世徳・道藏」「也」字無し
 46 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・書陵・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・天理」「抱」字有り
 47 「天理」「抱」字左旁に「本作見」と、「慶Ⅰ」は眉上に「抱」字本作見と校異書入れ有り
 48 「梅沢・陽Ⅱ・敦Ⅰ・東急・道藏・治要」「樸」に作る、尚、「梅沢」は同字左旁に「朴イ」の書入れ有り
 49 「治要」「見素者當」四字無し、尚、「梅沢」は「見素者」三字は

本行に無く挿入符の小圈を施し左旁に加筆補入

50 「敦」字無し

51 「武内・東大・東洋・宋版・世徳・道藏・治要」に作る

52 「無窮・武内・筑波・慶二・東洋・天理」に作る、但、「慶

二」はもと「真」字が、加墨して「貞」字に訂正されたるが如し、

右旁の振り仮名は「テイ」とある

53 「治要」「抱朴者當」四字無し

54 「者」字上、「慶二」則「一」字有り

55 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

56 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

57 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

58 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

59 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

60 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

61 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

62 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

63 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

64 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

65 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

66 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

67 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

68 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

69 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

70 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

71 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

72 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

73 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

74 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

75 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

76 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

77 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

78 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

79 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

80 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

62 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

63 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

64 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

65 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

66 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

67 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

68 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

69 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

70 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

71 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

72 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

73 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

74 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

75 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

76 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

77 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

78 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

79 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

80 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

81 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

82 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

83 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

84 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

85 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

86 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

87 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

88 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

89 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

90 「活」字上、「慶二」則「一」字有り

上32才3 異俗第二十

絶學

絶學不真不合道文

無憂

除浮華則无憂患也

唯之與何相去幾何

同為應對而相去幾何疾時賤質而貴文

異俗第二十

學ヲ絶(テ)ハ

學ノ真ナラ不ソ・道ノ文ニ合(ハ)不(ル)ヲ絶(ツ)

憂(ヘ)無(ケ)ン

浮華ヲ除クトキハ・(則)憂(患)无(ケ)ン(也)

唯(ヘ)上(ト)之(何)與(ト)相(去)レルコト幾(何)ソ

同ク應(去)對ヲ為ス・而ツ相(去)レルコト幾(何)ソ。時ノ質

善之与惡相去何若

21 善者稱譽惡者諫諍能相去何如疾時惡忠宜用邪佞

人之所畏

人謂道人人所畏者畏不絶學之君也

不可不畏

26 近今色致仁賢也

荒兮其未央哉

32 言世俗人荒乱欲進學文未央止也

衆人熙々

36 熙々淫放多情欲也

如享太牢

41 如飢思太牢之具意无足時也

如春登臺

(ヲ) 賤ノ(而) 文ヲ貴フコトヲ疾ム

善ト(之) 惡ヲ(ト) 相去(レル) コト何(若) ン

善ハ(者) 稱譽シ・惡ハ(者) 諫諍ス。能(ク) 相去(レル)

コト何(若) ソ。時ノ忠直ヲ惡(去) ムテ・邪佞ヲ用(用) ルコトヲ疾ム

人ノ(之) 畏ル、所ヲハ

人ト云ハ・道人ヲ謂(ヒ)・人ノ畏(ル) 所ト云ハ(者)・學ヲ

絶(タ) 不(ル) ノ(之) 君ヲ畏ル(也)

畏レ不(シ) ハアル可(カラ) 不

令色ヲ近(去) (ツ) ケ・仁賢ヲ煞ス(也)

荒トノ(兮)・其(レ) 未タ央ナラ「未(ル) 哉

言ハ世俗ノ人ノ荒乱ヲ進(ミ) テ文ヲ學(ハ) マク欲(ス) レ

トモ・未タ央ナラ「未」シテ止(ム) (也)

衆人ハ熙々タリ

熙々ハ・淫放ニツ情欲多(キ) ソ(也)

太牢ヲ享クルカ如(シ)

飢ヘテ太牢ノ(之) 具ヲ思フカ・意ニ足(ル) 時无(キ) カ如

(シ) (也)

春臺ニ登レルカ如(シ)

春隕陽交通万物感動登臺觀之意志淫淫然⁴⁷⁴⁸⁴⁹

我獨怕兮其未兆

我獨怕然⁵⁰安靜未有情欲之形兆也⁵¹⁵²⁵³⁵⁴

如嬰兒之未咳⁵⁵⁵⁶⁵⁷

如小兒未能答偶人時也⁵⁸⁵⁹

偏く兮若无所歸⁶⁰⁶¹⁶²⁶³⁶⁴

我偏く如窮鄙无所皈就⁶⁵⁶⁶⁶⁷⁶⁸⁶⁹

衆人皆有餘

衆人餘財以為奢餘智以為詐也⁷⁰⁷¹⁷²⁷³⁷⁴

而我独若遺⁷⁵

我独如遺棄似於不足也⁷⁶⁷⁷⁷⁸⁷⁹

我愚人之心也哉⁸⁰

不与俗人相隨守一不移如愚人之心也

沌く兮⁸¹⁸²⁸³

春ハ・隕陽交ト通ゾ・万物感動ス・臺ニ登(リ)テ觀レハ

〔之〕・意ト志淫ト淫ト然タリ

我獨^レ怕トノ〔兮〕・其(レ)未タ兆^{キヤ}・未

我独^レり怕然安^レ靜ニ^レ・未タ情欲ノ〔之〕形兆有(ラ)未

〔也〕

嬰^{アキヤト}兒ノ〔之〕未タ咳ハ未^ルルカ如(シ)

小兒ノ未タ人ニ答偶スルコト能(ハ)未^ル(ル)時ノ如シ〔也〕

偏^{ライ}々トノ〔兮〕・歸スル所无(キ)カ若シ

我偏々トノ窮鄙ニ^レ皈就(スル)所无(キ)カ如(シ)

衆人ハ皆餘有(リ)

衆人ハ・財ヲ餘^{オコリ}ノ以テ奢ヲ為(シ)・智ヲ餘^{オコリ}ノ以テ詐ヲ為(ス)

〔也〕

而^{シテ}我独^リ遺レタルカ若シ

我^レ独^リ遺(レ)棄(テ)タルカ如シ。〔於〕足(ラ)不(ルニ)似

(タリ)〔也〕

我ハ愚人ノ〔之〕心アル也^カ哉

俗人^ト与相隨ハ不^ス。一ヲ守リテ移ラ不^ス・愚人ノ〔之〕心ノ如

シ〔也〕

沌々^トタリ〔兮〕

无所分別⁸⁴
85

俗人昭く

明且達也

我獨若昏

如闇昧也

俗人察く

察く急且疾也⁹³

我獨悶く

悶く无所割截⁹⁸

忽兮其若海

我獨忽く如江海之流莫知其所窮極也¹⁰⁷

澗兮若無所止¹¹⁰

我獨澗く若飛揚无所止也志意在神域也¹¹⁷

衆人皆有以

以有為也¹¹⁸

而我獨禪

我獨无為¹²¹

分別へ入る所无(シ)

俗人ハ昭々タリ

明ニッ且達ナリ(也)

我獨リ昏キカ若(シ)

闇昧ナルカ如(シ)(也)

俗人ハ察々タリ

察々ハ急ニッ且疾キノ(也)

我獨(リ)悶々タリ

悶々ハ割截スル所无(キノ)

忽トソ(兮)・其(レ)海ノ若(シ)

我獨(リ)忽々トソ・江海ノ(之)流レテ・其ノ窮(マリ)極

(マ)ル所ヲ知(ル)コト莫(キ)カ如(シ)(也)

澗タルコト(兮)・止マル所無(キ)カ若シ

我獨(リ)澗々トソ・飛揚ノ・止(マ)ル所无(キ)カ若(シ)

(也)。志意・神域ニ在(リ)(也)

衆人ハ皆以(テ)スルコト有(リ)

以ハ・為(ル)コト有(ル)ソ(也)

而ソ我獨(リ)禪

我獨(リ)為(ル)コト无(シ)

似鄙

似鄙若不遠也¹²²

我獨異於人

我獨與人異也¹²⁴¹²⁵¹²⁶

而貴食母

食用也¹²⁷¹²⁸母道也¹²⁹我獨費用道也¹³⁰¹³¹

鄙(シ)キニ似(タリ)

鄙ニノ遠ハ不(ル)カ若キニ似(タリ)(也)

我「獨(リ)〔於〕人ニ異ナリ

我「獨(リ)人ヲ異ナリ(也)」

而ノ母(平)〔ヲ〕食^{モテ}井ルコトヲ貴フ

食ハ・用(也)。母(ハ)・道(也)。我「獨(リ)道ヲ用(キ)ルコトヲ貴フ(也)」

校異

- 1 「無窮・書陵・龍門・足利・斯II・東急・六地・陽II・敦I」章題無し、〔武内・東大・東洋〕「俗」字下「章」字有り、〔慶I・大東〕は「絶學章第二十」に「弘文・慶II」は「絶學無憂章第二十」に作る
- 2 「筑波」〔偽〕字に作る
- 3 「二十」、〔梅沢〕「廿」に作る
- 4 「眞」字下、〔東洋〕「而」字有り
- 5 「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・東洋・東急・天理」〔也〕字有り
- 6 「龍門・六地・敦I」〔无〕字に作る
- 7 「浮華」、〔弘文〕「花浮」に作る
- 8 「活I・活II・無窮・書陵・弘文・足利・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・天理」〔無〕に作る
- 9 「足利」〔憂〕字無し
- 10 「活I・道藏」〔也〕字無し
- 11 「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・弘文・敦I・宋版・世徳・道藏・天理・梅沢?」〔阿〕字に作る、但「大東」の「阿」字右旁に「河イ」の校異書入れ有り、尚、〔東洋〕は「何」字左旁に見消ちを付し右旁に「阿」字を

加筆(青筆)する、また、「足利」は「何」字を墨消し眉上に「阿」字を加筆する

12 「而」字上、〔書陵〕「化」字有り

13 「時」字下、〔道藏〕「君」字有り

14 「慶II」〔賊〕字に作る

15 「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・筑波・慶II・弘文・足利・斯II・東洋・東急・天理」は「也」字有り、〔梅沢〕は「之也」の二字が有って「之」字に墨斜線を付けて抹消

16 「宋版・世徳」〔和〕字に作る

17 「東洋」は「靜」字(但、左旁に「靜」字を加筆)に、〔宋版・世徳・道藏〕は「爭」字に作る

18 「能」字上、〔活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II〕「也」字有り、尚、〔梅沢〕は「能」字上の字間に「也」字を加筆する

19 「時」字下、〔道藏〕「君」字有り

20 「邪佞」、〔活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II〕「俊邪」に作る

21 「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・弘文・足利・斯II・東洋・梅沢・東急・天理」は「也」

一字、筑波」は「者也」二字有り、尚、「慶Ⅱ」一「也」字上字間に小圈を施し右旁に「者」字を加筆する

22 「人」字下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波、弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・宋版・世徳・道蔵・天理「也」字有り、但「慶Ⅱ」は「人」字下の字間に加筆する

23 「慶Ⅱ・弘文」八「二」字を脱す、「人」字下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・天理「之」字有り

24 「陽Ⅰ」一「若」に誤る

25 「敦Ⅰ・道蔵」一「也」字無し

26 「近」字上、「宋版・世徳」不可不畏「四字有り

27 「斯Ⅱ」合「に」に作る、尚、「梅沢」は「令危」右旁に「令色イ」と校異の書入れ有り

28 「梅沢・東急」一「危」字に作る、尚、「慶Ⅰ」の眉上に「令色述乍危或本乍色也」と、また「大東・武内」にもほぼ同文同義の書入れが見える

29 「龍門・慶Ⅱ・武内・東大・大東・筑波・斯Ⅱ・梅沢・東洋・東急・宋版・世徳・道蔵・天理」殺「字に作り、「無窮」は「移」字に作る

30 「仁賢」・「道蔵」(「賢人」)に作る

31 「慶Ⅱ」東急・敦Ⅰ・宋版・世徳・道蔵「也」字無し、但、「慶Ⅱ」は「賢」下の字間に「也」字を加筆する、「梅沢」は「也」之「に」に作り、「之」字に抹消符墨斜線を加える

32 「言」字上、「宋版・世徳」或「字有り

33 「俗」字下、「道蔵」之「字有り

34 「文」字上、「宋版・世徳」は「爲」字、「道蔵」は「邪」字有り

35 「敦Ⅰ」一「也」字無し

36 「無窮」(「多」)に作る

37 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波、弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・敦Ⅰ・天理」浮放「二字無し

38 「東急」敦Ⅰ「也」字無し

39 「梅沢、陽Ⅱ」東急「若」字に作る、尚、「梅沢」一「若」字右旁に「如イ」の校異書入れがある

40 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・天理」大「字に作る

41 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘文・梅沢・敦Ⅰ・天理」大「字に作る

42 「人」一「且」字に作り、「武内・東大・東洋」は「食」字に作り、「梅沢」は挿入符を以て「具」字下に「食」字を補入

43 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・足利・梅沢・敦Ⅰ・東急・宋版・世徳・道蔵・天理」弘文「無」字に作る

44 「梅沢、敦Ⅰ」一「也」字無し

45 「梅沢・陽Ⅱ・東急」一「若」に作る、「梅沢」は右旁に「如」字を加筆

46 「春登」一「世徳」登春「に作る

47 「足利」感「に作る

48 「意志」一「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波、弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東洋・東急・天理」志意「に作る

49 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波、弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・東急・天理」は「也」之「に作る

50 「道蔵」(「分」)に作る

51 「未有」・「道蔵」無「に作る

52 「道蔵」之「字無し

53 「東急」刑「字に作る

54 「道蔵」也「字無し

55 「梅沢、陽Ⅱ・東急」一「若」字に作る、但、「梅沢」は右旁に「如」字を加筆

56 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波、弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・陽Ⅱ・六地・道蔵・天理」翌字「字に作る

57 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・天理」一「残」字に、「宋版・世徳・道蔵」は「孩」字に作る

58 「人」字下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波、弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・天理「之」字有り、尚、「梅沢」は「人」下字間に「之」字を加筆

59 「道蔵」也「字無し」一「東洋」は「者也」二字に作る

60 「偏々」・「宋版・世徳・道蔵」(「乘乘」)に作る、尚、「弘文」の眉上に「偏王弼註作乘」との書入れ有り

61 「東急」翌字無し

62 「若」字上、活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・

東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・
 六地・陽Ⅱ・天理「其」字有り
 63 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・弘文・筑波・慶Ⅱ・斯
 Ⅱ・東洋・梅沢・東急・宋版・世徳・道蔵・天理「無」に作る
 64 「筑波・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・天理「版」字に作る
 65 「我」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・
 慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・
 天理「獨」字有り
 66 「梅々」・「宋版・世徳・道蔵「乘乘」に作る
 67 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・筑波・弘文・足利・梅沢・東急・宋
 版・世徳・道蔵・天理「無」字に作る
 68 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・宋
 版・世徳・道蔵「歸」字に作る
 69 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・龍門・足利・斯Ⅱ・梅沢・東
 急・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・東洋・道蔵・天
 理「也」字有り
 70 「人」字下「道蔵」皆有「二字有り」
 71 「弘文」「余」字に作る
 72 「武内・慶Ⅱ「賊」字に作る
 73 「弘文」「余」字に作る
 74 「弘文・東急・宋版・世徳・道蔵「也」字無し、「梅沢」は「之
 也」・東洋は「者也」二字に作る
 75 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・東洋・東急・天理「而」字無し、但、
 「東洋」は「我」字上辺に小圈を施し、眉上に「而」字を加筆（青
 筆）する、また「大東」「而」字左傍に「異无」の校異書入れが有
 る
 76 「龍門」「貴」字に誤る
 77 「活Ⅰ・活Ⅱ」「以」字に作る
 78 「足利」「我」に作る
 79 「東洋」「者」字に作る
 80 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大
 東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東
 急・天理「也」字無し
 81 「活Ⅰ」字上、「武内・東大・筑波」「我獨」二字有り、尚「大東」
 は右傍に「我獨」「二字加筆」し「活Ⅰ」字上に挿入符の小圈を施す
 82 「活Ⅰ」字下、「道蔵」「純純」に、「足利」は「范々」に作る、但、「足
 利」は「范」を墨消し、地脚に「活Ⅰ」字を加筆する、尚、「武内・

慶Ⅱ・大東・慶Ⅰ」に「沌才乍純」の校異書入れを認める
 83 「梅沢・陽Ⅱ」「乎」字に作る、但「梅沢」は右傍に「兮」字を
 加筆する
 84 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・弘文・足利・梅沢・東急・世
 徳・道蔵・天理「無」字に作る
 85 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・龍門・弘文・足利・東急・武
 内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・東洋・天理「は」「也」
 字「梅沢」は「也之」二字有り、但、「梅沢」は「之」字に抹消符
 墨斜線を加える
 87 「道蔵」「衆」字に作る
 88 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・筑波・弘文・足利・梅沢・東急・世
 徳・道蔵・天理「無」字に作る、但、「書陵」の「照」字左
 傍に「或本昭」の校異書入れ有り
 89 「武内・東大・筑波・東洋」「如」字に作る、尚、「梅沢」は「若」
 字に重ねて墨点を加え右傍に「如」字を加筆
 90 「道蔵」「暗」字に作る
 91 「道蔵」「衆」字に作る
 92 「龍門」「是」字に作る
 93 「察く」「東急・道蔵」此の二字無し
 94 「悶」「武内・慶Ⅱ・大東・慶Ⅰ」の眉上に「或乍悶」の校異書
 入れを認める
 95 「悶く」「東急」此の二字無し
 96 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・筑波・弘文・足利・梅沢・東急・世
 徳・道蔵・天理「無」字に作る
 97 「割截」「道蔵」「截割」に作る
 98 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・龍門・弘文・足利・梅沢・東急・武
 内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・斯Ⅱ・東洋・天理「也」字有り
 99 「弘文」「忽」字下、疊字「々」有り、尚、「武内」の眉上に「才
 乍濼本乍忽若晦非是」と、また「慶Ⅰ・大東」眉上にも殆ど同文の
 校異書入れが有る
 100 「梅沢・陽Ⅱ」「乎」字に作る
 101 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘
 文・足利・斯Ⅱ・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・宋版・世徳・道蔵・天
 理「其」字無し、但、「梅沢」は「兮若」字間に小圈を施し右傍に
 「其」字を加筆
 102 「忽く」下、「道蔵」「兮」字有り
 103 「筑波・東大・武内・東洋・梅沢・東急」「若」に作る

104 「江海」、東大・筑波・東洋「海江」に作る、尚、「梅沢」の
 「江海」右旁に「海江イ」の校異書入れを認める
 105 「斯II」洗字に誤る
 106 「其」字無し
 107 「道藏」字無し
 108 「活I・活II」武内・東大・筑波・東洋・宋版・世徳・道藏・天
 理は「漂」字に、「慶I・大東」は「測」字に作る、尚、書陵
 に「又乍漂」、「東洋（青）東活」に「述乍漂」の校異書入れを認
 める
 109 東大「無」字無し、「慶I・大東・慶II・六地」「无」字に作る
 110 「所」字無し
 111 「活I・活II」武内・東大・筑波・東洋・宋版・世徳・道藏・天
 理「漂」に、「慶I・大東」「測」に作る
 112 「飛」字下、「宋版・世徳・道藏」「若」字有り
 113 「活I・活II」無窮・武内・大東・足利・梅沢「揚」字に作る
 114 「活I・活II」書陵・慶II・筑波・弘文・足利・梅沢・東急・宋
 版・世徳・道藏・天理「無」字に作る
 115 「東急」字無し
 116 「足利」「城」字に作る
 117 「筑波・梅沢・道藏」「也」字無し
 118 「以」字下、「弘文」「似」字有り

119 「活I・活II」陽I・龍門・書陵・六地・天理「而」字無し、尚、
 梅沢は同字右旁に「或无」との書入れ有り
 120 「活I・活II」無窮・書陵・筑波・弘文・足利・梅沢・東急・宋
 版・世徳・道藏・天理「無」字に作る
 121 「活I・活II」陽I・無窮・書陵・龍門・武内・東大・慶I・大
 東・慶II・斯II・筑波・弘文・足利・東急・天理は「也」字、
 「東洋」は「也矣」、「梅沢」は「之也」の二字有り
 122 「似鄙」、「宋版・道藏」「鄙似」に作る
 123 「活I・活II」陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大
 東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・東洋・梅沢・宋版・世徳・道
 藏・天理は「一建」字に、「東急」は「一建」字に作る、此の本の
 「遠」字は伝写の譌か
 124 「我独」、「道藏」此の二字無し
 125 「龍門」「異」字無し
 126 「道藏」「也」字無し
 127 「無窮」「貧」字に誤る
 128 「東急」「也」字無し
 129 「東急」「也」字無し
 130 「我」字上、「道藏」「唯」字有り
 131 「道藏」「也」字無し

上34才6 虚¹心第²二十一

孔徳之容

孔大也³有大徳之人⁴无所不容⁵能受垢濁⁶処謙卑也⁷

唯道是從

唯独也⁸太徳之人⁹不随世俗¹⁰所行独從於道也¹¹

虚¹心第²二十一

孔イナル^{ホホ}徳ノ^イ之^イ容ル、コト

孔ハ・大^ホ也^イ。大徳有^ル之^イ人ハ・容レ不ト云所无^ク。
 能^ク垢^ト濁^ヲ受^ケ・謙^卑二^処上^ル也^イ。

唯^ホ道^イ是^ニ從^フ

唯ハ・独^イ也^イ。太徳ノ^イ之^イ人ハ・世俗ノ^イ行^フ所^ニ隨^ハ不^ス。

道¹²之¹³為¹⁴物¹⁵唯¹⁶恍¹⁷忽¹⁸

道¹²之¹³於¹⁴萬¹⁵物¹⁶獨¹⁷恍¹⁸忽¹⁹往²⁰來²¹於²²其²³中²⁴無²⁵所²⁶定²⁷

忽²⁰兮²¹恍²²兮²³其²⁴中²⁵有²⁶像²⁷

道²³唯²⁴恍²⁵忽²⁶無²⁷形²⁸無²⁹形³⁰之³¹中³²獨³³為³⁴萬³⁵物³⁶設³⁷法³⁸像³⁹

恍³⁴兮³⁵忽³⁶兮³⁷其³⁸中³⁹有⁴⁰物⁴¹

道³⁷唯³⁸恍³⁹忽⁴⁰其⁴¹中⁴²有⁴³一⁴⁴經⁴⁵營⁴⁶主⁴⁷化⁴⁸因⁴⁹氣⁵⁰立⁵¹質⁵²也⁵³

窈⁴⁴兮⁴⁵冥⁴⁶兮⁴⁷其⁴⁸中⁴⁹有⁵⁰精⁵¹

道⁴⁴唯⁴⁵窈⁴⁶冥⁴⁷無⁴⁸形⁴⁹其⁵⁰中⁵¹有⁵²精⁵³實⁵⁴神⁵⁵明⁵⁶相⁵⁷薄⁵⁸隲⁵⁹陽⁶⁰交⁶¹會⁶²也⁶³

其⁴³精⁴⁴甚⁴⁵真⁴⁶

言⁴⁴道⁴⁵精⁴⁶氣⁴⁷道⁴⁸神⁴⁹妙⁵⁰是⁵¹真⁵²非⁵³有⁵⁴飾⁵⁵也⁵⁶

其⁴⁸中⁴⁹有⁵⁰信⁵¹

道⁴⁸匿⁴⁹功⁵⁰名⁵¹其⁵²信⁵³在⁵⁴中⁵⁵也⁵⁶

自⁵³古⁵⁴及⁵⁵今⁵⁶其⁵⁷名⁵⁸不⁵⁹去⁶⁰

獨¹リ²〔於³〕道⁴ニ⁵從⁶フ⁷〔也⁸〕

道¹ノ²〔之³〕物⁴為⁵〔ル〕コト⁶・唯⁷恍⁸タリ⁹唯¹⁰忽¹¹タリ¹²

道¹ノ²〔之³〕萬⁴物⁵ニ⁶於⁷〔ケル〕・獨⁸〔リ〕恍⁹忽¹⁰ト¹¹ソ¹²・〔於¹³〕其¹⁴ノ¹⁵中¹⁶

ニ¹往²來³ソ⁴・定⁵ル⁶所⁷無⁸〔シ〕

忽¹タリ²〔兮³〕恍⁴タリ⁵〔兮⁶〕・其⁷ノ⁸中⁹ニ¹⁰像¹¹有¹²〔リ〕

道¹唯²恍³忽⁴ニ⁵ソ⁶形⁷無⁸〔ク〕・無⁹形¹⁰ノ¹¹〔之¹²〕中¹³ニ¹⁴・獨¹⁵リ¹⁶萬¹⁷物¹⁸ノ¹⁹為²⁰

〔去¹〕〔ニ〕・法²像³ヲ⁴設⁵ク

恍¹タリ²〔兮³〕・忽⁴タリ⁵〔兮⁶〕・其⁷ノ⁸中⁹ニ¹⁰物¹¹有¹²〔リ〕

道¹唯²恍³忽⁴ニ⁵ソ⁶・其⁷ノ⁸中⁹ニ¹⁰有¹¹〔リ〕。經¹²營¹³ノ¹⁴化¹⁵ヲ¹⁶主¹⁷リ¹⁸・氣¹⁹

ニ¹因²〔リ〕テ³質⁴ヲ⁵立⁶〔ツル〕〔也⁷〕

窈¹タリ²〔兮³〕冥⁴タリ⁵〔兮⁶〕・其⁷ノ⁸中⁹ニ¹⁰精¹¹有¹²〔リ〕

道¹唯²窈³冥⁴ニ⁵ソ⁶形⁷無⁸〔ク〕・其⁹ノ¹⁰中¹¹ニ¹²精¹³實¹⁴有¹⁵〔リ〕。神¹⁶明¹⁷相¹⁸

薄¹メ²・陰³陽⁴交⁵會⁶ス〔也⁷〕

其¹ノ²精³甚⁴〔タ〕真⁵ナリ

言¹ハ²道³ノ⁴精⁵氣⁶・道⁷ノ⁸神⁹妙¹⁰・是¹¹真¹²ニ¹³ソ¹⁴・飾¹⁵〔ル〕コト¹⁶有¹⁷〔ル〕ニ¹⁸

非¹ス〔也²〕

其¹ノ²中³ニ⁴信⁵有⁶〔リ〕

道¹ハ²・功³名⁴ヲ⁵匿⁶ク⁷・其⁸ノ⁹信¹⁰中¹¹ニ¹²在¹³〔リ〕〔也¹⁴〕

古¹〔へ〕自²〔リ〕今³ニ⁴及⁵〔フ〕マテ⁶ニ⁷・其⁸ノ⁹名¹⁰去¹¹ラ¹²不¹³

自從也自古至今道常在不去⁵⁴

⁵⁵

以閱⁵⁶衆甫

閱稟也甫始也言道稟与万物始生從道受氣⁶⁰

吾何以知衆甫之然哉

我何以知從道受氣也⁶²

以此

此今也以今万物皆得道精氣而生人動作起居非道不然也⁶⁷

校異

- 1 「無窮・書陵・龍門・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ」章題無し、「武内・東大・東洋」「心」字下「章」字有り、「慶Ⅰ・大東」は「孔徳章第二十一」に、「慶Ⅱ」は「孔徳容章第廿一」に、「弘文」は「孔徳之章第二十二」に、「筑波」は「孔徳之容章第二十一」に作る
- 2 「二十」・「梅沢・慶Ⅱ・武内・東大・東洋」「廿」字に作る
- 3 「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「陽Ⅰ」・「龍門」・「書陵」・「武内」・「東大」・「慶Ⅱ」・「筑波」・「東洋」・「梅沢」・「東急」・「天理」「有」字無し、但、「慶Ⅱ」は「也大」字間右旁に「有」字を加筆
- 4 「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「無窮」・「書陵」・「大東」・「弘文」・「足利」・「斯Ⅱ」・「梅沢」・「東

自ハ・從(也)。古(へ)自(リ)今ニ至(ル)マテニ・道常ニ在(リ)テ去ラ不

以テ衆ニ甫ヲ閱ケシム

閱ハ・稟(也)。甫ハ・始(也)。言ハ道万物ニ稟(ケ)与フ・始メテ生スルコト・道(ニ)從(リ)テ氣ヲ受(ク)

吾何ヲ以テカ・衆ノ甫ノ(之)然ルコトヲ知(ラ)ン哉

我何ヲ以テカ・道(ニ)從(リ)テ氣ヲ受(ク)ルコトヲ知(ラン)

ヤ(也)

此ヲ以テナリ

此ハ・今(也)。今ノ万(物)ノ・皆道ノ精氣ヲ得テ(而)生(ス)ルヲ以テナリ。人ノ動(作)起(居)道ニ非(ス)ハ然(ラ)不(也)

急・宋版・世徳・道藏・天理「無」字に作る

- 5 「活Ⅱ」「客」字に誤る
- 6 「道藏」「沖」に作る
- 7 「道藏」「也」字無し
- 8 諸本「大」字に作る
- 9 「俗」字下、「武内・東大・東洋・天理」「之」字有り
- 10 「斯Ⅱ」「行」字無し
- 11 「筑波」「矣」字有り
- 12 「之」字下、「筑波・弘文・足利・斯Ⅱ」「於」字有り、尚、「梅沢」は「之」字下に小圈を施し右旁に「於」字を加筆
- 13 「龍門」・「慶Ⅱ」・「六地」「恍」字に作る、尚、「東洋」は「怳」字右

旁に「恍下同」と校字書入れ(青筆)有り
 14 「忽」、「武内」は眉上に「忽或乍惚或作恍忽」と、また「慶Ⅰ・大東」眉上にも殆ど同文の校語書入れ有り
 15 陽Ⅰ・書陵・龍門「独」字無し
 16 龍門「恍」字に作る。「慶Ⅱ」は「恍」の旁を墨を以て塗抹し左下に「祝々々」字を加筆する
 17 慶Ⅱ「急」字に誤る
 18 「其中无所定」、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・天理」其所二字に作る。「慶Ⅱ」は「中无所定」の各字に見消ちを付し「中」字の右旁に「所」字を加筆している。「道藏」は「而无所定」に作る。「宋版・世徳」は「中」字無し、「慶Ⅱ・世徳」は「无」を「無」に作る
 19 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・書陵・無窮・武内・東大・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・宋版・世徳・天理「也」字有り
 20 「忽兮恍兮」、「道藏」恍兮忽兮に作る
 21 龍門・慶Ⅱ・六地「恍」字に作る
 22 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・六地・陽Ⅱ・東急・天理「象」字に作る。「道藏」は「物」字に作る、尚「武内・慶Ⅰ」は眉上に「像」乍象の書入れ有り
 23 「道」字下「弘文」独「字有り」
 24 「忽恍」、「道藏」「窃冥」に作る
 25 龍門・慶Ⅱ「恍」字に作る
 26 活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・世徳・道藏・天理「無」字に作る
 27 活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・天理「無」字に作る
 28 「宋版・世徳・道藏」无形「二字無し」
 29 「道藏」其「字に作る」
 30 「道藏」有「字に作る」
 31 「道藏」世徳・道藏「設」字無し、「筑波」「説」字に誤る
 32 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・筑波・弘文・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道藏・天理「象」字に作る、尚「大東」の地脚に「一乍像也」の校異書入れ有り

33 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・筑波・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・天理「也」字有り
 34 龍門・慶Ⅱ・六地「恍」字に作る
 35 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ「忽恍」に、「慶Ⅱ」は「忽恍」に作る、尚「梅沢」は右旁に「忽恍イ」の校異書入れ有り
 36 「道藏」「象」字に作る
 37 「恍忽」、「陽Ⅰ・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ」忽恍に、「慶Ⅱ」は「忽恍」に作る、尚「梅沢」は右旁に「宋版・世徳・道藏」也「字無し」、「梅沢」は「之也」二字に作る
 38 「冥」、「大東」は右旁に「才乍冥也」の校異書入れ有り
 39 活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・慶Ⅱ・弘文・足利・梅沢・東急・世徳・天理「無」字に作る
 40 「道藏」无形「二字無し」
 41 「道藏」は「之」、「東急」は「之也」二字に作る
 42 「眞」、「武内」の眉上に「真才乍眞」と、「慶Ⅰ」眉上の書入れも本来同意と思われるが「眞」を「實」に作り見消ちを付して右旁に「冥ハク也」と訂正されている
 43 宋版・世徳「存」に作る
 44 諸本「道」字無し
 45 宋版・世徳「其」字に作る
 46 諸本「甚」字に作る
 47 「名」字上、「足利・宋版・世徳・道藏」藏「字有り」
 48 慶Ⅱ・道藏「其」字無し
 49 慶Ⅰ・大東「神」字に作る
 50 「中」字上、「道藏」其「字有り」
 51 「道藏」也「字無し」、「梅沢」は「之也」二字に作り、「之」字に朱の消し線を加えている
 52 慶Ⅰ・大東「其名」二字無し、但、両本ともに「今不」字間に小圈を施し右旁に此の二字を加筆し、眉上に「異本今字之下二有」其名字无者猶勝也の書入れが有る、尚「武内」の眉上には「異本二ハ其名ト云字無者」の書入れが見られる
 53 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道藏・天理「從」に作る
 54 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道藏・天理「從」に作る
 55 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大

東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・天理 は「也」字、「東洋」は「者也」二字有り
 56 「閔」・「梅沢」は左旁に「悦」の校字書入れ有り、尚、「武内・慶Ⅱ・大東」の眉上に「閔麁也或乍説兵錦反」との書入れが有る
 57 「道藏」「与」字無し
 「梅沢」「物始」字間に量字「々々(万物)」を加筆
 59 「始生從道受氣」・「斯Ⅱ」生從道受氣也始也」に作る
 60 「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「陽Ⅰ」・「無窮」・「龍門」・「書陵」・「武内」・「慶Ⅰ」・「大東」・「慶Ⅱ」・「筑波」・「弘文」・「足利」・「東急」・「天理」也」字有り、「梅沢」は「之也」二字に作り両字に重ねて朱消し線を加える

61 「我何以知從道受氣也」、此の注文、「道藏」に無し
 62 「書陵」・「宋版」・「世德」也」字無し
 63 「此今也以今萬物皆得道精氣而生入動作起居非道不然也」、「道藏」此の注文無し
 64 「今」字、「梅沢」「以万」字間に加筆
 「慶Ⅱ」而」字無し
 65 「慶Ⅱ」而」字無し
 66 「宋版」・「世德」入」字無し
 67 「宋版」・「世德」也」字無し、「斯Ⅱ」は「也矣」二字に、「梅沢」は「之也矣」三字に作り「之」「矣」の両字に重ねて朱消し線を加える

上35ウ5 益謙第二十二

益謙第二十二

曲則全

曲レルトキハ(則)全シ

曲已從衆不自專則全身也

己ヲ曲ケテ衆ニ從(フ)。自(ラ)專ナラ不(ル)トキハ・(則)身ヲ全ス(也)

枉則直

枉レルトキハ(則)直シ

枉屈已而申人久く自得直也

己ヲ枉ケ「屈」ノ(而)人ヲ申フルトキハ・久々ニ自(ラ)直キコトヲ得(也)

窪則盈

窪メルトキハ(則)盈ツ

地窪下水流之人謙下德歸之也

地窪「ミ」下(去)レルトキハ・水流ル(之)。人謙下(去)ナルトキハ・德歸ス(之也)

弊則新

弊ユルトキハ(則)新ナリ

自受弊薄後已先人天下敬之久く自新也²⁴

少則得

自得²⁵少則得多²⁶天道祐謙神明託²⁸塵²⁹

多則惑

財多者惑於守身³¹多者惑於所聞³²

是以聖人抱一爲天下式

抱守³⁴式³⁵法也聖人守一乃知万事故能爲天下法式也³⁸

不自見故明

聖人³⁹不以其目視千里之外⁴⁰乃因天下之目以視故能⁴¹

明達⁴²⁴³

不自伐故有功

伐⁴⁵取也聖人德化流行不自取其美⁴⁷故有功於天下⁴⁸

不自矜故長

矜⁴⁹大也聖人不自貴大故能長久不危也⁵³

自(ラ)弊薄ヲ受(ケ)テ・己ヲ後去(ニ)シ・人ヲ先(ニ)ス
ルトキハ・天下敬ス(之)。久々ニ自(ツカラ)新ナリ(也)
少(ナキ)トキハ(則)得^{ヒサシク}

自(ラ)少(ナキ)ヲ得(ル)トキハ(則)多(キ)ヲ得。天道ハ謙
ニ祐ヒシ・神明ハ虚ニ託ク^{サヤハ}

多(キ)トキハ(則)惑フ

財多キ者ハ・(於)身ヲ守ルニ惑フ・多キ者ハ・(於)聞

(ク)所ニ惑フ

是(ヲ)以テ・聖人ハ一ヲ抱リテ・天下ノ式爲(リ)

抱ハ・守。式(ハ)・法(也)。聖人ハ一ヲ守リテ・乃(チ)万

事ヲ知(ル)。故ニ能(ク)天下ノ法式爲(リ)(也)

自(ラ)見不・故ニ明ナリ

聖人・其ノ目ヲ以(テ)千里ノ(之)外ヲ視不。乃(チ)天下

ノ(之)目ニ因(リ)テ以テ視(ル)。故ニ能(ク)明達ス

自(ラ)伐ヲ不・故ニ功有(リ)

伐ハ・取(也)。聖人ハ德化流行スレトモ・自(ラ)其ノ

美ヲ取(ラ)不・故ニ(於)天下ニ功有(リ)

自(ラ)矜キナリトセ不・故ニ長シ

矜ハ・大(也)。聖人ハ・自(ラ)貴大ナラ不・故ニ・能(ク)

夫唯不爭故天下莫能与之爭⁵⁴

此言天下賢与不肖无能与不爭者爭也⁵⁵

古之所謂曲則全者豈虛言哉

傳古言曲從則全身正言非虛空也⁶⁰

誠全而歸之⁶⁴

誠實也能行曲從者實全其肌腠皈之於父母无有傷害也⁶⁷

長久ニツ・危カラ不(也)

夫(平)唯爭ハ不・故二天卜・能(ク)之与爭(フ)コト莫(シ)

此ハ言ハ天卜下ノ・賢ト不肖与・能(ク)争(ハ)不(ル)者与爭

フコト无(キノ)(也)

古ノ(之)所謂・曲レルトキ(則)全(シ)ト云ルハ(者)。豈二虚言ナラン哉

古ノ言ニ傳(フ)。曲(ケ)テ從(フ)トキハ(則)身ヲ全(ウス)

ト云ルハ・正言ナリ・虚ト空ニ非ス(也)

誠ニ全ヲ(而)歸ス(之)

誠ニ(ハ)・實(也)。能(ク)曲(ケ)テ從フコトヲ行フトキハ

(者)・實ニ其ノ肌腠ヲ全(ウ)シテ・之ヲ(於)父母ニ皈ス・

傷ト害スルコト有(ル)コト无(シ)(也)

校異

- 1 「無窮・書陵・龍門・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ」章題無し、
〔武内・東大・東洋〕は「謙」字下に「章」字有り、〔慶Ⅰ・大東〕
は「曲則章」に、〔筑波・弘文・慶Ⅱ〕は「曲則全章」に作る、但、
〔筑波〕は「全」を「金」字に誤る、尚、〔梅沢〕の「益」字右旁に
「盡イ」との校異書入れ有る
- 2 「二十」の校異書入れ有る
- 3 「全」字下、〔宋版・世徳〕「其」字有り
- 4 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・梅沢・武内・東大・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・斯Ⅱ・足利・東洋・東急・治要・道藏・天理」字無し、但、〔梅沢〕は「全也」字間に挿入符小圈を施し

- 5 「其身」二字を加筆
- 5 足利・道藏「也」字無し
- 6 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・筑波・足利・東急・天理」字に、
〔無窮・東洋〕は「狂」字に作る
- 7 「活Ⅱ」〔真〕に作る
- 8 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅱ・筑波・足利・東急・天理」〔狂〕
字に、〔無窮・東洋〕は「狂」字に作る
- 9 「屈」字上、〔道藏〕「屈也」二字有り
- 10 「而」、〔東活〕左旁に「才ナ」の校異書入れ有り
- 11 「道藏」〔伸〕字に作る
- 12 「自」字上、〔道藏〕「而」字有り

- 13 「道藏」〔已〕字に作る、「治要」〔枉屈〕より「直也」までの注文十二字無し
- 14 「武内」は「雀」字に、「龍門・書陵・慶Ⅱ・六地」は「雀」に、「無窮・弘文・斯Ⅱ・治要」は「雀」に、「足利」は「雀」に、「道藏」は「雀」字に作る。尚、「東洋」は「雀」字右旁に「雀」の校字書入れ〔青筆〕有り
- 15 「武内」は「雀」字に、「龍門・書陵・慶Ⅱ」は「雀」に、「無窮・弘文・斯Ⅱ・治要」は「雀」に、「足利」は「雀」に、「道藏」は「雀」字に作る
- 16 「道藏」〔歸〕に作る
- 17 「之」字下、「東洋」〔也〕字有り
- 18 「宋版」〔則〕字に作る
- 19 「無窮・慶Ⅱ・筑波・弘文・東洋・天理」〔版〕字に作る
- 20 「梅沢」〔之〕字「歸也」字間に補筆
- 21 「東急・道藏・治要」〔也〕字無し
- 22 「慶Ⅱ」〔后〕字に作る
- 23 「築波」〔反〕に作る
- 24 「梅沢」〔也〕字無し、但、「新」下字間余白に補筆、「道藏」は「之也」二字に作る
- 25 「武内・東大・東洋・梅沢・東急・道藏」治要「受」字に、「宋版・世徳」は「受窮」一字に作る
- 26 「多」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅱ」は「受窮」一字に作る
- 27 「天道祐謙神明託虚」云治要。此の注文八字無し
- 28 「神明託虚」道藏「鬼神益虚」に作る
- 29 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅱ」大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・天理「也」字有り
- 30 「財」字上、「足利」〔則〕字有り（但、見消を施す）
- 31 「守身」宋版・世徳・道藏「所守」に作る
- 32 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅱ」大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東急・治要・天理は「也」字、「梅沢」は「之也」二字あり、尚、「東洋」は「聞」字下に校字「也」（青筆）、「東活」は「也」字旁「才ナ」の校異書入れ有り
- 33 「爲」字上、「無窮・弘文」〔也〕字有り
- 34 「守」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・

- 慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・道藏・治要・天理」〔也〕字有り、筑波は「也也」とあり一字符
- 35 「式法」〔東急・宋版・世徳〕法式に作る
- 36 「弘文」〔能〕字無し
- 37 「下」字下、「道藏」〔之〕字有り
- 38 「道藏」は「也」一字無し
- 39 「治要」〔不以其目視千里之外乃〕の注文十字無し
- 40 「外」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・宋版・世徳・天理」〔也〕字有り、梅沢は「外」字下字間余白に「也」字を加筆
- 41 「慶Ⅰ」〔自〕字に誤る
- 42 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・宋版・世徳・天理」〔也〕字有り
- 43 諸本、經文「不自是故影」五字及び注文「聖人不自以為是而非故彰顯於世也」十五字（治要は「以」無し、「無窮・武内・東大・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・治要」は「故」字下に「能」字有り、「宋版・世徳・治要」は「也」字無く、「道藏」は「矣」に、「武内・東大・慶Ⅱ・東洋・梅沢」は「者也」二字に作るが有る、此の本の誤脱か
- 44 「足利」巧「字」に作る、但、右旁に校字「功」有り
- 45 「筑波」〔伐取也〕三字無し
- 46 「治要」〔代〕字に誤る
- 47 「書陵・龍門」義「字」に作る、尚、「東活」は「美」字右旁に「義Ⅰ」の校異書入れ有り
- 48 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東急・治要・天理」は「也」、「慶Ⅱ」は「之」字有り、梅沢は「也之」二字が有り各字右上角に朱斜線を加える
- 49 「治要」〔矜大也〕三字無し
- 50 「慶Ⅱ」貴「字」無し、誤脱か
- 51 「能」字下、「慶Ⅱ」〔危〕字有り
- 52 「宋版・世徳」長「字」無し
- 53 「陽Ⅰ・宋版・世徳・道藏」〔也〕字無し
- 54 「無窮・慶Ⅰ・大東・弘文・斯Ⅱ」惟「字」に作る、尚、「六地」は「唯」字右旁に「惟イ」の書入れ有り
- 55 「道藏」〔矜〕字に作る
- 「活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・世徳・天理」〔能〕字無し、但、「慶Ⅱ」は

「莫与」字間に小圈を施し右旁に「能」字を加筆
 57 活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・慶Ⅱ・弘文・梅沢・東急・世徳・道
 藏・天理「無」字に作る
 58 東急「能」字無し
 59 道藏・治要「也」字無し
 60 慶Ⅱ「曲」字無し
 61 筑波「後」字に作る
 62 道藏「身」字無し
 63 虚空、「慶Ⅱ」空虚「に作り、武内・東大・大東・筑波・弘
 文・東洋・天理」は「虚言」に、「宋版・世徳」は「虚妄」に、「道
 藏」は「虚」一字に作る
 64 誠「字上、道藏」故「字有り」
 65 梅沢「而」字、「全歸」字間に補筆

上37才5 虚無第二十三¹

希言自然

希言謂愛言也愛言者自然之道⁴

飄風不終朝驟雨不終日⁵

飄風疾風也驟雨暴雨也言疾不能長暴不能久也⁸

孰為此者天地⁹

誰為此飄風暴雨乎天地所為¹⁰
¹¹
¹²
¹³

天地尚不能久

虚無第二十三

言(ヲ)希ニスルハ自然ナリ

言ヲ希(ニ)スト云ハ・言ヲ愛ムヲ謂(フ)也。言ヲ愛(ム)ハ
 (者)・自然ノ(之)道ナリ

飄風・朝(ヲ)終(ヘ)不。驟雨ハ・日ヲ終(ヘ)不

飄風ハ・疾風也。驟雨ハ・暴雨也。言ハ疾キハ・長

キコト能(ハ)不。暴ナルハ・久(シ)キコト能(ハ)不也

孰方此ヲ為ルトナレハ(者)・天地ナリ

誰方此ノ飄風暴雨ヲ為(ル)乎・天地ノ為(ル)所ナリ

天地モ・尚久(シキ)コト能(ハ)不

66 無窮・慶Ⅱ・大東・筑波・天理「阪」字に作る
 67 慶Ⅱ「之」字に作る
 68 慶Ⅱ「上、慶Ⅰ・大東」已」字有り
 69 宋版・世徳・道藏「全」字無し
 70 斯Ⅱ・宋版・天理「飢」字に作る、尚、「梅沢」は「肌」字右
 旁に「肥イ」と校異書入札有る
 71 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・足利・斯Ⅱ・無窮・龍門・書陵・東洋・梅
 沢・東急・宋版・世徳・道藏「一」に作る
 72 活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・無窮・弘文・大東・梅沢・東急・宋版・世
 徳・道藏・天理「無」字に作る
 73 東急「一之者」に、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・大
 東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・龍門・書陵・東洋・天
 理」は「之也」に、「梅沢」之者也」に作る

不終於朝暮也¹⁴¹⁵

而況於人乎

天地至神合為飄風暴雨尚不能使終朝至暮何況人²²²³²⁴²⁵²⁶
欲為暴卒乎

故從事於道者²⁷

從為也人為事當如道安靜不當如飄風驟雨也²⁸²⁹³⁰

道者同於道

道者謂好道人也同於道者所為与道同³¹³²³³³⁴

德者同於德

德者謂好德人也同於德者所為与德同也³⁵³⁶³⁷³⁸³⁹⁴⁰

失者同於失

失者謂任已失人也同於失者所為与失同也⁴¹⁴²⁴³⁴⁴⁴⁵⁴⁶

同於道者道亦樂得之⁴⁷

〔於〕朝暮ヲ終（へ）不（也）

而（ル）ヲ況ヤ人ニ於テ（ヲ）乎⁴⁸

天地ハ至（リ）テ神ナリ・合（フ）テ飄風暴雨ヲ為（ル）モ・

尚朝ヲ終（へ）テ暮ニ至ラ使ムルコト能（ハ）不（何）況ヤ・

人ノ暴卒ヲ為シト欲スルヲ乎⁴⁹

故二事ヲ從ルコト道ニ於テスル者ハ

從ハ・為（也）。人ノ事ヲ為（ルコト）・當ニ道ノ安靜ナルカ

如（ク）ナル「當」シ。當ニ飄風驟雨ノ如（ク）ニス「當」カラ不

〔也〕

道アル者ハ〔於〕道ニ同シ

道アル者ト云ハ・道ヲ好（ム）人ヲ謂（フ）〔也〕。〔於〕道ニ同

シト云ハ〔者〕・為（ル）所道与同（シ）キノ

德アル者ハ〔於〕德ニ同シ

德ト云ハ〔者〕・德ヲ好（ム）人ヲ謂（フ）〔也〕。〔於〕德ニ同（シ）

ト云ハ〔者〕・為（ル）所德与同（シ）キノ〔也〕

失アル者ハ〔於〕失ニ同（シ）

失ト云ハ〔者〕・己ニ任セテ人ヲ失フヲ謂（フ）〔也〕。〔於〕失

ニ同（シ）ト云ハ〔者〕・為（ル）所失与同（シ）キノ〔也〕

〔於〕道ニ同（シ）キ者ハ・道亦得ルコトヲ樂（ハ）フ〔也〕

与道同者道亦樂得之也⁴⁸

同於德者德亦樂得之

与德同者德亦樂得之也⁵²⁵³⁵⁴⁵⁵

同於失者失亦樂得之⁵⁶

与失同者失亦樂得之也⁵⁹⁶⁰⁶¹

信不足焉

君信不足於下下則應君以不信也⁶²⁶³⁶⁴

有不信⁶⁵

下即應君以不信此言物類相歸同声相應雲從龍風

從虎水流濕火就燥之也⁶⁶⁶⁷⁶⁸⁶⁹⁷⁰⁷¹⁷²⁷³

道与同(シ)キ者ヲハ・道亦得ンコトヲ樂入(フ)之也

〔於〕德ニ同(シ)キ者ヲハ・德亦得(シ)コトヲ樂入(フ)之也

德与同(シ)キ者ヲハ・德亦得ンコトヲ樂入(フ)之也

〔於〕失ニ同(シ)キ者ヲハ・失亦得ンコトヲ樂入(フ)之也

失与同(シ)キ者ヲハ・失亦得ンコトヲ樂入(フ)之也

信足(ラ)不(マ)ス

君ノ信・〔於〕下ニ足(ラ)不(ル)トキハ・下〔則〕君ニ應(去)

スルニ・不(マ)ス信ヲ以(テ)ス〔也〕

不(マ)ス信有(リ)

下即(チ)君ニ應(去)スルニ不(マ)ス信ヲ以(テ)ス・此ハ言ハ物類

相(歸)ル。同声相(應)去(ス)。雲ハ龍ニ從(ヒ)。風ハ虎ニ從(ヒ)。

水ハ濕(ケル)ニ流(レ)。火ハ燥(ケル)ニ就(ク)〔之也〕

校異

- 1 〔無窮・書陵・龍門・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ 章題無し、
〔武内・東大・東洋〕は「無」字下に「章」字有り、〔慶Ⅰ・大東〕
は「希言章第二十三」に作る、〔筑波・弘文・慶Ⅱ〕は「希言自然
章第二十三」に作る(但、〔筑波〕は「二十」を「廿」に作る)
- 2 〔二十〕、〔梅沢・武内・東大・東洋〕は「二十」に作る
- 3 〔東急〕、「謂」字無し、〔未版・世徳〕は「者」是「二」字に作る
- 4 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・天理〕
「也」字有り
- 5 〔驟〕、「書陵」は左旁に「或本乍暴」の校異書入れ有り

- 6 〔道藏〕「言」字無し
- 7 〔疾〕字下、〔天理〕「則」字有り
- 8 〔梅沢〕「也」字無し
- 9 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・六地・陽Ⅱ・東急・治
要・天理〕「也」字有り、尚〔梅沢〕は「地」字下字間に「也」字
を加筆
- 10 〔誰為〕上に〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東
大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・宋
版・世徳・治要・天理〕三字有り、〔治要〕誰為此飄風
暴雨乎天地所為」の注文十二字無し、尚〔東洋(青)・東活〕は

11 「孰誰也」の右旁に「三字本ナ」との校異書入れがある。
 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・宋版・世徳・天理」各字に、「道蔵」は「者」一字に作る
 「地」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・天理」各字有り
 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・東大・東急・道蔵・天理」は「也」一字、梅沢は「之也」二字有り
 「治要」「不終於朝暮也」の注文六字無し
 「暮」字上、「道蔵」能「字有り」
 「終也」
 「道蔵」至夕に作る
 「筑波」「尚」字無し
 「道蔵」從「字に作る」
 「暮」字下、「弘文」「也」字有り
 「治要」「何」字無し
 「人」字上、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道蔵・天理」於「字有り」
 「欲」字上、「道蔵」「而」字有り
 「道蔵」為「字無し」
 「道蔵」慕「字に誤る」
 「武内・東大・東洋」「疾」字に作る
 「弘文」は「也」字に、「梅沢」は「之也」に、「東洋」は「者也」に、「治要」は「者乎」に作る、但、「梅沢」は「之也」二字に墨消線を加える、尚、「東洋」は「疾者也」の左旁に見消ちを付し右旁に「卒乎」と加筆（ともに青筆）
 「東急・治要」者「字無し」
 「治要」「從為也」の注文三字無し
 「道蔵」暴「に作る」
 「斯Ⅱ・宋版・世徳・道蔵」「也」字無し、「無窮」は「者也」に、「梅沢」は「之也」に作る、但、「梅沢」は「之」字に朱の消線を加える
 「道」字下、「道蔵」「之」字有り
 「道蔵」「也」字無し
 「宋版・世徳」「謂」字に作る
 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大

東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・道蔵・天理
 「也」字有り
 「武内・東大・梅沢・東急・宋版・世徳」「者」字無し、但、「梅沢」は「德謂」字間に「者」字を加筆
 「道蔵」「謂」字無し
 「道蔵」有「字に作る」
 「德」字下、「道蔵」「之」字有り
 「宋版・世徳」「謂」字に作る
 「梅沢」「之也」二字に作り、「之」字に朱の消線を施す
 「武内・東大・弘文・梅沢・東急・宋版・世徳・道蔵」「者」字無し、但、「梅沢」は「失謂」字間に「者」字を加筆
 「謂」字下、「道蔵」「自」字有り
 「失」字上、「道蔵」「而」字有り
 「者」字下、「道蔵」「謂」字有り
 「宋版・世徳」「謂」字に作る
 「道蔵」「也」字無し
 「斯Ⅱ・六地」「道」字無し
 「道蔵」「与道同者道亦樂得之也」の注文十字無し、「梅沢」は「与道」二字無し、但、「同」字上に挿入符の小圈を施し右旁に「与道」を加筆
 「慶Ⅱ」「道亦」二字無し
 「弘文」「之」字無し
 「斯Ⅱ・天理」「也」字無し
 「道蔵」「与德同者德亦樂得之也」の注文十字無し
 「慶Ⅰ・大東」「得」に作り、「龍門」は「道」字に誤る
 「東大」「德」字無し
 「天理」「也」字無し
 「六地」「同於失者失亦樂得之」の経文九字無し
 「東洋」「失」字無し、譌脱であろう
 「宋版・世徳」「失」字に作る
 「道蔵」「与失同者失亦樂得之也」の注文十字無し
 「天理」「也」字無し
 「道蔵」「之」字に作る
 「宋版・世徳」「足」字に作る
 「道蔵」「也」字無し
 「宋版・世徳・道蔵」「焉」字有り

66 「下即應君以不信」、〔活Ⅰ・活Ⅱ・宋版・世徳・道蔵・天理〕此の注文七字無し
 67 「東急」「即」字無し、「武内・東大・東洋」「則」字に作る、尚、「梅沢」は「即」字右旁に「則」字あり、「信」「述則」との校異書入れがある
 68 「信」字下、「陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・武内・東大・東洋・梅沢・杏Ⅰ」也」字有り
 70 69 「同」字上、「道蔵」也」字有り

上39才1 苦恩第二十四

跂者不立²

跂³進也。謂貪權慕名進取功榮也。則如此不可久立。身行道也。¹⁰

跨者不行¹¹

身以為貴而跨於人衆共蔽之使不得行之也。¹⁶

自見者不明

人自見其形容以為好自見所行以為應道殊不自知其形醜操行之鄙²⁶

71 「水」字上、「梅沢」「風」字有り、但、墨線を以て抹消
 72 「宋版・世徳・道蔵」之也」二字無し、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・杏Ⅰ・天理」は「也」一字に作る
 73 「武内・慶Ⅰ・東大」は「自然之類也」、「道蔵」は「自然之數也」、「東大」は「自然之類也」の注文有り、尚、「梅沢」は「也」字下の余白に「自然之類也五字イ本」との書入れがある

苦恩第二十四

跂^スム者ハ立テラ^クレ不^ス

跂ハ・進也。權ヲ貪リ名ヲ慕フテ・功榮ヲ進ミ取ルヲ謂フ也。此ノ如クナルトキハ・久シク身ヲ立テ道ヲ行フ可カラ不也。

跨^フフル者ハ行カ不^ス

身以^テラモテ貴ト為テ・而^{シテ}於^テ人ニ跨フルトキハ・衆共ニ蔽フ之・行クコトヲ得不^スラ使ム之也。

自^ラ見^ル者ハ明ナラ不^ス

人自^ラ見^ル其ノ形容ヲ見^ル去^ルハシテ・以テ好シト為^ス・自^ラ行^フ所ヲ見^ルハシテ・以テ道ニ應^ズ去^ルスト為^ス。殊ニ自^ラ其ノ形ノ醜^ク・操行^ク去^ルノ之^レ鄙^シキコト

自是者不彰

自以為是而非人衆共敵之使不得彰明也

自伐者無功

所為輒自伐取其功美則失功於人也

自矜者不長

好自矜大者不可以久長

其於道也日餘食贅行

贅食也使此自矜伐之人在治國之道日賦斂餘祿食為貪行

物或惡之

此人在位動欲傷害故物无有不畏惡也

故有道者不處

言有道之人不居其國也

ヲ知(ラ)不

自(ラ)是(ト)スル者ハ彰ハレ不

自(ラ)以テ是ナリトシ(而)人ヲ非ナリト為(ル)トキハ・衆共

ニ敵フ(之)。彰明ナルコトヲ得不(ラ)使ム(也)

自(ラ)伐ル者ハ功無(シ)

為(ル)所輒チ自(ラ)伐(リ)テ・其ノ功美ヲ取(ル)トキハ・

〔則〕功ヲ〔於〕人ニ失(ラ)〔也〕

自(ラ)矜ル者ハ長、ラ不

好(去)〔ミ〕テ自(ラ)矜(ラ)大ナル者ハ・以テ久長ナル可(カラ)

不

其(レ)道ニ於テ(也)。日ニ食ヲ餘ソ贅ル行(去)アリ

贅ハ・貪(也)。此ノ自(ラ)矜伐スル(之)人ヲソ(使)・國ヲ

治(ム)ル(之)道ニ在(ラ)〔使(ム)ルトキ・日ニ賦斂ソ・祿

食ヲ餘ソ・貪レル行ヲ為(ス)

物惡(去)〔ム〕コト或リ(之)

此ノ人位ニ在(ル)トキハ・動モスレハ傷害セマク欲(ス)。

故ニ物畏リ惡マ不ト云コト有(ル)コト无(シ)(也)

故ニ有道ノ者ハ・處ラ不

言ハ有道ノ(之)人ハ・其ノ國ニ居(ラ)不(也)

校異

- 1 〔無窮・書陵・龍門・足利・斯Ⅱ・東急・杏Ⅰ・六地・陽Ⅱ〕章題無し、「梅沢」は「善思第廿四」に、「武内・東大・東洋」は「善思章第廿四」に、「慶Ⅰ・大東」は「跋者章第廿四」に、「慶Ⅱ・筑波・弘文」は「跋者不立章第廿四」に作る（但「筑波」は「廿」を「二十」に作る）
- 2 〔足利〕「跋」字に誤る
- 3 〔道藏〕「冒」字に作る
- 4 〔東洋〕「名」字に作る
- 5 〔武内・東大・東洋・梅沢・東急・道藏〕「也」字無し、但、「梅沢」は「榮則」字間に「也」字を加筆
- 6 則如此、「東急」〔如此則〕に作る、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・杏Ⅰ・宋版・世徳・道藏・天理〕は「如此」二字無し
- 7 〔不可〕、「武内・東大・筑波・東洋・斯Ⅱ」は「不可以」に、「東急」は「不能以」に作る、「梅沢」は「可」字下字間に「以」字を加筆、また「杏Ⅰ（佐藤道生氏蔵佐保切断簡）・大東」は「可久」兩字の間左旁に「以」字を加筆する
- 8 〔東急〕「久」字無し
- 9 〔武内・道藏〕「也」字無し、「東洋」は「者也」二字に作る
- 10 〔斯Ⅱ〕「跋」字に誤る、尚「東洋」は「跨」字左旁に「或作夸」の校異書入れ有り
- 11 諸本「自」字に作る
- 12 〔以〕字下、「東大」は「貴」字有り
- 13 〔於〕字上、「道藏」之「字有り
- 14 〔武内〕「其」字に誤る
- 15 〔活Ⅰ・活Ⅱ〕武内・東大・東洋・梅沢・東急・天理「之」字無し、宋版・世徳・道藏は「之也」二字無し
- 16 〔人〕字上、「道藏」凡「字有り
- 17 〔見其形容書〕、「斯Ⅱ」其形容書に作る
- 18 〔武内〕「害」字に作る（但、右旁に「容」字加筆）
- 19 〔見〕字下、「活Ⅱ」無窮・道藏・天理「其」字有り、尚、「梅沢」は「見所」字間に「其」字を加筆
- 20 〔道藏〕「人」字無し
- 21 〔治要〕「殊」字無し
- 22 此の本本行には「形」字無し、「其醜」字間に挿入符の小圈を施し右旁に「形」と加筆
- 23 〔世徳〕「貌」字に作る
- 24 〔操〕字上、「道藏」〔而〕字有り
- 25 〔活Ⅰ・活Ⅱ〕陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・治要・天理〕は「也」字、「東洋」は「者也」二字有り
- 26 〔非〕字下、「無窮」〔於〕字有り
- 27 〔人〕字下、「道藏」〔者〕字有り
- 28 〔衆〕字下、「活Ⅰ・活Ⅱ」無窮・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・治要・天理「人」字有り
- 29 〔陽Ⅰ〕龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・六地・陽Ⅱ・治要「无」字に作る
- 30 〔宋版〕世徳「謂」字に作る
- 31 〔治要〕「取其功美」四字無し
- 32 〔梅沢〕「取」字無し
- 33 〔功〕字上、「宋版・世徳・道藏・治要」有「字有り
- 34 〔足利〕「於」字無し、「治要」は「於人」二字無し
- 35 〔道藏〕「也」字無し、「東洋」者也「二字に作る、尚、「東活」は「也」字旁に「才ナ」の校異書入れが有る
- 36 〔六地〕「務」に誤る、但、見消ちを付し地脚に「矜」字を加筆する
- 37 〔治要〕「大」字無し
- 38 〔治要〕「可」字無し
- 39 〔筑波〕「以」字無し
- 40 〔久長〕、「宋版・世徳」〔長久〕に作る
- 41 〔活Ⅰ・活Ⅱ〕陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・天理「也」字
- 42 〔失〕字上、「足利」は「又」、「道藏」は「自」字有り
- 43 〔功〕字上、「宋版・世徳・道藏・治要」有「字有り
- 44 〔足利〕「於」字無し、「治要」は「於人」二字無し
- 45 〔道藏〕「也」字無し、「東洋」者也「二字に作る、尚、「東活」は「也」字旁に「才ナ」の校異書入れが有る
- 46 〔六地〕「務」に誤る、但、見消ちを付し地脚に「矜」字を加筆する
- 47 〔治要〕「大」字無し
- 48 〔治要〕「可」字無し
- 49 〔筑波〕「以」字無し
- 50 〔久長〕、「宋版・世徳」〔長久〕に作る
- 51 〔活Ⅰ・活Ⅱ〕陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・天理「也」字

有り

50 慶Ⅰ・大東Ⅰ「也」字無し

51 宋版・世徳・道藏は「日」字に作る、「六地」は「自」字に作り見消ちを付し、右旁に「日」字と加筆

52 大東「務」字に誤る

53 道藏「任」字に作る

54 宋版・世徳「日」字に作る

55 宋版・世徳「然」に作る

56 弘文「極」字無し

57 活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・武内・東大・筑波・東急・天理は「也」一字「陽Ⅰ・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢」は「者也」二字有り、尚、「東活」は「也」字左旁に「才」の書入れ有り

58 「之」「梅沢」は「悪」字の下字間余白に加筆

59 弘文「欲」字無し

60 活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・無窮・慶Ⅱ・弘文・足利・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・天理「無」字に作る

61 弘文「有」一字無し

62 「道藏」は「之」字に、「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・東急・天理」は「之也」二字、「陽Ⅰ・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢」は「之者也」三字に作る、「宋版」は「地」字に誤る、尚、「東活」は「之」字下字間余白に小

圈を付し右旁に「者」字を加筆し、「也」字下旁に「才」の書入れ有り、また、「東洋」は「者」字左旁に「才无」の校記（青筆）有り

63 宋版・世徳「也」字有り

64 治要「言有道之人不居其國也」の注文句十字無し

65 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・天理「處」字に作る、尚、「梅沢」は「處」字右旁に「居イ」の校異書入れ有り

66 道藏「也」字無し

訓読文補注

1 振り仮名「アトコ」各字左旁に墨点を施す

上40才2

象元第二十五

有物混成先天地生

謂道无形混沌而成万物乃在天地之前

寂兮寥兮独立而不改

寂者無音聲寥者空無形獨立者無雙不改者化有常也

象元第二十五

物有(リ)テ混成ス・天(地)ニ先(去)タテ生(リ)

道ノ无形ニ混沌トシ・(而)万物ヲ成ツ・乃(チ)天地ノ

(之)前ニ在(ル)ヲ謂(フ)

寂(タリ)兮(寥)寥(タリ)兮(寥)・独(リ)立(チ)テ(而)改(メ)不(改)

寂ハ(者)・音(聲)無(キ)ソ・寥ハ(者)・空(ニ)形(無)キソ。独(リ)立(チ)テト云ハ(者)・雙(無)シ。改(メ)不(ト)云ハ(者)・

周行而不殆¹⁷

道通行天地無所不入在陽不焦託隕不腐无不貫穿²³
不危殆²⁴

可以為天下母²⁵

道育養万物精氣如母之養子²⁶

吾不知其名字之道²⁸

我不見道形容不知當何以名之見万物皆從道所生³⁰
故字之曰道也³⁴

強為之名曰大³⁵

不知其名強曰大者高而无上羅而无外无不包容³⁶
故曰大也⁴⁵

大曰逝

其為大非若天常在上非若地常在下乃復逝去无常⁴⁶
処所⁴⁹

化ノ常有(ル)ソ(也)

周行ソ(而)殆カラ不^{アヤク}

道天(地)ニ通行ソ・入(ラ)不(ト)云所無(シ)。陽ニ在(リ)
テ(モ)焦レ不。陰ニ託(イ)テ(モ)腐チ不。貫穿セ不ト云コト无

(ク)ソ・危殆ナラ不

以テ天(下)ノ母為(ル)可(シ)

道ハ・万物ノ精氣ヲ育養スルコト・母ノ(之)子ヲ養フカ

如(シ)

吾其ノ名ヲ知(ラ)不・字ケテ(之)道ト曰(フ)

我道ノ形容ヲ見不・當ニ何ヲ以テカ名ク「當(シ)ト云コト
ヲ知(ラ)不(之)・万物ヲ見ルニ・皆道從リソ生スル所ナリ。

故ニ字ケテ(之)道ト曰(フ)(也)

強(ヘ)シヒテ(之)名ヲ為リテ大ト曰(フ)

其ノ名ヲ知(ラ)不・強(上)シヒテ大ト曰(フ)々大ハ(者)・
高(ク)ソ(而)上无(ク)・羅ナリテ(而)外无(ク)・包ネ(カ)容

レ不ト云コト无(シ)。故ニ大ト曰(フ)(也)

大ヲ逝ト曰(フ)

其(ノ)大為(ル)コト・天ノ常ニ上ニ在ルカ若クニハ非ス・地
ノ常ニ下ニ在ルカ若クニハ非ス。乃(チ)復(去)逝(キ)去

逝曰遠

言遠者窮乎無窮⁵⁰布氣天地无所不通也⁵²

遠曰反⁵⁵

言其遠不越⁵⁷絶乃復反在人身中⁵⁸也⁵⁹

故道大天大地大王亦大

道大者包羅⁶¹諸天地無所不容也⁶²天大者無不蓋也⁶³地大者无不載也⁶⁴王大者无不制也⁶⁵

域中有四大而王居其一焉⁷⁶

八極之内有四大王居其一也⁷⁷

人法地

人當法地安靜和柔也⁸⁰種之得五穀掘之得甘泉勞而不怨有⁸¹功而不制者也⁸²

地法天

(リ)テ・常ノ処ノ所无(シ)

逝ヲ遠ト曰(フ)

遠ト言(フ)ト云ハ「者」・「乎」無窮ヲ窮メテ・氣ヲ天地ニ

布(キ)テ・通セ不ト云所无(シ)(也)

遠ヲ反ト曰(フ)

言ハ其レ遠(ク)ヲ・越絶セ不・乃(チ)復(カヘ)去リ反(リ)テ人ノ身ノ中ニ在(リ)(也)

故二道「大ナリ」・天「大ナリ」・地「大ナリ」・王亦大ナリ

道大ナレハ「者」・諸天「地ヲ包羅」・容(レ)不ト云所無(シ)「也」。天大ナレハ「者」・蓋ハ不ト云コト無(シ)(也)。地大ナレハ「者」・載セ不ト云コト无(シ)(也)。王大ナレハ「者」・制セ不ト云コト无(シ)(也)

域中ニ・四大有(リ)テ・「而」王其ノ「一」二居(レリ)(焉)

八極ノ「之」内ニ・四「大」有(リ)・王其ノ「一」二居(レリ)(也)

人ハ地ニ法ル

人當ニ地ノ安・静和柔ニソ(也)・種(ウ)ルトキハ「之」五穀ヲ得・掘ルトキハ「之」甘泉ヲ得。勞(ト)「而」怨(ミ)不・功有(リ)テ「而」制(セ)不(ル)ニ法ル「當(シ)「者」也」

地ハ天ニ法ル

天⁹¹憺⁹²怕⁹³不動⁹⁴施⁹⁵不求⁹⁶報⁹⁷生長⁹⁸万物無所⁹⁹取⁹⁸

天⁹⁹法¹⁰⁰道¹⁰¹

道¹⁰⁰清¹⁰¹靜¹⁰²不¹⁰³言¹⁰⁴隳¹⁰⁵行¹⁰⁶精¹⁰⁷氣¹⁰⁸万¹⁰⁹物¹¹⁰自¹¹¹成¹¹²也¹¹³

道¹¹⁴法¹¹⁵自¹¹⁶然¹¹⁷

道¹¹⁸性¹¹⁹自¹²⁰然¹²¹無¹²²所¹²³可¹²⁴法¹²⁵也¹²⁶

校異

- 1 「無窮・書陵・龍門・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ」章題無し、「梅沢」は「象元弟廿五」に、「武内・東大・東洋」は「象元章第廿五」に、「慶Ⅰ」は「有物章第廿五」に、「大東」は「有物章第廿五」に、「筑波」は「有物混成章第廿五」に、「慶Ⅱ・弘文」は「有物混成章第廿五」に作る
- 2 「陽Ⅰ」無「字」に作る、尚、「梅沢」「元」字右旁に「无イ」の書入れを見る、此の章題の異同については拙著第二章第一節三(176頁)参照
- 3 「龍門」「光」字に誤る
- 4 「道」字下、「道蔵」「也道」二字有り
- 5 「活Ⅰ・活Ⅱ」無窮・書陵・弘文・足利・梅沢・東急・宋版・世徳・道蔵・天理「無」字に作る
- 6 「無窮」「純」字に作る
- 7 「武内」之「字無し
- 8 「活Ⅰ・活Ⅱ」無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢「也」字有り
- 9 「無窮」「猶」字に作る
- 10 「陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・筑波・斯Ⅱ・東洋」「无」字に作る
- 11 「慶Ⅰ」「寂」字に誤る

天ハ・憺¹²⁷怕¹²⁸ニソ動¹²⁹(カ)不¹³⁰・施¹³¹ノ報¹³²ヲ求¹³³メ不¹³⁴・万¹³⁵物¹³⁶ヲ生¹³⁷長¹³⁸
ソ・収¹³⁹メ取¹⁴⁰(ル)所¹⁴¹無¹⁴²(シ)

天¹⁴³ハ道¹⁴⁴ニ法¹⁴⁵ル

道¹⁴⁶ハ・清¹⁴⁷靜¹⁴⁸ニソ言¹⁴⁹(ハ)不¹⁵⁰・陰¹⁵¹カニ精¹⁵²氣¹⁵³ヲ行¹⁵⁴(ヒ)テ・万¹⁵⁵物¹⁵⁶

自¹⁵⁷(ツカラ)成¹⁵⁸(ル)(也)

道¹⁵⁹ハ自¹⁶⁰然¹⁶¹ニ法¹⁶²ル

道¹⁶³ノ性¹⁶⁴自¹⁶⁵然¹⁶⁶ナリ・法¹⁶⁷ル可¹⁶⁸キ所¹⁶⁹無¹⁷⁰(シ)(也)

- 12 「陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・東洋」「无」字に作る
- 13 「無窮」「猶」字に作る
- 14 「陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・東洋」「无」字に作る
- 15 諸本「雙」字下に「匹」(東急)は「疋」字有り
- 16 「宋版・世徳・道蔵」「也」字無し、尚「東洋(青)・東活」は「也」字旁に「才」の校異書入れ有り
- 17 「無窮・龍門・書陵・六地」「同」字に作る、尚、「慶Ⅱ・筑波」の「周」字旁「六地」の「同」字旁に「同イ」と校異書入れ有り
- 18 「陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・斯Ⅱ・東洋・宋版」「无」字に作る
- 19 「活Ⅰ・活Ⅱ」天理「樵」字に作る
- 20 「活Ⅰ・活Ⅱ」無窮・書陵・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・梅沢・東急・世徳・道蔵・天理「無」字に作る
- 21 「道蔵」「由」字に作る
- 22 「穿」字下、「道蔵」「而」字有り
- 23 「不危殆」陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・東大・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急は「不危不殆」に、「武内・慶Ⅰ・大東・筑波」は「不殆不危」に作る
- 24 「活Ⅰ・活Ⅱ」陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・東大・慶Ⅱ・弘文・足

- 利・斯Ⅱ・武内・慶Ⅰ・大東・筑波・東洋・梅沢・東急・道藏・天
理「也」字有り
- 25 「無窮」[地]字に作る
- 26 「龍門」[情]字に誤る
- 27 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・天理は「也」
字、「東洋」は「者也」二字有り
- 28 「字」上、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・書陵・武内・慶Ⅰ・大東・
慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・六地・天理」[故]字有り、尚、
「梅沢」は「名字」の字間に「故」字を加筆する
- 30 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶
Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・東洋・天理「知」字に作る、「梅沢」は右
旁に「知イ」と校異の書入れ有り
- 31 「道」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・
慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・
天理」[之]字有り
- 32 「道」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・
慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・天理」[之]字有り
- 33 「道藏」[而]字に作る
- 34 「道藏」[也]字無し
- 35 「為之名」、「道藏」[名之]一字に作る
- 36 「名」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・
慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・
天理」[之]字有り
- 37 「強」字下、「道藏」[名]字有り
- 38 「く者」、「道藏」は此の二字無し、「宋版・世徳」は「く(大)」
一字無し
- 39 「東急」[而]字無し
- 40 活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・世
徳・道藏・天理「無」字に作る
- 41 「東急」[而]字無し
- 42 活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・弘文・足利・慶Ⅱ・梅沢・世徳・道
藏・天理は「無」字に、「東急」は「不」字に作る
- 43 活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・龍門・書陵・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅
沢・東急・世徳・道藏・天理「無」字に作る
- 44 「龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・梅沢・東

- 急「苞」字に作る
- 45 「道藏」[也]字無し
- 46 「上非若地常在」、「東急」此の六字脱
- 47 「地」字下、「龍門」又「地」一字有り、衍
- 48 活Ⅰ・活Ⅱ・大東・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東
急・世徳・道藏・天理「無」字に作る
- 49 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・龍門・大東・慶Ⅱ・弘文・足
利・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・宋版・世
徳・天理「也」字有り
- 50 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・龍門・弘文・足利・斯Ⅱ・武
内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・東洋・梅沢・東急・道藏・天
理「於」字に作る
- 51 陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・東洋「无」
字に作る
- 52 「無窮」の間、「東急」[常]字有り、但、見消ちを付す
- 53 活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・大東・弘文・足利・梅沢・東急・宋
版・世徳・道藏・天理「無」に作る
- 54 斯Ⅱ「通」一字未写、空格とす
- 55 六地「返」字に作る
- 56 弘文「其」字無し
- 57 活Ⅰ・活Ⅱ・武内・筑波・東洋・天理は「超」字に、「陽Ⅰ・
書陵・龍門・慶Ⅰ・大東・斯Ⅱ」は「起」字に作る
- 58 宋版・世徳「反」一字無し
- 59 活Ⅰ・活Ⅱ・龍門・書陵・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・慶Ⅰ・大
東・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・天
理「中」字無し
- 60 慶Ⅱ・道藏「也」字無し、「東洋」は「者也」二字に作る
- 61 「道大者包羅諸天地」、「云治要」此の注文句八字無し、「活Ⅰ・活Ⅱ・
陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・天理」は「包羅諸天地」の
五字無し
- 62 「道藏」[諸]一字無し
- 63 陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東洋・治要「无」
に作る
- 64 活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・龍門・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・武
内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東洋・梅沢・東急・治要・天理「
所」字無し

65 「武内・東大・東洋・梅沢・東急・道藏」也字無し、但、「梅沢」は「谷天」字間に「也」字の加筆有り
 66 「陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・東洋・治要」无に作る
 67 「不」字上、「宋版・世徳・道藏」所字有り
 68 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道藏・治要・天理」也字無し
 69 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・弘文・足利・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・天理」无字に作る
 70 「不」字上、「宋版・世徳・道藏」所字有り
 71 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道藏・治要・天理」也字無し
 72 「王」字下、活Ⅱ「亦」字有り
 73 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・弘文・足利・東洋・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・天理」无字に作る
 74 「不」字上、「宋版・世徳・道藏」所字有り
 75 「東急・道藏・治要」也字無し
 76 「宋版・世徳」は、経文「域中有四大」下に「四大道天地王也凡有稱有名則非其極也言道則有所由然後謂之爲道然則是道稱中之大也不若無稱之大也無稱不可得而名曰域也天地王皆在乎无稱之内也故曰域中有四大者也」なる王弼注文七十八字を竄入
 77 「道藏」而字無し
 78 「世徳」功に作る
 79 「和柔」字無し、「東急」者也二字に作る
 80 「書陵・東大・弘文・東洋・梅沢・東急」也字無し、但、「梅沢」は「柔種」字間に「也」字の加筆有り
 81 「種」は「五穀掘之得甘泉」、「治要」此の十字無し
 82 「書陵・龍門・陽Ⅰ・慶Ⅱ・梅沢」掘字に作る
 83 「之」字下、「大東」又一字有り、衍
 84 「書陵」耳字に誤る、但、「右旁」に「甘」字を朱書し訂正
 85 「筑波」衆字に誤る、「泉」字下、「慶Ⅱ」湛泊靜形四字有り
 86 「但」右旁見消ちを付す
 87 「活Ⅱ」菜に誤る、「勞」字上、「武内・東大・東洋」有字有り、尚、「大東」は「泉旁」字間に小圈を施し右旁に「有」字を

加筆する
 88 「怨」字下、「宋版・世徳」也字有り
 89 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・天理」は「宣」字に、「道藏」は「置」字に作る
 90 「者」也、「宋版・世徳」者一字無し、「治要・道藏」者也二字無し
 91 「天憐怕不動」、「治要」此の五字無し
 92 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・宋版・世徳・道藏・天理」湛字に作る
 93 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・東急・宋版・世徳・道藏・天理」泊字に作る、「梅沢」は右旁に「泊」の校字あり
 94 「武内」於字に作る
 95 「不」字上、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・武内・東急・宋版・世徳・治要・天理」は「而」字、「道藏」は「之」字、「弘文」は「無而所」三字有り、尚、「東洋」は青筆で「施不」字間に小圈を施し右旁に「而」字を加筆する
 96 「生長」、「東大」長生に作る
 97 「陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・斯Ⅱ・東洋・治要」无字に作る
 98 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・筑波・弘文・足利・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・斯Ⅱ・東洋・梅沢・道藏・天理」也字有り
 99 「筑波」「天道道」以下、経文二句並びに注文脱
 100 「道」、「治要」此の字無し、「陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・道藏」字下「法」一字有り、梅沢は「道」字上下の字間に挿入符の小圈を施し右旁に「天□」[法]を加筆する、「活Ⅰ・活Ⅱ・天理」は「天當法道以」の五字に作る
 101 「武内・東大・斯Ⅱ・宋版・世徳・道藏」浄に作る
 102 「陰行精氣」、「治要」此の四字無し
 103 「自成也」、「道藏」自然生長四字に作る
 104 「治要」也字無し
 105 「陽Ⅰ・無窮・龍門・東大・慶Ⅱ・東洋・武内・慶Ⅰ・大東・治

要「无」字に作る
〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・梅沢・東急・東大・慶Ⅱ・東洋・未

版・世徳・道藏・治要・天理「可」字無し、但、「梅沢」は「所法」
字間に挿入符の小圈を施し右旁に「可」を加筆

上42才1 重徳第二十六

重為輕根

人君不重則不尊治身不重則失神草本之華輕故零
落根重故長存也

靜為躁君

人君不靜則失威治身不靜則身危龍靜故能變化虎
躁故夭虧也

是以君子終日行不離輜重
輜靜也君子終日行道不離其靜与重也

雖有榮觀燕處超然

榮觀謂宮闕燕處后妃所居也超然遠避而不処也

重徳第二十六

重キハ輕カク（去）シキカ、根為（リ）

人君重カラ不（ル）トキハ・〔則〕尊カラ不。身ヲ治（ム）ルニ
重（カラ）不（ル）トキハ・〔則〕神（ヲ）失フ。草本ノ〔之〕華ハ・
輕（去）キカ、故ニ零落ス・根ハ重キカ、故ニ・長ク存ス（也）

靜ナルハ躁サカシキカ、君為（リ）

人君靜ナラ不（ル）トキハ・〔則〕威ヲ失フ。身ヲ治（ム）ルニ
靜ナラ不（ル）トキハ・〔則〕身危シ・龍ハ靜ナルカ、故ニ能
（ク）變化ス・虎ハ躁シキカ、故ニ夭虧ス（也）

是（ヲ）以テ・君子ハ・終日ニ行（ケ）トモ輜重ハナヲ離レ不
輜ハ・靜（也）。君子ハ・終日ニ道ヲ行（ケ）トモ其ノ靜ト重
与ヲ離レ不（也）

榮觀高見（去）燕處有（リ）ト雖・超然タリ

榮觀（去）ト云ハ・宮闕ヲ謂（フ）・燕處ハ・后妃ヒノ居（ル）
所ナリ（也）。超然タリト云ハ・遠遠（ク）避（リ）テ（而）処（上）

柰何萬乘之主

柰何者疾時主傷痛之万乘之主謂王者

而以身輕天下

王者至尊而以其身行輕躁兮疾時王奢恣輕淫也

輕則失臣

王者輕淫則失其臣治身輕淫則失其精

躁則失君

王者躁疾則失其君位治身躁疾則失其精神也

〔ヲ〕不〔ル〕ソ〔也〕

柰何ソ・萬乗去ソノ〔之〕主ニソ

疾ム〔之〕。万乗ノ〔之〕主ト云ハ・王者ヲ謂フ

而ソ身ヲ以テ天下ニ輕ヘ去シセシ

王者ハ・至〔リ〕テ尊クソ〔而〕其ノ身ヲ以テ輕躁ヲ行

フ〔兮〕・時ノ王ノ奢恣輕淫ナルコトヲ疾ム〔也〕

輕シキトキハ〔則〕臣ヲ失フ

王者・輕淫ナルトキハ〔則〕其ノ臣ヲ失フ。身ヲ治ム

ルニ輕淫ナルトキハ〔則〕其ノ精ヲ失フ

躁シキトキハ〔則〕君ヲ失フ

王者・躁疾ナルトキハ〔則〕其ノ君ノ位ニ失フ。身ヲ

治ムルニ躁疾ナルトキハ〔則〕其ノ精神ヲ失フ〔也〕

校異

1

〔無窮・龍門・書陵・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ〕章題無し、
〔梅沢〕は「重徳第廿五」に、〔武内・東大・東洋〕は「重徳章第廿
四」に、〔慶Ⅰ・大東〕は「重為章第二十五」に、〔筑波〕は「重為
輕根章第二十五」に、〔弘文〕は「重為輕根章第廿五」に、〔慶Ⅱ〕
は「重為輕根章廿五」に作る

2

〔天理〕「去」字に作る

3

〔治要〕「草本之華輕故零落根重故長存也」十四字無し

4

諸本「木」字に作る

5 〔道藏〕「之」字無し

6 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道藏・天
理〕「花葉」一字に作る

7 〔根〕字下、〔武内・東大・慶Ⅰ・大東・足利・斯Ⅱ・東洋〕「其」
字有り、尚、〔梅沢〕は「根重」字間に「其」字を加筆

8 〔故〕字下、〔道藏〕「能」字有り

9 〔龍門〕「在」字に作る

10 〔梅沢〕「也」字無し、但、「存」字下余白に加筆さる、〔東急〕

- 「也矣」二字に作る。
- 11 「治要」龍靜故能變化虎躁故天虧也」十二字無し
- 12 「斯Ⅱ」龍」字に誤る
- 13 「躁」字下、慶Ⅱ「靜」字有り、但、見消ちを付す
- 14 「故」字下、「梅沢」は「能」字が有り、右旁に「イ无」の校記を付す
- 15 「天虧」道藏」は「虧天」に、「足利」は「与虧」に、「武内」は「天虚」に作る
- 16 「君子」、宋版・世徳・道藏」聖人」に作る
- 17 「梅沢、東急」輻」字に作る
- 18 「梅沢、東急」輻」字に作る
- 19 「君子」、宋版・世徳」聖人」に作る
- 20 「天理」道」字無し、「武内・東大・東洋・梅沢・東急」於」字に作る
- 21 「天理」其」字無し、「武内・東大・東洋・梅沢・東急」於」字に作る
- 22 「足利」輻」字に作る、但、字下に「静イ」の書入れ有り
- 23 「道藏」与」字無し
- 24 「龍門、書陵・慶Ⅱ」道藏」也」字無し、尚、「東洋」は「也」字左旁に青筆の見消ちを付す
- 25 「足利」は「官」字に、「慶Ⅱ」は「宮」字に作る、但、「足利」は「眉上」に校字「宮」の書入れ有り
- 26 「世徳」觀」字に作る
- 27 「道藏」也」字無し
- 28 「道藏」也」字無し
- 29 「疾」字下、「道藏」其」字有り
- 30 「道藏」主」字無し、「慶Ⅱ」王」字に作る
- 31 「之」字下、「活Ⅱ」活Ⅱ・陽Ⅱ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅱ・大東・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・東急」は「也」字、「東洋・宋版・世徳・道藏・天理」は「辞」字、「筑波」は「辞也」二字有り、尚、「東洋」は青筆で「理」字左旁に見消ちを付し右旁に「也才无」と、「東活」は「也」字左旁に「才无」との校異書入れが有る、また、「慶Ⅱ

- は「之」下字間余白に「辞」字を加筆する
- 32 「道藏・治要」万乘之主謂王者」七字無し
- 33 「宋版・世徳」者」字無し
- 34 「活Ⅱ」活Ⅱ・陽Ⅱ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅱ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・天理」也」字有り
- 35 「輕」字下、「活Ⅱ」活Ⅱ・陽Ⅱ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅱ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ」道藏・治要・天理」於」字有り
- 36 「治要」王者至尊而以其身行輕躁分」十二字無し
- 37 「道藏」於」字に作る
- 38 「諸本」乎」字に作る
- 39 「淫」字下、「道藏」失其精」三字有り
- 40 「道藏」滔」字に作る
- 41 「精」字下、「活Ⅱ」活Ⅱ・陽Ⅱ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅱ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・杏Ⅱ」道藏・天理」は「也」字、「東洋」は「者也」二字有り
- 42 「斯Ⅱ」躁則失君」の経文及び注文並びに脱
- 43 「者」字下、「宋版・世徳・道藏・治要」行」字有り
- 44 「天理」失」字に誤る
- 45 「足利」則」字無し
- 46 「弘文・道藏」也」字無し

訓読文補注

- 1 「眉上に「輻」側飢切」の書入れ有り
- 2 「速(ク)避(リ)テ(而)」、「速(ク)避(サケケ)テ(武内)」、「速(ク)避(ケ)テ(慶Ⅱ)別訓」、「速(ク)避(リ)テ(慶Ⅱ・大東)」等の訓読が認められるが、今、「梅沢」の「速(ク)避(リ)テ」に従う

善行者無²轍³跡⁴ 5

善行道者求之於身不下堂不出門故無轍跡⁶ 7 8 9 10

善言者無¹¹瑕¹²謫¹³

善言謂擇言而出則無瑕疵謫過於天下¹⁴ 15 16 17 18 19

善計者不用籌策²⁰

善以道計事者則守一不移所計不多則不用籌策而可知也²⁵ 21 22 23 24

善閉者無²⁶閑²⁷鍵²⁸而不可開²⁹

善以道閉情欲守精神者不如門戶有關鍵可得開³⁰ 31 32 33 34 35

善結者無³⁶繩³⁷約³⁸而不可解³⁹

善以道結事者乃可結其心不如繩索可得解也⁴⁰ 41

是以聖人常善救人⁴²

聖人所以常教人忠孝者欲以救人性命⁴⁴ 45 46 47

善(ク)行(去)ク者ハ轍跡無(シ)

善(ク)道ヲ行(ク)者ハ・之ヲ(於)身ニ求メテ・堂ヲ下(去)リ
不・門ヲ出(テ)不。故ニ轍跡無(シ)

善(ク)言(フ)者ハ・瑕謫無(シ)

善(ク)言(フ)ト云ハ・言ヲ擇ンテ(而)出(ス)トキハ・(則)〔於〕天ト下ニ瑕疵謫過无(キ)ヲ謂(フ)

善(ク)計(ル)者ハ・籌策ヲ用井不

善(ク)道ヲ以テ事ヲ計(フ)ル者ハ・(則)一ヲ守リテ移ラ不・計(フ)ル所多カラ不ルトキハ・〔則〕籌策ヲ用井不ソ・〔而〕知ヌ可(シ)(也)

善(ク)閉ツル者ハ・關鍵無(ク)シテ・〔而〕開(ク)可(カラ)不

善(ク)道ヲ以テ情欲ヲ閉チ・精神ヲ守ル者ハ・門戶ノ・關鍵有(リ)テ開(ク)コトヲ得可(キ)カ如(ク)ニハ不(ス)

善(ク)結ス者ハ・繩約無(ク)シテ・〔而〕解ク可(カラ)不

善(ク)道ヲ以テ事ヲ結スル者ハ・乃(チ)其ノ心ニ結ヌ可(シ)・繩索解(ク)コトヲ得可(キ)カ如(ク)ニハ不(ス)(也)

是(ヲ)以テ聖人ハ・常ニ善(ク)人ヲ救フ

聖人ノ・常ニ人ニ忠孝ヲ教(フ)ル所以ハ(者)・以テ人ノ

故無棄人⁴⁸

使貴賤各得其所也

常善救物

聖人所以常教民順四時以救万物之殘傷^{52 53 54}

故無棄物⁵⁵

聖人不賤石而貴玉視如一⁵⁸

是謂襲明⁵⁹

聖人善救人物是謂襲明大道也⁶¹

故善人者不善人之師⁶⁴

人之行善者聖人即以為人師⁶⁷

不善人者善人資⁶⁹

資用也人行不善聖人猶教道使為善得以為給用也⁷⁵

性命ヲ救(ハン)ト欲(シ)テナリ

故二人ヲ棄(ツ)ルコト無(シ)

貴賤ヲノ(使)・各其ノ(所)ヲ得(使)ム(也)

常ニ善(ク)物ヲ救フ

聖人ハ・常(三)民ニ四時ニ順フコトヲ教(フ)ル所以ハ・以(コト)

ヲモテ万物ノ(之)殘傷ヲ救フ

故ニ物ヲ棄(ツ)ルコト無(シ)

聖人ハ・石ヲ賤(シク)シテ(而)玉ヲ貴ハ不(視)ル(ル)コト一

ノ如(シ)

是ヲ襲明ト謂(フ)

聖人ハ・善(ク)人物ヲ救フ・是ヲ大道ニ襲明スト謂(フ)

(也)

故ニ善人ハ(者)・不善人ノ(之)師ナリ

人ノ(之)善ヲ行フ(者)ヲハ・聖人・即(キ)テ以テ人ノ(師)ト

為(ス)

不善人ハ(者)・善人ノ資ナリ

資ハ・用(也)。人ノ(行)去(ク)善カラ不(ル)ヲハ・聖人・猶(ナ)

教(ヘ)道(ト)イテ善ヲ為(テ)給(用)ト(為)ル(ル)コトヲ得(使)ム

(也)

不貴其師⁷⁶

独無輔也^{77, 78}

不愛其資

無所使也⁷⁹

雖智大迷⁸⁰

雖自以為智言此人乃大迷惑^{81, 82, 83}

是謂要妙

能通此意是謂知微妙要道也^{84, 85, 86}

其ノ師ヲ貴ヒ不

独ニノ輔ケ無(シ)(也)

其ノ資ヲ愛セ不

使フ所無(キ)ソ(也)

智アリト雖・大ニ迷フ

自(ラ)以テ智ト為ト雖・言ハ此ノ人乃(チ)大ニ迷惑ス

是ヲ要妙ト謂(フ)

能(ク)此ノ意ニ通スル・是ヲ微妙ノ要道ヲ知(ル)ト謂(フ)

(也)

校異

- 1 「無窮・書陵・龍門・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ」章題無し、「梅沢」は「巧用弟廿七」に、「武内・東大・東洋」は「巧用章第七」に、「慶Ⅰ・筑波」は「善行章第二十七」に、「大東・慶Ⅱ・弘文」は「善行章第廿七」に作る
- 2 「宋版・世徳」一「者」字無し
- 3 「龍門・慶Ⅰ・大東・武内・東大・六地」 「无」字に作る
- 4 「梅沢・東急・陽Ⅱ」は「徹」に、「武内・東大」は「徹」に作る
- 5 「武内・東大・宋版・世徳」 「迹」字に作る
- 6 「東急」 「道」字無し
- 7 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・慶Ⅱ・弘文・足利・梅沢・東急・宋版・世徳・道蔵・天理」 「无」字に作る
- 8 「梅沢・東急」は「徹」字に、「東大」は「徹」字に作る
- 9 「武内・東洋・東大・宋版・世徳」 「迹」字に作る
- 10 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅱ・弘文・足利・慶Ⅰ・大東・筑波・斯Ⅱ・武内・東大・東洋・梅沢・東急・天理」 「也」字有り

- 11 「宋版・世徳・道蔵」 「者」字無し
- 12 「陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東洋・六地・陽Ⅱ」 「无」に作る
- 13 「言」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・天理」 「者」字有り、「梅沢」は「言」字間に「者」字を加筆
- 14 「出」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道蔵・天理」は「之」字有り
- 15 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・梅沢・東急・道蔵」 「疵」字無し
- 16 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・梅沢・東急・世徳・道蔵・天理」 「无」字に作る
- 17 「斯Ⅱ・道蔵」は「謫」字、「東洋」は「適」字に作る
- 18 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道蔵・天理」 「也」字有り

21 20 〔宋版・世徳・道蔵〕「者」字無し
 22 〔筑波〕「討」字に作る
 21 20 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・天理〕
 〔則〕字無し
 23 〔筑波〕「討」字に作る
 24 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・天理〕
 〔則〕字無し
 25 道蔵「可」字無し、「書陵」は「不」字に作る、但、朱筆で左旁に見消ちを付し右旁に「可」字を加筆している
 26 〔宋版・世徳〕「者」字無し
 27 龍門・慶Ⅰ・大東・東大・慶Ⅱ・六地・陽Ⅱ「无」に作る
 28 〔無窮〕「開」字に作る（但、右旁「開」字加筆）
 29 〔無窮・書陵・武内・弘文・斯Ⅱ・東大・慶Ⅱ・梅沢・宋版・世徳〕は「捷」、東急・道蔵は「鍵」字に作る
 30 〔世徳〕「精」字に作る、誤刻であろう
 31 〔斯Ⅱ〕「閉」字に作る
 32 〔梅沢〕「開」字に誤る
 33 道蔵 此の字無し、〔無窮・書陵・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・慶Ⅰ・弘文・斯Ⅱ・梅沢・宋版・世徳〕は「捷」に、「東急」は「鍵」字に作る
 34 〔可〕字上、「慶Ⅱ」「不」字有り
 35 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅱ・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道蔵・天理〕「也」字有り
 36 〔宋版・世徳〕「者」字無し
 37 〔陽Ⅰ・龍門・慶Ⅰ・大東・東大〕「无」字に作る
 38 〔斯Ⅱ・梅沢〕は「初」に、「龍門・無窮・六地」は「初」字に作る
 39 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ〕「素」字に作る
 40 〔大東・斯Ⅱ〕「素」字に作る
 41 〔道蔵〕「也」字無し、「梅沢」は「也之」、「筑波」は「之也」「二」字に作る、但、「梅沢」は「之」字に抹消符朱線を施す
 42 〔聖人〕下、「慶Ⅱ」は「々々（聖人）」二字有り、但、右旁見消

ちを付す
 43 〔善救人〕、「世徳」「救善人」に作る
 44 〔東洋〕「常」字無し
 45 〔慶Ⅱ・道蔵〕「者」字無し
 46 〔宋版・世徳〕「在」字に作る
 47 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・治要・天理〕「也」字有り、「梅沢」は「也之」二字有り、但、「之」字に抹消符墨線を施す
 48 六地・陽Ⅱ・治要「无」字に作る
 49 〔宋版・世徳・道蔵・治要〕「常」字無し
 50 〔教民〕、「無窮」「民教」に作る
 51 〔時〕字下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・天理〕「者」字有り
 52 龍門「也」字に作る、「慶Ⅰ」は「之」字下に又「之」字有り
 53 〔残傷〕、「道蔵」「傷殘」に作る
 54 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・治要・天理〕「也」字有り
 55 〔陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・大東・六地・治要〕「无」字に作る
 56 〔視如〕「治要」は此の句無し、「視」字下、諸本「之」字有り
 57 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・天理〕は「也」一字、「東洋」は「者也」二字有り
 59 〔宋版・世徳〕「是」字無し
 60 龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢「天」字に作る
 61 〔道蔵〕「也」字無し、「東洋」は「者也」一字に作る
 62 〔東洋〕「者」一字無し、但、「人不」字間に小圈を施し左旁に「者」字を加筆しその左旁に書筆で「才无」と傍記する、尚「東适」は「者」字左旁に「才」の校記有り
 63 治要「善人」二字無し
 64 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・治要・天理〕「也」字有り

65 〔道藏〕「則」字に作る
〔弘文〕「人」字無し

67 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・道藏・治要・天理〕は「也」字
〔東洋〕は「者也」二字有り

68 〔人〕字下、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・六地・陽Ⅱ・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・治要・天理〕之「字有り」〔慶Ⅱ〕は「之之」二字有り

69 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・六地・陽Ⅱ・天理〕也「字有り」

70 〔善〕字下、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・天理〕者「字有り」

71 〔道藏〕「聖人」二字無し
〔治要〕「猶」字無し、〔活Ⅰ・陽Ⅰ〕「獨」字に作る、尚、〔東活〕は「獨」字左旁に「猶イ」の書入れ有り

72 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・天理〕導「字に作る」

74 〔活Ⅰ・陽Ⅰ・龍門・書陵・慶Ⅱ・東急・宋版・世徳・道藏〕「為」

上44ウ5 反朴第二十八

知其雄¹守其雌²爲天下³谿⁴

雄以⁵喻尊⁶雌以⁷喻卑⁸人雖⁹自知¹⁰其尊¹¹顯¹²當¹³復¹⁴守¹⁵之以¹⁶卑¹⁷微¹⁸去¹⁹雄²⁰之強²¹梁²²就²³雌²⁴之柔²⁵和²⁶如是²⁷則²⁸天下²⁹販³⁰之如³¹水流³²入³³深³⁴谿³⁵也

75 字無し
〔道藏〕治要「也」字無し

76 〔治要〕此の經文句及び注文句無し
〔陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・筑波・斯Ⅱ・東洋〕「无」字に作る

77 〔足利〕「輔也」二字無く「獨無」二字を大字經文として書写、但右旁に小圈を施す、見消ちか

78 〔活Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・斯Ⅱ・東洋・治要〕「无」字に作る

79 〔道藏〕「知」字に作る
〔龍門・書陵〕「乃」字無し

80 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・道藏・天理〕一也「字有り」〔東洋〕は「者也」二字有り

81 〔道藏〕「道」字に作る
〔東大〕「智」字に作る

82 〔治要〕「也」字無し

83 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・道藏・天理〕一也「字有り」

84 〔道藏〕「道」字に作る

85 〔東大〕「智」字に作る

86 〔治要〕「也」字無し

反朴第二十八

其ノ雄¹ヲ知²(リ)テ其ノ雌³ヲ守⁴(ルト)キハ・天下⁵ノ谿⁶爲⁷(リ)

雄ハ・以テ尊⁸キニ⁹喻¹⁰(フ)・雌ハ・以テ卑¹¹キニ¹²喻¹³(フ)・人自¹⁴(ラ)其ノ尊¹⁵顯¹⁶ヲ知¹⁷(ル)ト雖¹⁸・當¹⁹ニ復²⁰守²¹(ル)ニ²²(之)・卑²³微²⁴ヲ以テス〔當シ〕・雄ノ〔之〕強²⁵梁²⁶ヲ去²⁷(ト)テ・雌ノ〔之〕柔²⁸和²⁹ニ就³⁰ク・

爲天下谿常德不離¹⁶

人能謙下如深谿則德常在¹⁷不復離於已¹⁸離於已²⁰

復歸於嬰兒²¹

復常歸志於嬰兒²²蠢然而無所知也²³

知其白守其黑爲天下式

白以喻昭³⁰黑以喻默³¹人雖自知昭³²明達當復守³³之默³⁴如闇昧无所見³⁵如是則可以爲天下法式也³⁶

爲天下式常德不⁴²忒⁴³

人能爲天下法則德常在⁴⁴於已不復差⁴⁵忒也⁴⁶

復歸於無極⁴⁹

德不⁵¹差⁵²忒則長生久壽歸身於無窮極也⁵³

是(ク)ノ如キハ・〔則〕天^下ノ版スルコト〔之〕・水ノ流レテ

深谿ニ入(ル)カ如(シ)〔也〕

天^下ノ谿爲(ル)トキハ・常ノ德アリテ離レ不^{力智反}

人能(ク)謙下(去)スルコト・深谿ノ如(ク)ナルトキハ・

〔則〕德常ニ在(リ)テ復〔於〕己ヲ離レ不

〔於〕嬰兒ニ復(入)リ歸ス

復(去)常ニ志ヲ〔於〕嬰兒ニ歸シテ・蠢然トソ〔而〕・知(ル)

所無(シ)〔也〕

其ノ白ヲ知(リ)テ・其ノ黒ヲ守ルトキハ・天^下ノ式爲(リ)

白ヲハ・以テ昭々ニ喻フ・黒ヲハ・以テ黙々ニ喻(フ)。人

自(ラ)昭々ト明達ヲ知(ル)ト雖^{〔補注〕}・當ニ復(去)之(ヲ)守ル

ニ黙々ヲ以テ・闇昧ニソ見(ル)所無(キ)カ如(ク)ナル〔當〕

シ。是(ク)ノ如(ク)ナルトキハ・〔則〕以テ天^下ノ法式ト爲

〔ノ〕〔也〕・〔則〕德常ニ在(ル)可(シ)

天^下ノ式爲(ル)トキハ・常ノ德アリテ忒ハ不

人能(ク)天^下ノ法爲(ル)トキハ・〔則〕德常ニ〔於〕己ニ在(リ)

テ・復(去)差ヒ^テ忒ハ不〔也〕

〔於〕無極ニ復(入)リ歸ス
德差ヒ^テ忒ハ不(ル)トキハ・〔則〕長生久壽ニソ・身ヲ〔於〕

知其榮守其辱為天下谷

榮以喻尊貴辱以喻汚濁知已之有榮貴當守_己以汚濁如是則天下歸之如水流入深谷也

為天下谷常德乃足

足止也人能為天下谷德乃常止於已

復歸於朴

復當歸身於質朴不復為文飾

朴散則為器

万物之朴散則為器用也若道散則為神明流為日月分為五行也

聖人用之則為官長

聖人外用則為百官之元長也

窮極无(キ)ニ歸ス(也)

其ノ榮ヲ知(リ)テ・其ノ辱ヲ守ルトキハ・天下ノ谷為(リ)

榮ヲハ・以テ尊貴ニ喻(ヘ)・辱ヲハ・以テ汚濁ニ喻フ。己

カ(之)榮貴有(ル)コトヲ知(レ)トモ・當ニ守ルニ(之)汚濁

ヲ以テス。是(ク)ノ如(キ)トキハ・(則)天下歸スルコト(之)・

水ノ流(レ)テ深谷ニ入(ル)カ如(シ)(也)

天下ノ谷為(ルトキハ)。常ノ徳アリテ乃(チ)足マル

足ハ・止(也)。人能(ク)天下ノ谷為(ル)トキハ・徳乃(チ)

常ニ(於)己ニ止(マ)ル

(於)朴(入)ニ復(入)リ歸ス

復(去)當ニ身ヲ(於)質朴(入)ニ歸ソ・復(去)文飾ヲ為不

(ル)「當」(シ)

朴(入)散ソハ・(則)器ト為ル

万物ノ(之)朴(入)散スルトキハ・(則)器用ト為(ル)(也)。

道散ソハ(則)神明ト為(ル)。流レテ日月ト為ル。分レテ

五行ト為ルカ若シ(也)

聖人用(キ)ルトキハ(之)・(則)官長為(リ)

聖人・外ニ用(キ)ルトキハ・(則)百官ノ(之)元長為(リ)

(也)

故大制不割

聖人用之則以大道制御天下无復割治身則以天道
制情欲不害精神也⁹⁶

故二大制八割七不

聖人用之(キル)トキハ(之)・(則)大道ヲ以テ・天下ヲ制
御シ・復(去)割スルコト无(シ)身ヲ治(ム)ルトキハ・(則)
天道ヲ以テ・情欲ヲ制シ・精神ヲ害セ不(也)

校異

- 1 「無窮・龍門・書陵・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ」章題無し、
「梅沢」は「反朴弟廿八」に、「武内・東大・東洋」は「反朴章第廿
八」に、「筑波」は「反朴章第二十八」に、「慶Ⅰ・大東」は「知其
章第二十八」に、「慶Ⅱ・弘文」は「知其雄章第廿八」に作る
- 2 「東急・治要」「溪」字に作る
- 3 「武内・東大・筑波・東洋・梅沢・東急」「論」字に作る
- 4 「武内・東大・筑波・東洋・梅沢・東急」「論」字に作る
- 5 「自知」「宋版・世徳」「知己」に作る、「弘文」は「自」字無し
- 6 「梅沢・東急・宋版・世徳」「其」字無し
- 7 「之以」「道蔵」「其」一字に作る
- 8 「宋版」「雄」字無し、諷脱か
- 9 「雌」字上「道蔵」「其」字有り
- 10 「治要」「如」字無し
- 11 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・書陵・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・宋
版・世徳・道蔵・治要」「歸」字に作る
- 12 「水」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・
慶Ⅰ・大東・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道蔵・治要・
天理」之「字が有る、「慶Ⅱ」は「水之」二字有り、「水」一字衍
か
- 13 「流入」、「道蔵」「游」一字に作る
- 14 「筑波・東急」「溪」字に作る
- 15 「東大・道蔵・治要」は「也」字無し、「東洋」は「者也」二字に
作る
- 16 「東急・治要」「溪」字に作る
- 17 「弘文・東急・治要」「溪」字に作る
- 18 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘文・足

- 19 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・天理」
「於」字無し
- 20 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・東急・道蔵・天理」
「也」字有り、「梅沢」は「也之」二字有り
- 21 「慶Ⅱ・大東・筑波・天理」「飯」字に作る
- 22 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅱ・慶Ⅰ・大
東・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道蔵・六地・陽
Ⅱ」は「嬰」字に作る
- 23 「復常」「宋版・世徳」は「常復」に、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・
龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・
斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道蔵・天理」は「復當」に作る
- 24 「武内・東大・慶Ⅱ・大東・筑波・弘文・東洋・天理」は「飯」
字に、「道蔵」は「復」字に作る
- 25 「陽Ⅰ・宋版」は「櫻」字に作る
- 26 「世徳・道蔵」「卷」字に作る
- 27 「梅沢・東急・道蔵」「而」字無し
- 28 「陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・大東・筑波・斯Ⅱ・東洋」「无」
字に作る
- 29 「東急」は「也」字無し
- 30 「武内・東大・筑波・東洋・梅沢・東急」「論」字に作る
- 31 「昭々」龍門」「照照」に作る
- 32 「武内・東大・筑波・梅沢・東急」「論」字に作る

- 33 「黙々」・「慶Ⅱ」 「黙々」に作る
 34 「昭々」・「龍門」 「昭々」に作る
 35 「宋版」・「世徳」 「白」字に作る
 36 「道蔵」 「復」字無し
 37 「弘文」 「之」字無し
 38 「黙々」・「道蔵」 疊字無く「黙」一字に作る、譌脱か、「慶Ⅱ」は「黙々」に作る
 39 「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「無窮」・「書陵」・「弘文」・「足利」・「斯Ⅱ」・「梅沢」・「東急」・「宋版」・「世徳」・「道蔵」・「天理」 「無」字に作る
 40 「東急」・「宋版」・「世徳」・「道蔵」・「治要」 「以」字無し
 41 「宋版」・「世徳」・「道蔵」 「也」字無し
 42 「則徳」・「常在」・「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「陽Ⅰ」・「無窮」・「龍門」・「書陵」・「武内」・「東大」・「慶Ⅱ」・「大東」・「慶Ⅱ」・「筑波」・「弘文」・「足利」・「斯Ⅱ」・「東洋」・「梅沢」・「東急」・「治要」・「天理」 此の四字無し、「道蔵」 「則」を「其」字に、「宋版」は「徳」を「得」字に作る
 43 「宋版」・「世徳」・「道蔵」は「忒」に、「梅沢」は「忒」に、「東洋」は「忒」に、「東大」は「忒」に、「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「足利」・「天理」は「惑」に作る
 44 「法」字下、「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「陽Ⅰ」・「無窮」・「龍門」・「書陵」・「武内」・「東大」・「慶Ⅱ」・「大東」・「慶Ⅱ」・「筑波」・「弘文」・「足利」・「斯Ⅱ」・「東洋」・「梅沢」・「東急」・「道蔵」・「治要」・「天理」 「式」字有り
 45 「武内」・「東大」・「筑波」・「足利」・「東洋」・「東急」・「道蔵」 「於」字無し
 46 「東急」 「復」字無し、「道蔵」は「復」字下に「有」字有り
 47 「宋版」・「世徳」・「道蔵」は「忒」に、「梅沢」は「忒」に、「東洋」は「忒」に、「東大」は「忒」に、「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「足利」・「天理」は「惑」に作る
 48 「東洋」・「宋版」・「世徳」・「道蔵」 「也」字無し、尚「東洋」は「忒」字下に「青筆」で「也」字を加筆しその左傍に「才ナ」と、また「東活」 「也」字に「才ナ」との校異書入れが見られる
 49 「慶Ⅱ」・「大東」・「筑波」・「天理」 「版」字に作る、「二六地」は此の「歸」字より本章末部の「故大制」迄の四十二字欠
 50 「陽Ⅰ」・「龍門」・「武内」・「東大」・「慶Ⅱ」 「無」に作る
 51 「徳」字上、「弘文」 「復」字有り
 52 「宋版」・「世徳」・「道蔵」は「忒」に、「梅沢」は「忒」に、「東洋」は「忒」に、「東大」は「忒」に、「慶Ⅱ」は「忒」に、「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「足利」・「天理」は「惑」に作る
 53 「長生久壽」・「道蔵」 「久壽長生」に作る

- 54 「壽」字下、「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「陽Ⅰ」・「無窮」・「龍門」・「書陵」・「武内」・「慶Ⅱ」・「足利」・「東大」・「慶Ⅱ」・「大東」・「筑波」・「弘文」・「斯Ⅱ」・「東洋」・「梅沢」・「東急」・「天理」 「復」字有り
 55 「書陵」・「東大」・「慶Ⅱ」・「大東」・「筑波」・「弘文」・「斯Ⅱ」・「東洋」・「天理」 「版」字に作る
 56 「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「無窮」・「書陵」・「慶Ⅱ」・「弘文」・「足利」・「梅沢」・「東急」・「宋版」・「世徳」・「天理」 「無」字に作る、「道蔵」は此の字無し
 57 「道蔵」 「也」字無し
 58 「武内」・「東大」・「筑波」・「東洋」・「梅沢」・「東急」 「論」字に作る
 59 「貴辱以喻汚濁」・「治要」 此の六字無し
 60 「武内」・「東大」・「梅沢」・「東急」 「論」字に作る
 61 「濁」字下、「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「陽Ⅰ」・「無窮」・「龍門」・「書陵」・「慶Ⅱ」・「大東」・「慶Ⅱ」・「筑波」・「弘文」・「足利」・「斯Ⅱ」・「武内」・「東大」・「東洋」・「梅沢」・「東急」・「道蔵」・「天理」 「也」字有り
 62 「知」字上、「東大」・「東洋」は「能」字、「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「陽Ⅰ」・「無窮」・「龍門」・「書陵」・「武内」・「慶Ⅱ」・「大東」・「慶Ⅱ」・「筑波」・「弘文」・「足利」・「斯Ⅱ」・「梅沢」・「東急」・「天理」は「人能」二字有り
 63 「武内」・「東大」・「慶Ⅱ」・「大東」・「筑波」・「弘文」・「斯Ⅱ」・「東洋」・「天理」 「版」字に作る
 64 「治要」 「入」字無し
 65 「深」字上、「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「陽Ⅰ」・「無窮」・「龍門」・「書陵」・「武内」・「東大」・「慶Ⅱ」・「大東」・「慶Ⅱ」・「筑波」・「弘文」・「斯Ⅱ」・「足利」・「東洋」・「梅沢」・「天理」 「於」字有り
 66 「弘文」・「斯Ⅱ」 「焉」字に作る、「東洋」は「者也」二字に作る
 67 「宋版」・「世徳」・「道蔵」 「常」字無し
 68 「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「陽Ⅰ」・「無窮」・「龍門」・「書陵」・「武内」・「東大」・「慶Ⅱ」・「大東」・「慶Ⅱ」・「筑波」・「弘文」・「足利」・「斯Ⅱ」・「東洋」・「梅沢」・「東急」・「天理」 「也」字有り
 69 「復」字上、「東大」 「徳」字有り
 70 「書陵」・「東大」・「慶Ⅱ」・「筑波」・「天理」 「版」字に作る
 71 「活Ⅰ」・「活Ⅱ」・「陽Ⅰ」・「無窮」・「龍門」・「書陵」・「慶Ⅱ」・「大東」・「慶Ⅱ」・「筑波」・「弘文」・「足利」・「斯Ⅱ」・「梅沢」・「陽Ⅱ」・「東急」・「道蔵」・「天理」 「樸」字に作る、但、「梅沢」は右傍に校字「朴」の書入れ有り、尚、「東洋」 「青」は「朴」字左傍に見消ちを付し眉上に「樸本作朴」と、また「東活」 「樸」字左傍に「本作朴」との校異書入れ有る
 72 「當」字下、「東急」 「常」字有り
 73 「書陵」・「大東」・「慶Ⅱ」・「筑波」・「斯Ⅱ」・「東洋」・「天理」 「版」字に作る

- 74 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・道藏・天理」一「樸」字に作る、但、「梅沢」は右傍に校字「朴」の書入れ有り
- 75 「不」字上、「慶Ⅱ」散則「二字有り、但、右傍に見消ちを施す
- 76 「不復、一東大」復不「に作る、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・書陵・慶Ⅱ・東急・天理」復「一字無し、但、「慶Ⅱ」は「不」字下に小圈を施し右傍に「復」字を加筆、「無窮」は「不復不」三字に作る、「不」一字衍か
- 77 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・東急・天理」也「字有り、「梅沢」は「飾」下の字間に「也」字を加筆する
- 78 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・道藏・陽Ⅱ・天理」樸「字に作る、但、「梅沢」は右傍に「朴」字を加筆する
- 79 「弘文」之「字無し
- 80 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・道藏・天理」樸「字に作る
- 81 「道藏」也「字無し
- 82 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・東急・天理」則「字無し
- 83 「道藏」流「字無し
- 84 「武内・梅沢・道藏」也「字無し、「東洋」者也「二字に作る
- 85 「弘文・東洋・梅沢・陽Ⅱ」則「字無し、但、「梅沢」は「之爲」字間に挿入符の小圈を施し右傍に「則」字を加筆する

上46ウ3 無爲第二十九

將欲取天下²
欲爲天下主也³
而爲之

- 86 諸本「升」字に作る、此の本伝写の譌か
- 87 「爲」字下、「弘文」散「字有り
- 88 斯Ⅱ「无」字に誤る
- 89 「天理」也「字無し
- 90 「制御、一武内・東大・東洋・東急」御制「に作る、一梅沢は移行符を以て「御制」に訂正する
- 91 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・慶Ⅱ・弘文・足利・梅沢・東急・世徳・道藏・天理」無「二字に作る、但、「足利」は元「所復」に作り「復」字を墨消して下に「傷」字を加筆している
- 92 「復、諸本」所傷「二字に作る、但、「足利」は元「所復」に作り「復」字を墨消して下に「傷」字を加筆している
- 93 「道藏」害「字に作る
- 94 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・道藏・天理」大「字に作る
- 95 「制」字下、「道藏」御「字有り
- 96 「害」字下、「道藏」於「字有り
- 97 「道藏」也「字無し、尚「東洋（青）・東活」は字傍に「才ナ」の校異記有り

訓読文補注

2 1 「ト」、元の仮名は「ハ」、擦り消して「ト」に改める

2 「大」道ヲ以テ、原文は「以大道」で返り点が無い。このままでは文脈通ぜず、下旬「天」道ヲ以テ（以テ天「道」）の例により、返り点「二」「二」の脱落或いは省筆と見做す

無爲第二十九

將^{（補注）}天下ヲ取（リ）テ而テ爲メント欲スルヲ（之）
天ノ下ノ主爲（ラ）ンコトヲ欲スルソ（也）

欲以有為治民⁴

吾見其不得已

我見其不得天道人心已明矣天道惡煩濁人心惡多

欲⁶

天下神器不可為也⁷

器物也人乃天下之神物也神物好安靜不可以有為

治¹⁰

為者敗之¹¹

以有為治之則敗其質性也¹³

執者失之¹⁴

強執教之人則失其情實生於姦偽也²³

夫物或行或隨²⁴

上所行下必隨之也²⁶

或啍或吹²⁷

啍温也吹寒也有所温必有所寒也³²

或強或羸

有為ヲ以テ民ヲ治メント欲スルソ

吾其ノ得不(ラ)ンコトヲ見(ル)已³

我其ノ天道・人心ヲ得不(ラ)ンコトヲ見ルコト・已ニ明ナ

リ(矣)。天道ハ・煩濁ヲ惡ム・人ノ心ハ多ク欲ヲ惡去ム

天下ノ神器ハ・為ム可(カラ)不(也)

器ハ・物(也)。人ハ・乃チ天下ノ(之)神物ナリ(也)・

神物ハ・安シ靜ヲ好(去)ム。以テ治ヲ為(ル)コト有(ル)可

(カラ)不

為ムル者ハ・敗ル(之)

有為ヲ以テ治(ム)ルトキハ(之)・(則)其ノ質性ヲ敗ル(也)

執(ル)者ハ・失フ(之)

強ヒテ執(リ)教フル(之)人ハ・(則)其ノ情實ヲ失(ヒ)テ・

(於)姦偽ヲ生(ス)(也)

夫(平)物・行フコト或レハ隨フコト或(リ)

上ノ行(フ)所ニハ・下必(ス)隨フ(之也)

啍カナルコト或レハ吹キコト或(リ)

啍ハ・温(也)。吹ハ・寒(也)。温ナル所有(ル)トキハ・必

(ス)寒スル所有(リ)(也)

強キコト或(レ)ハ羸^弱キコト或(リ)

有所強大必有所羸弱也³⁴

或載或隳³⁵

載安也隳³⁶危也也有所安必有所危明人君不可以有為

治國焉³⁸治身也³⁹

是以聖人去甚去奢去泰

甚謂貪淫声色奢謂服飾飲食也泰謂宮室臺榭去此

三者处中和行無為則天下自化⁴⁸

強大ナル所有(レ)ハ・必ス羸弱ナル所有(リ)〔也〕

載キコト或レハ隳(平)キコト或(リ)

載ハ・安(也) 隳ハ・危(也) 安(シ)スル所有(レ)ハ・必ス

危キ所有(リ) 人君ノ有為ヲ以テ・國ヲ治ムルト身(ヲ)

治(メン)焉(ト)スルニ可(ナラ)不(ル)コトヲ明ス(也)

是(ヲ)以テ・聖人ハ・甚(ク)去(ク)奢(ヲ)去(ク)泰(ヲ)去

(ツ)

甚ト云ハ・貪淫声(色)ヲ謂(フ) 奢ト云ハ・服飾飲(食)去(ク)

ヲ謂(フ)〔也〕 泰ト云ハ・宮室臺榭ヲ謂(フ) 此ノ三ノ

者ヲ去テ・中(和)二(處)上(ノ)・無(為)ヲ行(フ)トキハ・〔則〕

天(下)自(ツカ)ラ(化)ス

校異

1 〔無窮・龍門・書陵・足利・斯II・東急・六地・陽II 章題無し、

一梅沢 一「無為第廿九」に、「武内・東大・東洋」は「無為章第廿九」に、「慶I・筑波」は「將欲章第二十九」に、「大東・慶II 弘文」は「將欲章第廿九」に作る

2 一「道藏」此の經文句直下に次經文句有り、即ち「將欲取天下而為之」と連続し文となす

3 一「道藏」經文兩句を連続させたものにもない、此の注文は次の注文の直前に置き、兩文頭に各々經文句を配す、即ち經文「將欲取天下而為之」下の注を「將欲取天下欲為天下主也而為之欲以有為治民」とする

4 一「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・梅沢・治要・天理」〔也〕字有り

5 〔道〕字下、「無窮」〔已〕字有り

6 一「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・慶I・大東・慶II・筑波・足利・斯II・梅沢・東急・道藏・天理」〔也〕字有り、尚、「東大」の校異書入れ有り

7 一「龍門・書陵・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・東急・六地」〔也〕字無し

8 一「武内・東大・斯II・東洋」〔也〕字無し

9 一「活II」〔神物〕二字無し

10 一「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・東急・治要・天理」〔也〕字、「武内」は「之」字、「東大・東洋」は「之也」一字有り

11 一「者」字下、「活I・活II・陽I・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・東洋・六地・天理」〔則〕

- 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
- 字有り
 「敗」字下、「治要」「則」字有り、但、左傍に見消ちを付す、「梅
 沢」は「敗」字右傍に「イ失」の校異書入れ有り
 13 宋版・世徳・道蔵「也」字無し、「東洋」は「者也」二字に作
 尚、「東活」の「也」字下傍に「才ナ」の校異書入れ有り
 14 「天理」「取」字に作る
 15 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大
 東・慶Ⅱ」は「人」字無し、但、「梅沢」は「之則」字間に「人」
 字を加筆
 16 「道蔵」「其」字無し
 17 「陽Ⅰ・龍門・書陵」字無し、「道蔵」は「稱」字に、「宋版
 是」借「字」に作る
 18 「實」字上、「東急」「欲」字有り、但、右傍に見消ちを付す
 19 「生」字上、「慶Ⅱ」是「字有り
 20 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大
 東・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・慶Ⅱ・梅沢・東急・天理」
 「於」字無し
 21 「東洋」は「姦」字に、「活Ⅰ・活Ⅱ」宋版・世徳・道蔵・治要・
 天理「は」「詐」字に作る、尚、「東活」の「詐」字左傍に「姦イ」
 の校異書入れ有り
 22 「治要」「譎」字に作る
 23 「道蔵」は「也」字無し、「東洋」は「者也」二字に作る、尚、
 「東活」の「也」字下傍に「才ナ」の校異書入れ有り
 24 諸本「故」字に作る
 25 「行」字下、「道蔵」「之」字有り
 26 「道蔵」字無し
 27 「無窮・武内・東大・東洋・梅沢」「咆」字に作る
 28 「無窮・武内・東大・東洋・梅沢」「咆」字に作る
 29 「東大」「湿」字に作る
 30 「東急」は「也」字無し
 31 「道蔵」「湿」字に作る
 32 「道蔵」字無し
 33 「慶Ⅱ」所「字無し
 34 「道蔵」字無し

- 35 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・東大・梅沢」六地・宋版・世
 徳・道蔵・天理「は」「隙」字に、「書陵」は「隙」字に、「武内・慶
 Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ」は「隙」字に、「慶Ⅰ・大東・東洋」
 は「隙」字に、「東急・陽Ⅱ」は「隙」字に作る、尚、「書陵」の
 「活Ⅰ」字左傍に「隙イ」の校異書入れ有り
 36 「活Ⅰ・活Ⅱ・東大・梅沢・宋版・世徳・道蔵・天理」は「隙」
 字に、「書陵」は「隙」字に、「陽Ⅰ・無窮・武内・慶Ⅱ・筑波・弘
 文・足利・斯Ⅱ」は「隙」字に、「慶Ⅰ・大東・東洋」は「隙」字
 に、「東急」は「隙」字に作り、「龍門」は「隙」字に誤る
 37 「危」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・
 慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・
 天理」也「字有り
 38 「道蔵」与「字無し
 39 「色」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・
 慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・
 治要・天理」也「字有り
 40 「慶Ⅱ」「飯」字に作る
 41 「宋版・世徳・道蔵」「也」字無し
 42 「無窮」「臺」字無し
 43 「活Ⅰ・活Ⅱ」は「擲」字に、「慶Ⅱ」は「擲」字に作る
 44 「去」字上、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・
 慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・
 治要・天理」也「字有り
 45 「武内」「得」字に作る
 46 「東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・龍門・東洋・治要」は「无」に作り、
 47 「武内」は「天」字に誤る
 48 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大
 東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・治要・天理」
 「也」字有り、「東洋」は「者也」二字有り
- 訓読文補注
 1 「將(二)天下(一)ヲ取(リ)テ而テ爲(ル)メント欲スルヲ(之)」、本文
 は「將(二)欲(スルヲ)取(テ)天下(一)」と「而(テ)爲(ル)メント(一)之」の
 二句に分断し各句下に注を分配す

儉武第三十

以道佐人主者²

謂人主能以道自輔佐也^{3 4 5 6}

不以兵強於天下⁷

以道自佐之主不以兵革順天任德敵人自服^{8 9 10 11}

其事好還

其舉事好還自責不怨於人也¹²

歸之所処荆棘生焉¹³

農事廢田不修也^{14 15 16}

大軍之後必有凶年^{17 18 19}

天應之以惡氣即害五穀盡傷人也^{20 21 22 23 24 25 26 27}

善者果而已^{28 29}

行善者當果敢而已不休^{30 31 32 33 34}

不敢以取強焉^{35 36 37}

不以果敢取強大之名也^{38 39}

果而勿矜⁴⁰

儉武第三十

道ヲ以テ人ノ主ヲ佐クル者ハ「佐トスル人ノ主ハ」者」

人ノ主ノ能ク道ヲ以テ自ヲ輔佐スルコトヲ謂フ也

兵ヲ以テ於天下ニ強カラズ

道ヲ以テ自ラ佐クル主ハ兵革ヲ以テせず・天ニ順

ヒ徳ニ任セテ・敵人自ツカラ服ス

其ノ事ハ還ルヲ好ム

其ノ事ヲ舉メ還ルコトヲ好ム・自ラ責メテ於人ヲ

怨ミ不也

歸ノ所処荆棘生ル焉

農事廢レテ・田修マラズ也

大軍ノ後ニハ・必ず凶年有リ

天應以テ惡スルコト・惡氣ヲ以テシ・即チ五穀ヲ害

ス・々々穀盡ルトキハ人ヲ傷ル也

善者ハ果ラン而已

善ヲ行フ者ハ當ニ果敢ナル而已ニシテ休セズル當シ

敢テ以テ強ヲ取ラズ

果敢ヲ以テ強大ノ名ヲ取ラズ也

果ニシテ矜ルコト勿レ

當果敢謙卑勿自矜大也^{41 42 43 44}

果而勿伐⁴⁵

當果敢推讓勿自伐取甚美也^{46 47 48 49 50}

果而勿驕

驕欺也果敢勿以驕欺人^{51 52 53}

果而不得已

當果敢至誠不當迫不得已也^{54 55 56 57}

果而勿強

果敢勿以為強兵堅甲以侵陵人也^{58 59 60 61 62 63 64 65}

物壯則老

草木壯極則枯落人壯極則衰老也言強者不可以久也^{67 68 69 70}

是謂不道⁷¹

枯老者坐不行道也^{72 73}

當二果敢謙卑ニツ・自(ラ)矜大ナリトスルコト勿(ル)「當

シ」也

果ニツ(而)伐ルコト勿(レ)

當二果敢推讓ニツ・自(ラ)甚美ヲ伐(リ)「取ルコト」伐取^{補註}

(ス)ルコト」勿(ル)「當シ」也

果ニツ(而)驕クコト勿(レ)

驕ハ・欺(キ)也。果敢ニツ・以テ人ヲ驕キ欺クコト勿(レ)

果ニツ(而)已ムコトヲ得不(レ)

當二果敢至誠ナル「當シ・當ニ已(ム)コトヲ得不(ル)ニ迫

ル」當「カラ不」也

果ニツ(而)強(平)フルコト勿(レ)

果敢ニツ以テ為去ニ兵ヲ強(ク)シ甲ヲ堅(ク)ノ・以テ人

ヲ侵陵スルコト勿(レ)也

物壯ナルトキハ「則」老ス

草木壯ナルコト「極(ル)トキハ・「則」枯(レ)落(ツ)・人壯

ナルコト「極(ル)トキハ・「則」衰老ス」也。言ハ強キ者ハ・

以テ久カル可(カラ)不」也

是ヲ不道ト謂(フ)

枯(レ)老ヌルハ「者」道ヲ行ハ不(ル)ニ坐セラル(也)

不道⁷⁴早⁷⁵亡

不行道者早死⁷⁶
⁷⁷

不道ナルトキハ早ク亡⁷⁸又

道ヲ行ハ不(ル)者ハ早ク死(ヌ)又

校異

- 1 「無窮・龍門・書陵・足利・斯II・東急・六地・陽II」章題無し、「武内・東大・東洋」は「儉武章第三十」に、「慶I・大東」は「以道佐章第三十」に、「慶II・筑波・弘文」は「以道佐人主章第三十」に作る
- 2 「治要」〔者〕字無し
- 3 「東大・東洋」〔能〕字無し
- 4 「龍門」〔陪〕字に作る
- 5 「筑波」〔化〕字に誤る
- 6 「治要」〔也〕字無し、「道藏」〔之矣〕二字に作る
- 7 「宋版・世徳」〔於〕字無し
- 8 「治要」〔以道自佐之主不以兵革〕十字無し
- 9 「筑波」〔韋〕字に作る
- 10 「斯II」〔服〕字無し
- 11 「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・東洋・梅沢・東急・天理」〔也〕字有り
- 12 「大東・道藏」〔也〕字無し
- 13 「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・筑波・弘文・足利・斯II・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・宋版・世徳・道藏・治要・天理」は「師」字に、「慶I・大東・慶II」は「帥」字に作る、此の本恐らくは伝写の誤
- 14 「農」字上「道藏」謂〕字有り
- 15 「弘文」〔而〕字に作る
- 16 「宋版・世徳・道藏・治要」〔也〕字無し、「梅沢」〔也之〕二字に作る、尚、「東洋」〔青〕・東活〕は「也」字左旁に「才ナ」の校異書入れが有る
- 17 「武内・東大・東洋」〔之〕字無し
- 18 「慶II」〔后〕に作る、「龍門」〔復〕に誤る
- 19 「慶II」〔季〕字に作り、「弘文」は「叟」字に作る
- 20 「道藏」〔殺〕字に作る

- 21 「筑波」〔鬼〕字に作る
- 22 「道藏」〔傷〕字に作る
- 23 「道藏」字下、活I・活II・無窮・武内・東大・慶I・大東・筑波・弘文・斯II・東洋・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・天理「五」字有り、「足利」は「殺々」の字間に「々(五)」を加筆
- 24 「く(殺)畫傷人」〔治要〕此の四字無し
- 25 「畫」字下、活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・東洋・梅沢・東急・天理」は「即」字が有る
- 26 「龍門」〔傷〕字無し、恐らくは誤脱
- 27 「東洋」〔者也〕二字に作る
- 28 「善」字上、「無窮・武内・東大・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・東洋・梅沢・陽II・東急・天理」には「故」字が有る、尚、「東洋」の「故」字右旁に「无」と、左旁に青筆で「イナ唐ナ」との書入れが有り、また「東活」にも同意の校記を見る
- 29 「陽I・龍門・書陵・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・六地」〔矣〕字有り、「梅沢」は「巳」字下字間に「矣」字を加筆
- 30 「宋版・世徳・道藏」は「行」字無し
- 31 「善」字下、「宋版・世徳」は「兵」一字、「道藏」は「用兵」二字有り
- 32 「道藏」〔果〕字無し
- 33 「弘文」〔体〕に作り、「道藏」は「美」字に作る
- 34 「活I・活II・陽I・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・弘文・筑波・足利・斯II・東洋・梅沢・東急・治要・天理」は「也」字、「道藏」は「之」字、「無窮」は「乏也」二字有り
- 35 「不敢」〔慶I・大東〕「敢不」に作る
- 36 「東急」〔敢〕字無し
- 37 「宋版・世徳・道藏・治要」〔焉〕字無し
- 38 「活I・活II・陽I・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・治要」〔敢〕字有り、「梅沢」は「不以」字間に挿入符の小圈を施し右旁に「敢」字を加筆

- 39 「治要」「也」字無し、「東洋」「者也」二字に作る
- 40 「勿矜」「東大」「矜勿」に作る
- 41 「斯II」「謹」字に作る、恐らくは譌
- 42 「勿」字上、「足利」「忽」字有り、但、下傍に見消ちを付す
- 43 「慶II」「自」字無し
- 44 「治要」「也」字無し
- 45 「活II」「代」字に誤る
- 46 「宋版」「乃」字に作る
- 47 「取甚美」、「治要」此の三字無し
- 48 諸本「其」字に作る、此の本伝写の譌か
- 49 「龍門」「書陵・東大・東洋・梅沢」「義」字に作る
- 50 「東急」字無し
- 51 「也果敢」、「治要」此の三字無し
- 52 「筑波」「欺」字無し
- 53 諸本「也」字に作る、此の本伝写の譌か
- 54 「慶II」「果」字無し
- 55 「當」字下、「道蔵」「偏」字有り
- 56 此本、旁部分に加墨して「追」字に訂正、且つ眉上に「追」字を標記、元の字は或は「追」か、「無窮」「道」字に作る、伝写の譌か
- 57 「書陵・道蔵」「也」字無し
- 58 「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・東洋・梅沢・東急・天理」「為」字無し
- 59 「兵堅甲」、「治要」此の三字無し
- 60 「大東」は「用」字に作り、「無窮」は「牟」字に作る
- 61 「活I・活II・陽I・龍門・書陵・慶II・東急・天理」「以」字無し、但、「慶II」は「甲侵」両字間に小圈を施し、右傍に「以」と加筆
- 62 「侵」字上、「足利」「偏」字有り、但、下傍に見消ちを付す
- 63 「足利」は「清」字に作る、但、下傍に見消ちを付し、「陵」或いは「凌」字を加筆、「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・

- 慶II・筑波・弘文・斯II・東洋・東急・宋版・道蔵・治要・天理
- は「凌」字に作る、尚、「梅沢」は同字左偏部分に加筆訂正が施されているが「陵」「凌」或いは「凌」か判別できない
- 64 「人」字上、「東洋」「於」字有り、但、左傍に見消ち（青筆）を付す
- 65 「東洋」「青」東活は「也」字旁に「才ナ」の校異書入れが有る
- 66 「慶I・大東」「則」字無し
- 67 「武内・慶I・大東」「中」字に作る
- 68 「道蔵」「也」字無し
- 69 「宋版・世徳」は「壯」に、「武内・東大・慶I・大東・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・東洋・梅沢」は「長久」二字に作る、尚、「慶II」は「以久」字間に小圈を施し右傍に「長」字を加筆
- 70 「足利・宋版・世徳」「也」字無し、「東洋」は「者也」二字に作る
- 71 「東洋」「青」東活左傍に「非才」の校異書入れ有り
- 72 「世徳」「生」字に作る
- 73 「東急・道蔵」「也」字無し
- 74 「書陵」「呆」字に作る、但、左傍に「早」字加筆（合点付）
- 75 「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・東洋・六地・陽II・東急・宋版・世徳・道蔵・天理」「已」字に作る、但、「足利」は左傍に「己」の校字有り
- 76 「活II」「甲」字に誤る
- 77 「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・東洋・梅沢・東急・天理」「也」字有り

訓読文補注

- 1 左旁訓「ハ」「トスル」に墨合点有り
- 2 別に音合符有り、それに従えば「伐取（ス）ルコト」の別訓を認める

夫佳兵者不祥之器

祥善也兵者驚精神濁和氣不善人之器也不當修飾之

物或惡之

兵動則有所害故万物无有不惡之

故有道者不处

有道之人不处其國

是以君子居則貴左

貴柔弱也

用兵則貴右

貴剛強也此言兵道与君子道反所貴者異也

兵者不祥之器

兵革者不善人之器也

非君子之器

非君子所貴重器也

不得已而用之

夫(平)兵(ヲ)佳(ル)者ハ・不祥ノ(之)器ナリ

祥ハ・善(也)。兵ハ(者)・精(神)ヲ驚(カ)シ・和(氣)ヲ濁(ラ)ス・不(善)人ノ(之)器ナリ(也)。當ニ修メ(飾)ル(當)カラ不(之)

物惡(去)ムコト或(リ)(之)

兵(動)ク(ト)キハ(則)害スル所有(リ)。故ニ万(物)惡(去)ミ不(ト)云コト有(ル)コト无(シ)(之)

故ニ有(道)ノ者ハ(處)ヘ上(ラ)不

有(道)ノ(之)人ハ・其ノ(國)ニ(處)ヘ上(ラ)不

是(ヲ)以テ・君子居(ル)トキハ・(則)左(貴)フ

柔弱ヲ貴(フ)(也)

兵ヲ用(キル)トキハ・(則)右(貴)フ

剛強ヲ貴(フ)(也)。此ハ言ハ兵ノ道君子ノ道与反ス・貴

フ所ノ者異ナリ(也)

兵ハ(者)・不(祥)ノ(之)器ナリ

兵革ハ(者)・不(善)人ノ(之)器ナリ(也)

君子ノ(之)器ニ非ス

君子貴重スル所ノ器ニ非ス(也)

已(ム)コトヲ得不(シ)而(用)ス(ル)(之)

謂遭衰逢乱禍欲加万民乃用之以自守³⁵

恬憒為上³⁶

不貪土地利人財寶³⁷

勝而不美⁴⁰

雖得勝而不以為利美也⁴¹

而美之者是樂殺人⁴⁵

美得勝者是為喜樂殺人者也⁴⁷

夫樂殺人者則不可以得志於天下矣⁵²

樂殺人此不可使得志於天下為人主必專制人命妄⁵⁵
行刑誅⁶²

吉事上左⁶⁵

左生位也⁶⁷

凶事上右⁶⁹

陰道殺人⁷⁰

衰二遭ヒ乱ニ逢(ヒ)テ・禍万民ニ加ラ³¹ト欲(スル)トキハ・

乃(チ)之ヲ用(キ)テ以テ自(ラ)守ルヲ謂(フ)

恬³⁶憒³⁶ヲ上ト為(ス)

土地ヲ貪リ・人ノ財寶ヲ利トセ不³⁷

勝(テ)トモ(而)美シトセ不⁴⁰

勝(ツ)コトヲ得タリト雖・(而)以テ利美ト為不(也)

而テ美(シト)スルハ(之者)・是人ヲ殺スコトヲ樂(ホ)去(ス)入(ル)フナ

美得勝者⁴⁷是為喜樂殺人者也⁴⁷

夫(レ)平(シ)人ヲ殺サンコトヲ樂(ホ)去(ス)フ者ハ・(則)以テ志ヲ(於)天(下)ニ得可(カラ)不(ス)矣

人ヲ殺(サ)ンコトヲ樂(ホ)去(ス)フハ・此志ヲ(於)天(下)ニ得使

吉事ヲハ左ヲ上フ

左(ハ)・生ノ位ナリ(也)

凶事ヲハ右ヲ上フ

陰道ハ・人ヲ殺ス

是以偏將軍處左⁷³

偏將軍卑而居右者陽者以其不專殺也^{75 76 77 78 79 80}

上將軍處右⁸¹

上將軍尊而居右者以其主殺也^{82 83 84 85 86 87 88}

言以喪禮處之⁸⁹

上將軍於右喪禮尚右死人貴陰也^{90 91 92 93 94}

殺人之衆哀泣之^{95 96 97 98 99}

傷已德薄不能以道化人而害无辜之民^{100 101 102 103 104}

戰勝以喪禮處之¹⁰⁵

古者戰勝將軍居喪禮之位素服而哭之明君子貴德而賤兵不得已誅不祥心不樂之比於喪^{106 107 108 109 110 111 112}

是ヲ以テ・偏將(去)軍ハ・左ニ處(上)(ル)

偏將(去)軍ハ卑(シク)ソ・(而)左ニ居(ル)コトハ(者)・陽ハ(者)・其ノ殺ヲ專(ラ)ニセ不(ル)ヲ以テナリ(也)

上將(去)軍ハ・右ニ處(上)(ル)

上將(去)軍ハ・尊(ク)ソ(而)右ニ居(ル)コトハ(者)・其ノ殺ヲ主ルヲ以テナリ(也)

言ハ喪禮(ヲ)以テ處(上)(ル)之

上將(去)軍ノ右ニ於ルコトハ・喪禮ハ右ヲ尚フ・死人ハ・陰ヲ貴フ(也)

人ヲ殺スコトノ(之)衆(イ)トキハ・哀ヒ泣ク(之)

己カ德ノ薄(ク)ソ・道ヲ以テ人ヲ化スルコト能(ハ)不シテ(而)辜无(キ)之民ヲ害スルコトヲ傷ム

戰(ヒ)勝(チ)ヌルトキハ・喪禮ヲ以テ處(上)(ル)之

古ノ(者)戰(ヒ)勝(チ)ヌルトキハ・將軍喪禮ノ(之)位ニ居テ・素服ソ(而)哭ス(之)。君子德ヲ貴(ヒ)テ(而)兵ヲ賤(シク)ソ・已(ム)コトヲ得不ソ・不祥ヲ誅スレトモ・心ニ樂(入)ハ不ソ(之)於(於)喪ニ比スルコトヲ明ス

1 一無窮・龍門・書陵・足利・斯II・東急・六地・陽II 章題無し、

- 〔梅沢〕は「偃武第卅一」に、「東大」は「偃武章第三十一」に、「武内・東洋」は「偃武章第卅二」に、「慶Ⅰ・大東・筑波」は「夫師章第三十二」に、「弘文」は「夫佳章第卅一」に、「慶Ⅱ」は「夫佳兵章第卅一」に作る
- 2 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・六地・慶Ⅱ・天理〕「飭」或いは「節」字に作る、但、「梅沢」は「飭」字に作り右旁に「佳」字を加筆する、尚、「東洋（青）・東活」は同字左旁に「佳」字、また「東洋」眉上には「述云節作佳」の書入れが見え、同義の書入れは「武内・慶Ⅱ・大東」にも認められる
- 3 〔宋版・世徳〕「者」字無し
- 4 〔世徳〕「喜」字に作る
- 5 〔斯Ⅱ〕「人」字無し
- 6 〔東急・道藏〕「之」字無し、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・東大・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・天理」は「也」字に、「慶Ⅰ」は「而」字に作る
- 7 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・六地・陽Ⅱ・東急・天理〕「有」字に作る、梅沢は「或」字に作るが右旁に「有」字を加筆、また「東洋」は「或」字左旁に見消ちを付し右旁に「有」字を加筆する（共に青筆）
- 8 〔活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・慶Ⅱ・大東・弘文・足利・武内・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・天理〕「無」字に作る
- 9 〔武内〕「无」字に作る
- 10 〔活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・天理〕は「也」字、「東洋・東急」は「者」も「也」二字有り
- 11 〔有〕字上、「無窮・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢」言「言」字有り
- 12 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・天理〕「也」字有り、〔梅沢〕は「也」之「一」字を書し「一」之「一」字を朱斜線で抹消
- 13 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・宋版・世徳・道藏・天理〕は「是以」二字無し、「斯Ⅱ」は此の經文句八字及び句下注四字無し、諛脱か
- 14 〔剛強・筑波〕「強剛」に作る
- 〔慶Ⅱ〕「族」字に作る

- 16 〔梅沢〕右旁に「了无」の校異記有り
- 17 〔子〕字下、「道藏」之「之」字有り
- 18 〔道藏〕「者異」二字無し
- 19 〔武内〕「之」に作る、「東大・東洋」は「之也」二字に作る、但、「東洋」は「之」左旁に見消ちを付す（青筆）〔梅沢〕は「異」字下字間余白に「之」字を加筆、尚、「東洋（青）・東活」は「也」字左旁に「才」の校異書入れ有り
- 20 〔兵〕字上、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・書陵・武内・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・六地・天理〕「故」字有り、〔梅沢〕は「兵」字上字間余白に小字「故」を加筆しその左旁に「了无」と付記す
- 21 〔道藏〕「兵筆者」以下注文九字無し
- 22 〔書陵〕「事」字に作る、但、見消ちを付し右旁に「革」字を加筆
- 23 〔筑波・梅沢・宋版・世徳・治要〕「人」字無し、但、「梅沢」は「善」之「字間に「人」字を加筆
- 24 〔東急〕「也矣」二字に作る
- 25 〔活Ⅰ〕「非君子」以下注文八字無し
- 26 〔子〕字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・天理〕は「之」字有り
- 27 〔重〕字下、「大東・道藏」之「之」字有り
- 28 〔道藏〕「也」字無し
- 29 〔慶Ⅱ〕「而」字重複、衍
- 30 〔斯Ⅱ〕「之」字無し
- 31 〔宋版・世徳〕「逆」字に作る
- 32 〔天東〕「見」に作る
- 33 〔乱禍〕「禍亂」に作る
- 34 〔道藏〕「以」字無し
- 35 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・治要〕天理は「也」字、「武内」は「之」字、「東大・東洋」は「之也」二字有り
- 36 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・天理〕は「櫛」字に、「足利・書陵」は「櫛」に、「道藏」は「淡」字に作る、但、「梅沢」は左旁に「淡」字を、「足利」は右旁に「櫛」字を加筆する
- 37 〔道藏〕此の經文句下注「雖得勝不以爲美利」の八字に作る、經文句下注と同文、諛
- 38 〔人〕字下、「東洋」之「之」字有り

- 39 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東大・東洋・東急・天理〕は「也」二字有り
- 40 〔陽Ⅰ・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・六地〕「也」字有り、「梅沢」は「美」字下字異書白に「也」字を加筆、尚、「東洋(青)・東活」に「也才」の校異書入れを認める
- 41 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・武内・武内・東大・東洋・梅沢・道蔵・天理〕「而」字無し
- 42 〔宋版〕、「道蔵」「美利」に作る
- 43 〔宋版〕、「世徳」「巳」字に作る
- 44 〔梅沢・道蔵・治要〕「也」字無し、「東洋」也矣二字に作る、但「矣」字左旁に見消ちを付す、尚、「東洋(青)・東活」は「也」字に「才ナ」の校異書入れ有り
- 45 〔武内・東大・東洋〕「敏」字に作る
- 46 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・武内・東大・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・治要・天理〕「也」字有り
- 47 〔世徳〕「若」字に作る
- 48 〔道蔵〕「誦」字に作る
- 49 〔喜樂〕、「誦」字に作る
- 50 〔武内・東大・東洋〕「敏」字に作る
- 51 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・武内・東大・東洋・梅沢・東急・治要・天理〕「者」字無し、「道蔵」は「者也」二字無し
- 52 〔武内・東大・東洋〕「敏」字に作る
- 53 〔慶Ⅰ・大東・天理〕「以」字無し、尚、「慶Ⅰ・大東」〔可得〕の左旁に「或可字ノ下ニ以字アリ」との書入れ、また「否Ⅰ」(佐藤道生氏蔵佐保切簡)の「以」字左旁には「才无」と校異の書入れが見える
- 54 〔東洋〕「矣」字無し
- 55 〔樂〕字上、「東急」宋版・世徳・道蔵「爲人君而一四字有り、治要」は此の注文無く前後経文連続す、尚、「慶Ⅱ」の眉上に「河公築字上為人君而四字然本无仍不存之」の書入れを認める、また、「否Ⅰ」(同上)にも同文の書入れを見るが前半十一字を欠いている
- 56 〔活Ⅰ〕「教」字に誤る
- 57 〔人〕字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・杏Ⅰ・東洋・梅沢・天理」者」字有り
- 58 〔此〕字下、「道蔵」〔則〕字有り
- 59 〔足利〕〔側〕字に作る
- 60 〔人命〕、「筑波」は「人人」、「道蔵」は「人性命」に作る
- 61 〔安〕字下、「東洋」〔不〕字有り
- 62 〔刑誅〕、「道蔵」〔誅戮〕に作る
- 63 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・杏Ⅰ・梅沢・道蔵・天理〕「也」字有り、「東洋」は「者也」二字有り
- 64 〔吉〕字上、「武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋」〔故〕字有り、「梅沢」は前注末の余白に「故」字を加筆し朱乎古止点「に」を付す、尚、「否Ⅰ」(同上)の「吉」字の左旁に「故才ナ」の書入れ有り
- 65 〔宋版・世徳・道蔵〕「尚」字に作る、尚、「否Ⅰ」(同上)の「上」字左旁に「才尚」と校異の書入れ有り、また「書陵」にも同義の校記を認める
- 66 〔弘文〕「住」字に作る
- 67 〔治要〕「也」字無し
- 68 〔宋版・世徳・道蔵〕「尚」に作る、尚、「否Ⅰ」(同上)の「上」字左旁に「才尚」と校異の書入れ有り
- 69 〔武内・東大・東洋〕「敏」字に作る
- 70 〔殺入〕、「道蔵」〔主殺〕に作る
- 71 〔活Ⅰ〕「人」字無し
- 72 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・杏Ⅰ・治要・天理〕は「也」一字、「梅沢」は「一之也」、「東洋」は「者也」二字有り、尚、「否Ⅰ」(同上)の「也」字左旁に「中ナ」と、また「東活」字旁に「才ナ」と校異の書入れ有り、「慶Ⅱ」は「也」字下、「是以」小字二字衍
- 73 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・杏Ⅰ・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・宋版・世徳・道蔵・治要・天理〕「是以」二字無し、但、「梅沢」は「偏」字上字間に挿入符の小圈を施し右旁に「是以(乎古止点「て」付)二字を加筆、尚、「否Ⅰ」(同上)の「偏」字左旁に「是以才ナ」の書入れ有り
- 74 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅱ・筑

道常無名

波・弘文・足利・斯II・杏I・東洋・梅沢・六地・陽II・宋版・世徳・天理「居」字に作る、尚「否I」(同上)の「居」字左旁に「處述在」の書入れ有り

75 「宋版・世徳・道蔵・治要」左者「二字無し」

76 「陽者」慶II・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・東洋・梅沢・東急・天理 此の二字無し

77 「道蔵」位」字に作る

78 「道蔵」以其」以下注文六字無し

79 「武内・東大・東洋」敏」字に作る

80 「慶II・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・筑波」也」字無し

81 「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・東洋・梅沢・六地・陽II・宋版・世徳・天理」居」字に作る

82 「筑波」專」字に誤る

83 「治要」而」字無し

84 「者」治要」此の字無し、「道蔵」は「位」字に作る

85 「宋版・世徳」言」字に作る、「以其主殺也」、「東急」主其殺也」に作る

86 「治要」主」字無し

87 「武内・東大・東洋」敏」字に作る

88 「道蔵」は「矣」字に、「東洋」は「也矣」二字に作る

89 「梅沢」書入れ、右旁に「述无」と

90 「上將軍於右」、「治要」此の注文五字無し

91 「道蔵」居」字に作る

92 「右」字下、「道蔵」主喪禮」の三字有り

93 「活I・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・東洋・梅沢・東急・治要・天理」上」字に作る、「活II」は譌脱

94 「死人貴陰也」、「治要」此の注文五字無し

95 「東大」敏」字に作る、「殺人之」、「治要」殺之人」に作る

96 「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・慶II・筑波・慶I・大東・弘文・足利・斯II・六地・天理」之」字無し

97 「衆」字下、「筑波・慶I・大東・弘文・足利・斯II・武内・道蔵」多」字有り、「梅沢」は「衆」下の字間に「多」字を加筆

98 「哀」字上、諸本「以悲」二字有り

99 「足利」位」字に誤る、但、見消ちを付し、眉上に「泣」字を加筆(本文とは別筆の如し)

100 「龍門・道蔵」民」字に作る

101 「活I・活II・無窮・書陵・大東・弘文・足利・斯II・梅沢・東急・世徳・道蔵・天理」無」字に作る

102 「陽I・東大」事」字に作る

103 「治要」臣」字に作る

104 「活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・東大・大東・弘文・足利・斯II・武内・慶I・慶II・筑波・東洋・梅沢・東急・天理」也」字有り

105 「勝」字下、「慶I・大東・筑波・弘文・足利・斯II・梅沢・陽II・道蔵・治要」は「則」字、「無窮」は「利」字有り

106 「喪礼」活I・活II・無窮・龍門・書陵・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・梅沢・治要・天理」は「喪主」に、「宋版・世徳・道蔵」は「喪主禮」に作る

107 「筑波」器」字に誤る

108 「祥」字上、「道蔵」而」字有り

109 「祥」字下、「道蔵」也」字有り

110 「陽I」於」字無し

111 「喪」字下、諸本「也」字有り

112 「宋版・世徳・道蔵」知後世用兵不已故悲而痛之矣」の一文有り、但、「宋版・世徳」は「而」矣」の両字無し

道能隕能陽能弛能張能存能亡故无常名也

朴7雖小天下不敢8臣

道9朴雖小微妙无形10天下不敢有臣使道者11也13

侯王若能守之萬物將自賔

侯王若能守道15無為萬物將自賔服從於德化16也1718

天地相合以降甘露

侯王動作能與天地相應合則下甘露善瑞也19202122232425

民莫之令而自均2627

天降善瑞則万物莫有教令之者皆自均調若一也282930313233

始制有名

始道也有名万物也道无名能制於有名无形能制於有名也343536373839404142

道ハ・能(ク)陰能(ク)陽ニツ・能(ク)弛シ能(ク)張(レ)リ・能(ク)存(シ)能(ク)亡ス・故ニ常ノ名无(シ)也34

朴(入)小ナリト雖・天下・敢テ臣トセ不

道朴(入)小ナリト雖・微妙ニシ形无(シ)。天下・敢テ道

ヲ臣トシ使フ者有(ラ)不(也)

侯主・若(シ)能(ク)守ラハ(之)・萬物・將ニ自(ツカラ)賓34タ

ラント「將」

侯王・若(シ)能(ク)道ノ无(為)ヲ守ラハ・万物・將ニ自(ツ

カラ)賓服ツ・(於)德化ニ從(ハ)ント「將」也34

天地相合(フ)テ・以(テ)甘露ヲ降(ス)

侯王動作スルコト・能(ク)天地与(ト)相應(去)合スルトキ

ハ・(則)甘露ノ善瑞ヲ下(去)ス(也)

民・(之)令スルコト莫(ケレ)トモ・(而)自(ツカラ)均シカラ34ン

トス

天善瑞ヲ降ストキハ・(則)万物教令スル(之)者有(ル)コ

ト莫(ケレ)トモ・皆自(ツカラ)均調ニソノ若ケン(也)

始ハ有名ヲ制ス34

始ハ・道(也)。有名ハ・万物ナリ(也)。道ハ・名无(ク)シテ・能(ク)於(有)名ヲ制ス・无形ハ・能(ク)於(有)形ヲ

名亦既有

既盡也。有名之物。盡有情欲。叛道離德。故身毀辱也。

天亦將知之

人能法道。行德。天亦將自知之。

知之所以不殆

天知之則神靈祐助。不復危殆。

譬道之在天下。猶川谷之與江海。

譬言道之在天下。與人相應。和如川谷。與江海流通也。

制ス(也)

名ア(四)ハ亦既クニ有(リ)

既ハ・盡(也)。有(名)ノ(之)物・盡クニ情欲有(リ)・道ヲ叛

キ德ヲ離(去)ル・故ニ身毀辱セラル(也)

天・亦將ニ知(ラ)ント「將」(之)

人・能(ク)道ニ法(リ)テ德ヲ行(フトキ)ハ・天・亦將ニ自

(ツカラ)「知(ラン)ト」將(之)

知(リ)ヌルトキハ(之)・殆カラ不(ル)所「以ナリ

天知(リヌル)トキハ(之)・(則)神靈祐(ケ)助(ケ)テ・復

(去)危殆ナラ不

譬(ハ)道ノ(之)天(下)ニ在(ル)猶川(谷)ト(之)江(海)與(ノ)猶(シ

譬(ハ)道ノ(之)天(下)ニ在(リ)テ・人(与)相(應)去(和)スルコ

ト・川(谷)ト江(海)与(ト)流(レ)テ相(通)スルカ如キノコトヲ言

(フ)(也)

校異

- 1 「無窮・龍門・書陵・足利・斯II・東急・六地・陽II」章題無し、
「梅沢」は「聖徳第卅二」に、「東大」は「聖徳章三十二」に、「武
内・東洋」は「聖徳章第卅二」に、「慶上」は「道常章第三十二」
に、「天東」は「道常章第卅二」に、「筑波」は「道常無名章第三十
二」に、「慶II・弘文」は「道常無名章第卅二」に作る
- 2 「武内・東大・六地」[无]字に作る

- 3 「武内・弘文・宋版」[施]字に作る
- 4 「能張能存」此四字、「足利」次經文句の上に大字にて書写
- 5 「足利」[已]字に作る
- 6 「活I・活II・無窮・書陵・弘文・足利・斯II・梅沢・東急・宋
版・世徳・道藏・天理」[無]字に作る
- 7 「活I・活II・陽I・東急・道藏・天理」[樸]字に作る
- 8 「龍門」[不]字無し、謄脱か

- 9 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・筑波・東急・道藏・天理」は「樸」字に作る
- 10 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・大東・筑波・弘文・足利・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・天理」無字に作る
- 11 「道藏」[天]字無し
- 12 「大東」[伎]字に作る、伝写の譌か
- 13 「道藏」[也]字無し
- 14 「慶Ⅰ・大東」[之]字無し、但、「大東」は「守万」の字間に挿入符の小圈を施し、右旁に「之」字を加筆
- 15 「道無為」[道藏]此の三字無し
- 16 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・大東・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ」梅沢・東急・世徳・天理「無」字に作る
- 17 「弘文・道藏」[化]字無し、「東洋」[者也]、「梅沢」[也之]の二字に作る、但、「之」字に抹消符朱線を施す
- 18 「宋版・世徳」[地]字無し
- 19 「道藏」[應]字無し
- 20 「合」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ」梅沢・東急・宋版・世徳・天理「天」字有り
- 21 「道藏」[天降]二字に作る
- 22 「露」字下、「武内・東洋」[之]字有り
- 23 「足利」[也]字無し、「書陵」は「之」字に作る
- 24 「梅沢・陽Ⅱ」[入]字に作る、「梅沢」は右旁に校異「民イ」の書入れ有り、尚、「東活」書入れに「述乍人」と
- 25 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ」梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・天理「焉」字有り
- 26 「降」字下、「道藏」[甘露]二字有り
- 27 「足利」[殺]字に誤る、但、右旁に「教」字を加筆(朱力)し訂正さる
- 30 「者」字下、「道藏」[而]字有り
- 31 「足利」[珣]に作り、下旁に「キン」と字音を付し、右上旁に「均」字を加筆する
- 32 「道藏」[如]字に作る
- 33 「道藏」[也]字無し

- 34 「龍門」[有]字無し
- 35 「道藏」[也]字無し
- 36 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・弘文・足利・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・天理」無字に作る
- 37 「武内・東大・東洋・無窮・梅沢・東急」[於]字無し
- 38 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・弘文・足利・斯Ⅱ」梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・天理「無」字に作る
- 39 「東急」[能]字無し
- 40 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅱ・筑波・弘文・慶Ⅰ」大東・足利・斯Ⅱ・武内・東大・東洋・梅沢・東急・天理「於」字無し
- 41 「慶Ⅰ」[刑]字に作る
- 42 「道藏」[也]字無し、「武内・東大・東洋」[之也]二字に作る、梅沢「は」[形也]字間に「之」字を加筆
- 43 「慶Ⅱ」[物]字無し
- 44 「筑波」[益]字に作る
- 45 「慶Ⅱ」[類]字に作る
- 46 「東洋」[道藏]「也」字無し
- 47 「宋版・世徳」[去]字に作る
- 48 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・龍門・書陵・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ」筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・天理「は」[之也]の二字に、「東洋」は「之者也」三字に作る、「梅沢」は「也」字に作り、直上の字間に「之」字を加筆する
- 49 「道藏」[明]字に作る
- 50 「助」字下、「慶Ⅰ・大東・筑波・足利・斯Ⅱ」東急「は」[則]字有り
- 51 「東大」[下]字に作る
- 52 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・杏Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・慶Ⅰ」大東・筑波・足利・斯Ⅱ・天理「は」[也]字、「東急」は「之也」二字有り
- 53 「杏Ⅰ」書入れ「述无」と
- 54 「梅沢・陽Ⅱ」[之]字無し
- 55 「杏Ⅰ・東洋」[青]「東活」書入れ「由」と
- 56 「梅沢・陽Ⅱ」[之]字無し
- 57 「與」字下、「弘文」[於]字有り、尚、「杏Ⅰ・東洋」[青]書入れ「於」と
- 58 「江海」[東大]「海江」に作る

59 「陽¹・龍門・書陵・武内・慶²・筑波・弘文・足利・斯²・六
地²」也「字有り、尚「吞¹」書入れ「中²」と
60 「世徳」譬「字無し、一大東は「辟」字に、「宋版」は「言」字
に作る
61 「武内・道蔵」言「字無し
62 「東急・道蔵」之「字無し
63 「谷」字下、活²無窮・筑波・弘文・足利・斯²・梅沢・東急・

上52ウ2 辯德三十三¹

知人者智²

能知人好惡是智³
⁴

自知者明

12 人能自知賢⁵与不肖是為反聽⁶无⁷声⁸内視⁹无¹⁰形¹¹故為明

勝人者有力

能勝人者不過¹³以威力¹⁴¹⁵

自勝者強

人能自勝¹⁶已情¹⁷欲則天下无有能¹⁸与已争者¹⁹故為強²⁰

知足者富

人能知足²¹之則長保福祿²²故為富也²³²⁴²⁵

杏¹・天理「之」字有り、尚、「吞¹」書入れ「中²」と
64 「海」字下、「道蔵」之「字有り
65 「東急」流「字無し
66 「流相」宋版・世徳・道蔵「相流」に作る
67 「足利・道蔵」也「字無し、「梅沢」之也「二字に作り、「之」
字を朱斜線で抹消する

辯德三十三

人ヲ知(ル)ハ(者)・智ナリ¹

能(ク)人ノ好(去)惡(去)ヲ知(ル)ハ・是智ナリ

自(ラ)知(ル)ハ(者)・明ナリ

人能(ク)自(ラ)賢ト不肖与ヲ知(ル)・是ヲ反(シ)テ无¹声ヲ

聽(キ)・内ニ无¹形ヲ視(ル)コトヲ為ス。故ニ明ト為¹

人ニ勝^{補注1)}ツ者ハ・有¹力ナリ

能(ク)人ニ勝(ツ)者ハ・威力ヲ以(テ)スルニ過(キ)不(也)

自(ラ)勝^{補注2)}ツ者ハ・強セリ

人能(ク)自(ラ)己カ情(欲)ニ勝(ツ)トキハ・(則)天下・能

(ク)己与争(フ)者有(ル)回ト无(シ)・故ニ強ト為¹

足レルコトヲ知(ル)者ハ・富ナリ^{補注3)}

人能(ク)足(レル)コトヲ知(リ)ヌル¹□²□³(之)・(則)長ク

強行者有志²⁶

人能強力行善則為有意於道²⁸く亦有有意於人也³²

不失其所者久

人能自節養不失其所受天之精氣則可以長久³⁷

死而不亡者壽³⁸

目不妄視耳不妄聽³⁹口不妄語則无怨惡於天下故長⁴³

壽⁴⁴

校異

- 1 〔無窮・龍門・書陵・足利・斯II・杏I・東急・六地・陽II〕章題無し、宋版・世徳・道蔵は「辨徳第三十三」に、〔活I・活II・陽I・天理〕は「辨徳第三十三」に、「梅沢」は「辨徳第卅三」に、「東大」は「辨徳章第三十三」に、「武内・東洋」は「辨徳章第卅三」に、「慶I」は「知人章第三十三」に、「天東」は「知人章第卅三」に、「筑波」は「知人者智章第三十三」に、「弘文」は「知人者章第卅三」に、「書陵」書入れ「知イ」と、また「梅沢」は字下字間に挿入符の「是」字下、「宋版・世徳」爲「字有り」
- 2 〔書陵〕書入れ「知イ」と、また「梅沢」は字下字間に挿入符の「是」字下、「宋版・世徳」爲「字有り」
- 3 〔活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・梅沢・東急・杏I・天理〕也「字有り、尚、同字傍書入れに「杏I」は「中ナ」、東洋〔書・東活〕は「才ナ」とある
- 4 〔活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・梅沢・東急・杏I・天理〕也「字有り、尚、同字傍書入れに「杏I」は「中ナ」、東洋〔書・東活〕は「才ナ」とある

福祿ヲ保ツ・故ニ富ト為〔也〕

強メテ行〔フ〕者ハ・志有〔リ〕

人能〔ク〕強〔上〕〔メ〕力〔メ〕テ善ヲ行〔フ〕トキハ・〔則〕〔於〕道ニ意有〔リ〕ト為・々〔道〕亦〔於〕人ニ意有〔リ〕〔也〕

其ノ所ヲ失〔ハ〕不〔ル〕トキハ〔者〕・久シ

人能〔ク〕自〔ラ〕節養ツ・其ノ天ニ受〔クル〕所ノ〔之〕精氣ヲ失〔ハ〕不〔ル〕トキハ・〔則〕以テ長久ナル可〔シ〕

死スルマテニ〔而〕亡ナラ不ル者ハ・壽ナリ

目妄リニ視不。耳妄リニ聽〔カ〕不。口妄リニ語ヲ不。〔則〕

〔於〕天下ニ怨惡〔去〕无〔シ〕。故ニ長壽ナリ

- 5 〔活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・梅沢・東急・宋版・世徳〕治要・杏I・天理「与」字無し
- 6 〔道蔵〕謂「字」に作る、「為」字下、「慶I・大東・慶II・筑波」智「字有り」
- 7 東洋・書陵「外」字に、「弘文」は「外反」に、「足利」は「反外」に作る
- 8 〔弘文〕「听」字に作る
- 9 〔活I・活II・無窮・書陵・弘文・足利・梅沢・東急・宋版・世徳〕道蔵・杏I・天理「無」字に作る
- 10 〔東急〕「視」字無し
- 11 〔活I・活II・陽I・無窮・書陵・大東・足利・斯II・梅沢・東急〕宋版・世徳・道蔵・杏I・天理「無」字に作る
- 12 〔活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・梅沢・東急〕道蔵・治要・杏

- I・天理 は「也」一字、「東洋」は「者也」二字有り
 13 「道藏」有「字」に作る
 14 「活Ⅰ・天理」「威」字無し、「活Ⅰ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・弘文・足利・斯Ⅱ・杏Ⅰ」盛「字」に作る、但、「杏Ⅰ・書陵・東活」の左旁に「威」本「威Ⅰ」「威本」の書入れがある、また「東洋」字左旁には「本/盛」(青筆)とある
 15 「筑波・道藏」也「字無し」
 16 「道藏」除「去」二字に作る
 17 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・大東・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・杏Ⅰ・天理」無「字」に作る
 18 「道藏」為「字無し」
 19 「道藏」己「字無し」
 20 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東急・道藏・治要・天理」也「字有り」、梅沢は「也矣也」の三字有り、尚、「杏Ⅰ」書入れに「也中」と、「東洋(書・東活)」の「也」字傍には「才ナ」とある
 21 「治要」足「字無し」
 22 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・梅沢・東急・道藏・杏Ⅰ・天理」之「字無し」
 23 「則」字上、「慶Ⅰ・大東・弘文・足利・宋版・世徳・治要」爲足「二字有り」、尚、「慶Ⅱ・大東」の眉上書入れに「之爲足三字異本也今案述義不見也」と
 24 「治要」長「字無し」
 25 「道藏」也「字無し」、「東洋」者也「二字」に作る
 26 「道藏」立「字」に作る、「弘文」は「人」に作り見消ちを付し右旁「力」字加筆
 28 「斯Ⅱ」は此の字無く空格とす、「道藏」は「志」字に作る
 29 「道」亦有「意」於人也、「治要」此の七字無し
 30 「梅沢」は「亦」有「兩」字の間に「為」字を加筆
 31 「道藏」志「字」に作る
 32 「武内・東大・東洋・宋版・世徳・道藏」也「字無し」、梅沢は「之也」二字に作り「之」字を朱線で抹消

訓読文補注

- 33 「東大」其「字」無し
 34 「道藏」愛「字」に作る
 35 「受天之精氣」治要、此の五字無し
 36 「宋版・世徳・道藏・治要」長「字」無し
 37 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・杏Ⅰ・治要・天理」也「字有り」
 38 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・杏Ⅰ・天理」妄「字」に作る、尚、「杏Ⅰ」の眉上に「才述同/亡」の校異書入れ有り
 39 「陽Ⅰ」は「日」に、「斯Ⅱ」は「自」字に誤る
 40 「弘文」は「听」字に作る
 41 「東急・宋版・世徳・道藏」言「字」に作る
 42 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・筑波・弘文・足利・梅沢・東急・世徳・道藏・杏雨・天理」無「字」に作る
 43 「故」字下、「道藏」得「字」有り
 44 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・梅沢・東急・治要・杏Ⅰ・道藏・天理」也「字有り」、斯Ⅱは「也矣」、東洋は「者也」二字に作り「者」に見消ち(青筆)を付す、尚、「也」字傍に「杏Ⅰ」は「中ナ」、「東洋(書・東活)」は「才ナ」の書入れ有り
 1 「勝ッ者〇ハ」、送り仮名「ツ」は、もと「ハ」の上に重書き、「ノハ」はそれに応じての後筆
 2 「勝ッ者〇ハ」、送り仮名「ツ」は、もと「ハ」の上に重書き、「ノハ」はそれに応じての後筆
 3 「知ル者〇ハ」、送り仮名「ル」は、もと「ハ」の上に重書き、「ノハ」はそれに応じての後筆
 4 「行ッ者〇ハ」、もと「行」に送り仮名「ハ」を付す、それを擦り消し、「ノハ」を加筆
 5 「不ル者〇ハ」、送り仮名「ル」は、もと「ハ」の上に重書き、「ノハ」はそれに応じての後筆

道²汜³兮⁴

言道⁵汜⁶若⁷沈⁸若⁹浮¹⁰若有¹¹若¹²无¹³視¹⁴之¹⁵不¹⁶見¹⁷說¹⁸之¹⁹難²⁰殊²¹

道²²ハ²³汜²⁴ト²⁵ノ²⁶〔兮²⁷〕

言ハ道ノ汜タルコト・沈メルカ若ク浮ヘルカ若ク・有

(ル)カ若ク无(キカ)若シ・視(レ)トモ之見(ヘ)不説(去)

(ク)コト〔之〕殊ニシ難シ

其(レ)左²⁸右²⁹ニス可(シ)

其可³⁰左³¹右³²无³³所³⁴不³⁵宜³⁶

道ハ・左ニス可(シ)右ニス可(シ)・宜(シ)カラ不ト云所无

(シ)

萬物³⁷恃³⁸之³⁹而⁴⁰生⁴¹

萬物・之ヲ恃チテ而(シ)テ生ス

恃⁴²待⁴³也⁴⁴萬物⁴⁵皆⁴⁶待⁴⁷道⁴⁸而⁴⁹生⁵⁰

恃ハ・待(也)。萬物・皆道ヲ待(チ)テ而(シテ)生(ク)

而⁵¹不⁵²辭⁵³

而(シテ)辭セ不

道⁵⁴不⁵⁵辭⁵⁶謝⁵⁷而⁵⁸逆⁵⁹止⁶⁰也⁶¹

道ハ辭謝セ不ツ・〔而〕逆止ス(也)

功⁶²成⁶³不⁶⁴名⁶⁵有⁶⁶

功(成(リ))テ・有(ク)名ツケ不

有⁶⁷道⁶⁸不⁶⁹名⁷⁰其⁷¹有⁷²功⁷³也⁷⁴

有道・其ノ有(ク)功ニ名(ツ)ケ不(也)

愛⁷⁵養⁷⁶萬物⁷⁷而⁷⁸不⁷⁹爲⁸⁰主⁸¹

萬物ヲ愛養ツ・而(シテ)主ト爲不

道⁸²雖⁸³愛⁸⁴養⁸⁵萬物⁸⁶不⁸⁷如⁸⁸人⁸⁹主⁹⁰有⁹¹所⁹²收⁹³取⁹⁴

道ハ・萬物ヲ愛養スト雖・人主ノ收メ取(ル)所有(ル)

カ如(ク)ニ(アラ)不

常⁹⁵無⁹⁶欲⁹⁷可⁹⁸名⁹⁹於¹⁰⁰小¹⁰¹

常ニ無欲ニツ・〔於〕小ニ名(ツ)ク可(シ)

道¹⁰²匿¹⁰³德¹⁰⁴藏¹⁰⁵名¹⁰⁶怕¹⁰⁷然¹⁰⁸无¹⁰⁹爲¹¹⁰似¹¹¹若¹¹²微¹¹³小¹¹⁴者¹¹⁵也¹¹⁶

道ハ・德ヲ匿シ名ヲ藏ツ・怕然トシテ无(ク)爲(ク)似(ク)小ナル

萬物歸焉⁴⁵而不為主⁴⁶

萬物皆歸道受氣道非如人主有所禁止也⁴⁷

可名為大⁵³

萬物橫來橫去使各自在故可名於大也⁵⁴

是以聖人終不為大

聖人法道匿德藏名不為滿大⁵⁵

故能成其大⁶¹

聖人以身師道導不言而化万事修治故成其大⁶²

者ノ若キニ似(タリ)(也)

萬物歸ス(焉)・而ノ主ト為不

萬物・皆道ニ歸(レ)テ氣ヲ受(ク)・道ハ人主ノ禁止スル所有

(ル)カ如(ク)ニ非ス(也)

名(ツ)ケテ大ト為可(シ)

萬物・横ニ來リ横ニ去(リ)テ・各ヲノ使自在ナラ使

ム。故ニ(於)大ニ名(ツ)ク可(シ)(也)

是ヲ以テ・聖人ハ・終ニ大ヲ為不

聖人ハ・道ニ法リテ・德ヲ匿シ名ヲ藏メ・滿(チテ)大ナリ

ト為不

故ニ能(ク)其ノ大ヲ成ス

聖人ハ・身ヲ以テ師トシ・道(上)ニ導ク。言(ハ)不(レ)而

化ス。万事修(マ)リ治(ム)ル・故ニ其ノ大ヲ成ス

校異

1

〔無窮・龍門・書陵・足利・斯II・東急・杏I・六地・陽II〕章題無し、〔梅沢〕は〔任成第卅四〕に、〔東大〕は〔任成章第三十四〕に、〔武内・東洋〕は〔任成章第卅四〕に、〔慶I〕は〔大道章第三十四〕に、〔大東〕は〔大道章第卅四〕に、〔筑波〕は〔大道汜章第三十四〕に、〔慶II〕は〔大道汜章第卅四〕に、〔弘文〕は〔大道汜章第卅四〕作

2

〔道〕字上、〔活I・活II・陽I・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・梅沢・杏I・六地・

陽II・宋版・世徳・道藏・天理〔大〕字有り

3 〔弘文・道藏〕「汎」字に作る、尚〔慶II〕肩上に「汜陸本作汎」と、〔東洋〕肩上に「陸本汜作派」との書入れ有り

4 〔東洋〕小字右寄せに書写、但その右傍に「大字」と書入れ〔青筆〕有り

5 〔道〕字上、〔活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶I・大東・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・梅沢・東急・杏I・天理〕「大」字有り

6 〔活I・活II・陽I・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶

I・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・杏Ⅰ・宋版・世徳・天理 は「汎汎」に、「道蔵」は「汎汎」に作る、尚「梅沢」は「々」(汎)若「字間に」(道)字を加筆
 7 「若沈若浮」、(活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・宋版・世徳・天理「若沈若浮」に作る)
 8 (活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・杏Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理「無」字に作る)
 9 (道蔵)は「有」字に作る
 10 (活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・杏Ⅰ・天理「也」字有り、尚「否Ⅰ」の「也」字右旁に「申ナ」の書入れ有り)
 11 (宋版・世徳「可」字無し)
 12 「右」字下、慶Ⅰ・大東・弘文・足利・斯Ⅱ「而」字有り
 13 (活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・杏Ⅰ・世徳・道蔵・天理「無」字に作る)
 14 (書陵・弘文「宣」字に作る)
 15 (活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・杏Ⅰ・天理「也」字有り、尚「東洋(書)・東适」の「也」字旁に「才ナ」の書入れ有り)
 16 (筑波)は「特」、(陽Ⅱ)は「持」字に作る
 17 (梅沢)「以」字に作る
 18 (慶Ⅱ・筑波「特」字に作る)
 19 (宋版・世徳)は「特」字に、「弘文・斯Ⅱ」は「得」字に作る
 20 (活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・東急・天理)は「也」字、「否Ⅰ」は「焉」字、東洋は「者也」、(梅沢)は「之也」の「二」字有り、但「東洋」者「字左旁には見消ち(青筆)有り
 21 (謝)字下、無窮「功」字有り
 22 (活Ⅰ・活Ⅱ・東急「而」字無し、但、「梅沢」は「謝」字下の字間に「道」字を加筆、また、「逆」字上の字間に「不」字を加える)
 23 (道蔵)「逆」字に作る
 24 (龍門)「上」字に作る
 25 (道蔵)「也」字無し、(慶Ⅱ)は「之」字に、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・杏Ⅰ・天理)は「之也」二字に作る、尚、「東洋」は「止也」

両字の間に挿入符の小圈を施し、右旁に「之」字を加筆(青筆)
 26 「成」字下、(活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・杏Ⅰ・道蔵・天理「而」字有り、尚「否Ⅰ」(而)字左旁に「才无」の書入れ有り)
 27 「名有」、(杏Ⅰ)肩上に「名有才作居」の校異書入れ有り
 28 (活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・杏Ⅰ・天理)は「有」字無し
 29 其有、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・杏Ⅰ・天理」有其「に作る」
 30 (筑波・慶Ⅱ・道蔵)「也」字無し、「梅沢」は「也」之、「東洋」は「者也」に作る、但、「梅沢」(之)字は朱斜線を施し抹消され、「東洋」者「字は左旁に見消ち(青筆)を付す、尚、「東洋(書)・書陵・龍門・慶Ⅱ・筑波」(而)字無し
 31 「如」字下、「無窮」(常)字有り
 32 「入主」、(天理)「主人」に作る
 33 (宋版・世徳)「放」字に作る
 34 (陽Ⅰ・慶Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・大東・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・東洋・東急)「聚」字に、「梅沢」は「集」字に作る、尚「否Ⅰ」(取)字左旁に「集中本乍聚、肩上に「本乍聚」と、また「梅沢」(集)字左旁に「聚イ」との書入れ有り
 35 (活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・東洋・東急・足利・天理「也」字有り)
 36 (陽Ⅰ・龍門・東大・慶Ⅰ・六地・陽Ⅱ)「无」字に作る
 37 「小」字下、(活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・六地・陽Ⅱ・東急・杏Ⅰ・道蔵・天理)は「矣」字有り
 38 (道)字上、「慶Ⅱ」(怕然靜形)四字有り
 39 (道蔵)「跡」字に作る
 40 (東急・道蔵)は「泊」字に、「宋版・世徳)は「恒」字に作る
 41 (活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・杏Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理)「無」字に作る
 42 (筑波・梅沢)「少」字に作る
 43 (道蔵)は「者也」二字、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・

武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・杏Ⅰ・宋版・世徳・天理は「者」一字無し、尚「否Ⅰ」也」字上の字間余白に朱小圈を付し左旁に「者（左に小字注記あるも判読出来ず、或は「オナ」か）」、字左旁に「中ナ」と、また「東洋（青）・東适」の「也」左旁に「オナ」と校異の書入れ有る

45 「無窮」大東・筑波・慶Ⅱ・天理「飯」字に作る

46 「焉而」慶Ⅱ「而焉」に作る

47 「武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・天理」飯」字に作る

48 「弘文・斯Ⅱ・龍門」愛」字に作る、尚、「否Ⅰ」「受」字の右旁に「中」、左旁に「愛」と校異の書入れ有る

49 「氣」字下、「道蔵」也」字有り

50 「慶Ⅱ」「人主」二字無し、但、「如有」の間右旁に此の二字を加筆し訂正

51 「陽Ⅰ・龍門・書陵・武内・東洋・慶Ⅰ・大東・斯Ⅱ」は「主」一字無し、但、「大東」は「人有」の間に挿入符の小圈を施し左旁に「主」字を加筆する、尚、「否Ⅰ」「主」字左旁に「本无」の書入れ有り

52 「道蔵」也」字無し

53 「道蔵」於」字に作る

54 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・杏Ⅰ・六地・陽Ⅱ・道蔵・天理」矣」字有り

55 「使各」道蔵」各使」に作る

龍門・書陵・大東・東洋・筑波・斯Ⅱ・宋版「名」字に作る

上54ウ3 仁徳第三十五

執大象天下往

執守也象道也聖人守大道則天下万民移心歸往之

58 「可名」宋版「不若」に作る

59 「弘文」也」字無し、尚「否Ⅰ」左旁に「中ナ」、東洋（青）・東适の同字旁に「オナ」の校異書入れ有り

60 「為」字下、「無窮」「目」字有り

61 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・天理」は「也」東洋は「者也」二字有り、但「者」字左旁に見消ち（青筆有る）

62 「其、此の本本行に脱、字間に挿入符の小圈を施し右旁に補筆する

63 「龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・六地」也」字有り、尚、「梅沢」は「大」字下の字間余白に「者」字を加筆する慶Ⅰ・大東は「帥」、「無窮」は「飯」、「道蔵」は「率」字に作る

64 「道」此本、字に重ねて墨点を加える（抹消符、或いは見消ちか）

65 「道蔵」道」字に作る

66 「梅沢」は本行に脱し「言化」の字間に加筆

67 「故」字下、「宋版・世徳・道蔵」能」字有り

68 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・天理」は「也」字、「東洋」は「者也」二字有り、但、「者」字左旁に見消ちを付す

訓読文補注
1 去声点は後筆の如し

仁徳第三十五

大象ヲ執ルトキハ天下往ク

執ハ守也。象ハ道也。聖人ハ大道ヲ守ルトキ

也治身則天降神明往來於已也⁶

往而不害安平太⁷

万物歸往而不傷害則國家安寧而致太平矣治身不害神明則身安而大壽也^{8 9 10 11 12 13 14 15 16}

樂與餌過客止^{17 18}

餌美也過客一也人能樂美於道則一留止也一者去盈而処虚忽々如過客^{19 20 21 22 23 24 25 26 27}

道之出口淡乎其無味^{28 29 30 31 32}

道出入於口淡々非如五味有酸鹹甘苦辛也^{33 34 35 36 37}

視之不足見

足得也道无形非若五色有青黃白黑赤可得見也^{38 39 40 41}

聽之不足聞

道非若五音有宮商角徵羽可得聽聞也^{42 43 44 45}

ハ・〔則〕天下ノ万^レ民・心ヲ移^レソ歸往ス〔之〕也。身ヲ治^レムル^レトキハ・〔則〕天神^一明ヲ降^レソ・〔於〕^レ己ニ往來ス〔也〕
往^クニ〔而〕害^セ不^ルトキハ・安平ニ^ソ太ナリ

万物歸往スルニ・〔而〕傷害セ不^ルト^レ困ハ・〔則〕國家安寧ニ^ソ・〔而〕太^レ平ヲ致ス〔矣〕。身ヲ治^ルムルニ・神明ヲ害セ不^ルトキハ・〔則〕身安^ニ・〔而〕大ニ壽ナリ〔也〕
樂^ク入^レト餌^キ與^ニハ・過客止^ムマル

餌ハ・美〔也〕。過客ハ・一ナリ〔也〕。人能^ク〔於〕道ヲ樂^ム〔入^レ〕美スルトキハ・〔則〕一留^マリ止^ムル〔也〕。一ハ〔者〕・盈ヲ去^テ〔而〕虚キニ処^レハ・忽々タルコト・過客ノ如シ

道ヲ〔之〕口ヨリ出^テ去^リストキニ・淡ト^シ〔乎〕・其レ味無^シ〔シ〕
道ヲ〔於〕口ヨリ出^テ去^リ入スルコト・淡々ト^シ・五味ノ酸^ク鹹^ク甘^ク苦^ク辛^クコト有^ル〔ル〕カ如^ク〔ク〕ニハ非^ス〔也〕
視^レトモ〔之〕・見^ルコトヲ足^不

足ハ・得〔也〕。道ハ形无^シ・五色ノ青黃白黑赤有^ル〔ル〕カ・見^ル〔レ〕トヲ得^可〔キ〕カ若^ク〔ク〕ニハ非^ス〔也〕
聽^クトモ〔之〕・聞^クコトヲ足^不

道ハ・五音ノ宮商角徵羽有^ル〔ルカ〕・聽^キ〔聞^ク〕コトヲ得

用之不可既

用道治國則國安民昌治身則壽命延長无有既盡時^{46 47 48 49 50}

可(キカ)若クニハ非ス(也)
用(キレ)トモ(之)既ス可(カラ)不^ス
道ヲ用(キ)テ國ヲ治(ムル)トキハ・(則)國安ク民昌ナリ・
身ヲ治(ムル)トキハ・(則)壽命延長ニシテ既(キ)盡(ク)
ル時有(ル)コト无(シ)(也)

校異

- 1 「無窮・龍門・書陵・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ」章題無し、
「梅沢」は「仁徳第卅五」に、「東大」は「仁徳章第三十五」に、
「武内・東洋」は「仁徳章第卅五」に、「筑波・慶Ⅰ」は「執大象章
第三十五」に、「大東・慶Ⅱ・弘文」は「執大象章第卅五」に作る
- 2 「象」字下、「東洋」於「字有り」
- 3 「世徳」「物」字に作る
- 4 「無窮・武内・東大・東洋・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・天
理」「版」字に作る
- 5 「之也」、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・書陵・無窮・慶Ⅰ・足利・
梅沢・武内・東大・東洋・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・天理」
は「之」、「道蔵」は「也」一字に作る
- 6 「梅沢・道蔵」は「也」字無し、但、「梅沢」は「己」字下字間に
「也」字を加筆、「東洋」は「者也」一字に作る
- 7 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅱ・足利・陽
Ⅱ・東急」は「大」字に、「道蔵」は「泰」字に作る
- 8 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶
Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・天理」
「民」字に作る
- 9 「無窮・武内・東大・東洋・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・天理」は
「版」字に作る
- 10 「國家安寧」「宋版・世徳」「國家安寧」に作る
- 11 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶
Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・天理」
「致」字無し
- 12 「東大・足利」「大」字に作る
- 13 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・天理」「則」字無し、但、「梅沢」は
「明身」の字間に挿入符の小圈を施し、右傍に「則」字を加筆補入
する
- 14 「身」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・
東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・
道蔵・天理」「牀」字有り
- 15 「龍門・書陵・武内・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯
Ⅱ・東急」「太」字に作る
- 16 「道蔵」は「也」字無し、「東洋」は「矣也」、「梅沢」は「之也」
二字に作る
- 17 「書陵・武内・慶Ⅱ」「鉗」字に作る
- 18 「梅沢」「容」字左傍に「容イ」の校異書入れ有り
- 19 「書陵・武内・慶Ⅱ」「鉗」字に作る
- 20 「梅沢」「美」字右傍に「善イ」の校異書入れ有り
- 21 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・東洋・天理」「人」字無し、尚、「東
洋(書)・東活」には「人」字の校異書入れが有る
- 22 「斯Ⅱ」「則」字無し
- 23 「道蔵」「居」字に作る
- 24 「也」「足利」「一也」に作る
- 25 「道蔵」「処」字無し
- 26 「道蔵」「處」字に作る
- 27 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶
Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・天理」
「也」字有り

- 28 「東洋」書・東造「口」字左旁に「言才」の校異書入れ有り
 29 「淡」字下、「弘文」疊字「々」有り
 30 「活Ⅰ」・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅱ
 Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・六地・陽Ⅱ
 Ⅱ・天理は「兮」字に作る
 31 「龍門」・武内・東大・筑波・六地・陽Ⅱ「无」字に作る
 32 「無味」・弘文「味無」に転倒
 33 「道」字下、「道藏」一止「字有り」
 34 「慶Ⅱ」疊字無し、「道藏」然「字に作る」
 35 「無窮」龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急「鹹」字に作る
 36 「甘苦」・宋版・世徳「苦甘」に作る
 37 「道藏」「也」字無し
 38 「宋版」・「徳」字に作る
 39 「活Ⅰ」・活Ⅱ・無窮・書陵・慶Ⅱ・弘文・足利・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・天理「無」字に作る
 40 「白黒赤」・「武内」・東大・慶Ⅱ・宋版・世徳・道藏は「赤白黒」に作る
 41 「陽Ⅰ」・龍門・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱは「之」字に、「活Ⅰ」・活Ⅱ・

- 天理は「之也」二字に作る、尚、「足利」は「也」字に見消ちを付し左旁に「之」字を加筆
 42 「慶Ⅱ」「害」字に誤る
 43 「東大」・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波は「微」字に作る
 44 「道藏」而「字に作る」
 45 「慶Ⅱ」は「之」字に、「梅沢」は「之矣」二字に作る
 46 「用」字上、「道藏」は「既盡也謂」四字有り
 47 「道」字下、「武内」・慶Ⅰ・大東・弘文・足利・斯Ⅱ「也」字有り、梅沢は「道治」の字間に「也」字を加筆
 48 「國安民昌」・「活Ⅰ」・活Ⅱ・無窮・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・梅沢・道藏・天理は「國富民昌」に、「弘文」は「富民国昌」に、「陽Ⅰ」・龍門・足利・東急は「國昌」二字に作る、但、「足利」は「昌」字を塗抹し、右旁に「富民国昌」の三字を加筆補入する
 49 「活Ⅰ」・活Ⅱ・無窮・書陵・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・天理「無」字に作る、但、「梅沢」は本行に無く「長有」字間に挿入符の小圈を施し右旁に「無」字を加筆補入する
 50 「盡」字下、「道藏」「之」字有り

上55ウ4 微明第三十六

將欲嘯之必固張之²

先開張之者欲極其奢淫⁶

將欲弱之必固強之⁷

先強大之者欲使遇禍患¹¹

微明第三十六

將ニ翰カント欲(スル)トキハ〔之〕・必ス固ニ張ル〔之〕^{註及}

先(ツ)開キ張ルハ〔之者〕・其ノ奢淫ヲ極メント欲(シ)テナリ

將ニ弱(カラ)シメント欲(スル)トキハ〔之〕・必ス固ニ強クス

〔之〕

先(ツ)強大ニスルハ〔之者〕・禍患ニ遇(ハ)使メント欲(シ)

將欲廢之必固興之¹³

先興之者欲使其驕危也¹⁴
¹⁵先興之者欲使其驕危也¹⁶
¹⁷

將欲棄之必固與之¹⁸

先與之者欲極其貪心也¹⁹
²⁰

是謂微明²¹

此四事其道微其効明也²²

柔弱勝剛強

柔弱者久長剛強者先亡也²³
²⁴

魚不可脫於淵²⁵

魚脫入於淵為去剛得柔不可復制也²⁶
²⁷
²⁸
²⁹

國之利器不可以示人

利器謂權道也治國權者不可以示執事之臣也治身³⁰
³¹
³²
³³

道者不可以示非其人也³⁴

テナリ

將ニ廢レント欲(スル)トキハ(之)・必ス固ニ興ス(之)

先(ツ)興ルハ(之者)・其(ノ)驕リ危カラ使(メ)ント欲(シ)

テナリ(也)

將ニ奪ハント欲(スル)トキハ(之)・必ス固ニ與フ(之)

先(ツ)與(フ)ルハ(之者)・其ノ貪心ヲ極(メ)ント欲(シテ)

ナリ(也)

是ヲ微明ト謂(フ)

此ノ四事ハ・其ノ道微ニツ・其ノ効明ナリ(也)

柔弱ハ・剛強ニ勝ツ

柔弱ハ(者)・久(シ)ク長シ・剛強(者)・先(ツ)亡フ(也)

魚ヲ・(於)淵ニ脱ツ可(カラ)不

魚ヲ(於)淵ニ脱(チ)入(ルル)トキハ・剛ヲ去テ柔ヲ得(ル)

コトヲ為(シ)復(去)制(ス)可(カラ)不(也)

國ノ(之)利器ハ入(レ)テ人ニ示ス可(カラ)不

利器ト云ハ・權道ヲ謂(フ)也。國ヲ治(ム)ル權ヲハ(者)・

以テ執(シ)事ノ(之)臣ニ示ス可(カラ)不(也)。身ヲ治(ム)ル道

ヲハ(者)・以テ其ノ人ニ非(サ)ルニ示ス可(カラ)不(也)

校異

- 1 「無窮・龍門・書陵・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ」章題無し、
「梅沢」は「微明第卅六」に、「東大」は「微明章第三十六」に、
「武内・東洋」は「微明章第卅六」に、「慶Ⅰ」は「將欲章第三十五」
に、「天東」は「將欲章第卅六」に、「慶Ⅱ」は「將欲章第卅六」
に、「弘文」は「將欲翁之章第卅六」に、「筑波」は「將欲翁之章第
三十六」に作る
- 2 「無窮・龍門・書陵・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足
利・斯Ⅱ・梅沢・六地・陽Ⅱ・道藏・天理」字に作る、尚、
「慶Ⅰ・大東」の眉上に「王作欽願作喻陸作喻一本乍給簡文乍欽河
上乍翁也」の校異の書入れがある。「慶Ⅱ」眉上の書入れも此れと
ほぼ同文
- 3 「足利」 「悵」字に作る
- 4 「道藏」 「者」字無し
- 5 「天理」 「欲」字無し
- 6 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶
Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・天理」 「也」字
有り
- 7 「宋版・世徳」 「使」字に作る
- 8 「梅沢」 「之」字無し
- 9 「之者」 「道藏」 は「之」一字、「東洋」 は「也之者」三字に作る
- 10 「道藏」 「過」字に作る
- 11 「道藏」 「志」字に誤る、「道藏」 は「害」字に作る
- 12 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶
Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・天理」
 「也」字有り
- 13 「書陵」 は「與」字、「筑波・足利」 は「与」字に作る、尚、「書
陵」 「與」字の左旁に「興イ」の書入れ有り
- 14 「梅沢」 「之」字無し

上56ウ4 爲政第三十七

道常無爲而無不爲

- 15 「書陵」 は「與」字、「足利」 は「与」字に作る
- 16 「驕危」 「道藏」 は「驕奢至危」四字句に作る
- 17 「道藏」 「也」字無し
- 18 「弘文」 「欲」字無し、譌脱か
- 19 「天理」 「使」字に作る
- 20 「筑波・道藏」 「也」字無し
- 21 「梅沢」 「微」字に作る
- 22 「久長」 「天理」 「長久」に作る
- 23 「道藏」 「也」字無し
- 24 「道藏」 「可」字無し
- 25 「活Ⅰ・活Ⅱ・天理」 「於」字無し
- 26 「宋版・世徳・道藏」 「入」字無し
- 27 「世徳・道藏」 「謂」字に作る
- 28 「東洋」 「者也」二字に作る、但、「者」字左旁に見消ちを付す
(青筆)
- 29 「器」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・
東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・
道藏」 「天理」 「者」字有り
- 30 「宋版・世徳」 「謂」字無し
- 31 「示」字下、「東大・筑波」 「非」字有り
- 32 「身」字下、「武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・足利・
斯Ⅱ」 「之」有り、但、「東洋」 は同字左旁に見消ちを付す(青筆)
- 33 「東洋」 「者也」二字に作る、但「者」字左旁に見消ちを付す(青
筆)

訓読文補注

- 1 「ステント」、墨合点を付す

爲政第三十七

道八常二無爲ニシテ而爲不ト云コト無シ

道以无為為常也⁶

侯王若能守萬物將自化⁸

言侯王若能守道萬物將自化効於己也¹⁰

化而欲作吾將鎮之以無名之朴¹³

吾身也無名之朴道也萬物已化効於己也効已復欲作巧偽者侯王當身鎮撫以道德²⁴

無名之朴亦將不欲不欲以靜²⁹

言侯王鎮撫之以道德民亦將不欲改改當以清淨導化之也³⁷

天下將自正³⁸

能如是者天下將自正安定也³⁹

道ハ・无為ヲ以テ常ト為(也)

侯王・若(シ)能(ク)守(ラ)ハ・萬物將ニ自(ツカ)ラ化セシト「將」

言ハ侯王・若(シ)能(ク)道ヲ守ラハ・万物・將ニ自(ツカ)ラ「化」ノ・「於」己ニ効ハント「將」也

化(シ)而(シテ)作(ス)ント欲ス・吾將ニ鎮スルニ(之)・無名ノ(之)朴ヲ以(テ)セント「將」

吾ハ・身(也)。無名ノ(之)朴ハ・道ナリ(也)。万物已ニ「化」ノ・「於」己ニ効フ(也)。己ニ効(ヒ)テ・復(去)ク巧偽ヲ作(去)ク(サン)ト欲ス(者)・侯王・當ニ身ヲ鎮撫スルニ道

徳ヲ以(テ)ス「當」シ

無名ノ(之)朴(入)・亦將ニ欲セ不(ラ)ント「將」・欲セ不(ル)ニ静ヲ以テス

言ハ侯王・鎮撫スルニ(之)道徳ヲ以(テ)セハ・民亦將ニ改メンコトヲ欲セ不(ラ)ント「將」・改(メ)テ當ニ清淨ヲ以

「當」・導化ス「當」シ(之)也

天下・將ニ自(ツカラ)正(シ)カラント「將」

能(ク)是ノ如(ク)ナレハ(者)・天下・將ニ自(ツカラ)正(シク)ソ安定ナラント「將」也

老子經道德上

老子經道德上

康應二年正月十九日施入之聖山

本云

不可出寺中

丁酉之歲仲夏十八日一見了

Y 弍 別

校異

- 1 「無窮・龍門・書陵・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ」章題無し、
「梅沢」は「爲政第卅七」に、「東大」は「爲政章第三十七」に、
「武内・東洋」は「爲政章第卅七」に、「慶Ⅰ」は「道常章第三十七」
に、「天東」は「道常章第卅七」に、「弘文」は「道常無章第卅七」
に、「慶Ⅱ」は「道常無爲章第卅七」に、「筑波」は「道常無爲章第
三十七」に作る
- 2 「東大・慶Ⅰ・六地・陽Ⅱ」「无」字に作る
- 3 「宋版・世徳」經文句「道常無爲」下に次注「道以無爲爲常也」
を配し、以下、經文「而無不爲」と次經文は連続する
- 4 「治要」「而」字無し
- 5 「陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・六地・陽Ⅱ・治要」「无」字に
作る
- 6 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・大東・東洋・弘文・足利・梅沢・東
急・宋版・世徳・道藏・天理」「無」字に作る
- 7 「弘文・道藏」「也」字無し
- 8 「治要」「而」字に作る
- 9 「守」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・
東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・六地・
陽Ⅱ・東急・道藏・治要・天理」は「之」字有り
- 10 「活Ⅰ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・弘文・斯
Ⅱ・道藏・治要」「而」字に作る、但、「慶Ⅱ」は「而能」字間に
「若」字を加筆、また「東洋」は「若」字左旁に見消ちを付し右旁
に「而」字を加筆（共に青筆）
- 11 「陽Ⅰ」は「於」一字、「龍門・書陵」は「於已」二字無し、尚、
「東洋」は「於已」兩字左旁に見消ちを付す（青筆）
- 12 「弘文」「也」字無し
- 13 「東大・慶Ⅰ・六地」は「无」字に作る
- 14 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東急・道藏・天理」「樸」字に作る
- 15 「東急」「也」字無し
- 16 「陽Ⅰ・龍門・武内・東大・慶Ⅰ・筑波」「无」字に作る
- 17 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東急・道藏・天理」「樸」字に作る
- 18 「道」字下、「武内・慶Ⅰ・大東・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ」「德」
字有り、「慶Ⅱ」は「道也」間の右旁に「德」字を加筆
- 19 「宋版・世徳・道藏」「以」字に作る
- 20 「慶Ⅱ」「已化」二字無し
- 21 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶
Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・天理」
「於」字無し
- 22 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶
Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・天理」
「也」字無し
- 23 「無窮・龍門・書陵・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑
波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏」「効已」
二字無し
- 24 「筑波・足利・龍門・書陵」「功」字に作る、但、「足利」は見消
ちを付し下旁に「巧」字を加筆
- 25 「侯王」「無窮・龍門・書陵・武内・東洋・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・
筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急・道藏」「王侯」に作る
- 26 「武内・東大・慶Ⅰ・大東・東急・道藏」「身」字無し、尚、「梅

